

第七十九回帝國議會
衆議院

勞働組合法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

勞働組合法案 政府提出(第一八號)

昭和二十年十二月十三日(木曜日)午前
十時十八分開議

出席委員 左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君
理事 小浦 總平君 理事 米田 吉盛君
理事 永山 忠則君
安藤 啓君 泉 國三郎君
逢澤 寛君 黒田 巖君
小林鐵太郎君 下出 義雄君
角 猪之助君 中川 寛治君
長井 源君 野田 武夫君
野本吉兵衛君 廣野規矩太郎君
松村 光三君 薩摩 雄次君
吉川 大介君 菅野和太郎君
赤尾 亮君 船田 中君
信正 善雄君 星島 二郎君
本多 市郎君 山口喜久一郎君
正木 清君 山崎 常吉君

同日委員原口純允君辭任ニ付其ノ補闕
トシテ赤尾亮君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣 左ノ如シ

內閣總理大臣 幣原喜重郎君
第一復員大臣 厚生大臣 田中 均君
第二復員大臣 運輸大臣 田中 武雄君
農務大臣 小笠原三九郎君

出席政府委員 左ノ如シ
法制局長官 橋本 渡君
農務復興局長 松村 光磨君
厚生政務次官 矢野庄太郎君
厚生省務政務局長 高橋 庸彌君
商工政務次官 木暮武太夫君

商工省總務局長 菅波 稱事君
商工省工務局長 奥田 新三君
商工省燃料局長 岡松成太郎君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左
ノ如シ

運輸書記官 山崎小五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案 左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)

○添田委員長 開會ヲ致シマス——信

正君
○信正委員長 簡單ニ御伺ヒ致シマス、
本法案ハ其ノ冒頭ニ於キマシテ目的
スル所ヲ記載シテ居ルノデアリマス
ガ、其ノ中ニ「本法ハ團結組織ノ保障及
團體交渉權ノ保護助成ニ依リ勞働者ノ
地位ノ向上ヲ圖リ經濟ノ興隆ニ寄與ス
ルコトヲ以テ目的トス」斯ウ云フ風ニ
ナツテ居リマス、此ノ中「經濟ノ興隆
ニ寄與スルコトヲ以テ目的トス」ト云フ
此ノ點ニ付テデゴザイマス、是ハ組合ノ
直接ノ目的ヲ書イテ居ルノデアリマスセウ
カ、或ハ勞働者ノ地位ノ向上スル結果
トシテ經濟ノ興隆ヲ寫スト云フ意味ノ
コトヲ書イテ居ルノカ、此ノ點ニ付テ
御伺ヒ致シタイノデアリマス、組合ガ
經濟ノ興隆ニ寄與スルコトヲ以テ直接
ノ本務トスルト云フコトニナリマスレ
バ、組合ノ行フベキ事業ト云フノハ相
當範圍ニ互ルコトニ相成リマスル
シ、ソレデナクテ經濟ノ興隆ト云フコ
トヲ勞働者ノ地位ノ向上ノ結果トシテ
當然ニ寫スト云フコトノミニ止マリマ
スナラバ、組合ノ事業範圍ニ付テモ
自ラ制限ガ出來テ來ル、斯様ニ考ヘマ
ス、ノミナラズ其ノ第一條ノ第二項ニ

於キマシテ「刑法第三十五條ノ規定ハ
勞働組合ノ團體交渉其ノ他ノ行爲ニシ
テ前項ニ掲グル目的ヲ達成スル爲メシ
タル正當ナルモノニ付適用アルモノト
ス」斯ウ云フ風ニナツテ居リマスカ
ラ、此ノ所謂地位ノ向上ト云フモノダ
ケガ目的カ、或ハ經濟ノ興隆ト云フコ
トガ直接ノ目的トナルノカト云フコト
ニ觸レマシテ、此ノ刑法第三十五條ノ適
用ニ付テモ、ヤハリ自ラ影響ヲ來ス譯
デアリマス、地位ノ向上以外ニ經濟ノ興
隆ト云フモノノ範圍ガ廣クナリマス
ガ、ソレ等ノコトニ付テノ行ヒデアル
ナラバ、刑法三十五條ニ依ツテ罪トナ
ラナイ、斯ウ云フコトニ解釋シテ行ク
コトニナリマスルカラ、此ノ第一條ニ
見ル所ノ組合目的ト云フモノガ、地位
ノ向上ト云フコト、及ビソレト並シデ經
濟ノ興隆ト云フコトノ兩者ガ何レモ直
接ノ本務トスルカ否カト云フコトニ依
リマシテ、將來此ノ法ヲ運營スル上ニ
於テ非常ナ開キヲ生ゼシメルト考ヘマ
スルノデ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタ
イノデアリマス

○菅田國務大臣 信正君ノ御質問ハ重
要ナル點ニ觸レテ御疑念ト思ヒマス、
第一條及第二條ノ書キ分ケマシタ理
由ハ、第二條ハ主トシテ勞働組合ノ本
質ヲ規定シテ居ルノデアリマス、第一
條ハ勞働組合法其ノモノノ目的ヲ書イ
テ居ルノデアリマシテ、隨テ第一條ニ
於テ本法ハ經濟ノ興隆ニ寄與スルコト
ヲ以テ目的トスルト書ヘバ、必ズシモ
主トシテ勞働組合ノミヲ意味スルモノ
デナクテ、使用者側、又本法ヲ制定セ

シトシタル政府ノ心持、サウ云フモノ
ヲ全部含シテ經濟ノ興隆ニ寄與スルト
云フ字ヲ使ツタノデアリマス、勞働組
合ガ第二條ノ目的ノ爲ニ邁進スル際ノ
心構ヘ、之ニ對處スル使用者側ノ心構
ヘ、又此ノ兩者ノ間ニ立ツテ産業ノ平
和ヲ企圖セントスル政府ノ心構ヘ、是
等ヲ一括シテ第一條ニ掲ゲタノデアリ
マシテ、其ノ點ガ第二條ト趣キヲ異ニ
シテ居ルノデアリマス、隨テ第一條ニ
於ケル經濟ノ興隆ト云フ言葉ハ、單ニ
勞働者ノ地位ノ向上ノ結果トシテ經濟
ノ興隆ニ寄與スルコトヲ意味デハアリ
マセヌ、モット廣イ意味デ、本法制定
ノ趣旨ガソコニアル、斯ウ云フ意味ニ
解釋スベキモノト思ヒマス

○信正委員長 能ク分リマシタ、ソコデ
更ニ御伺ヒ致シマスルガ、今ノ御言葉
ノ通りニ、第一條ノ第一項ハサウ云フ
御精神デアルト云フコトハ能ク分リマ
ス、所ガ第一條第二項ニ「刑法第三十
五條ノ規定ハ勞働組合ノ團體交渉其
他ノ行爲ニシテ前項ニ掲グル目的ヲ達
成スル爲メシタル」云々、斯ウ云フ風
ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ第二
項ニ所謂「前項ニ掲グル目的」ト云フコ
トノ「前項ニ掲グル」ト云フコトハ地位
ノ向上ト云フ點デケラ指シテ居ルノデア
リマセウカ、或ハ經濟ノ興隆ニ寄與
スルト云フコトヲ指シテ居ルノデアリ
イマセウカ、是ハ將來斯ウ云フ問題ガ
起リマシタ時ニハ、必ズ疑問トナツテ
來ルト考ヘラレマスルノデ、此ノ點ニ
付テ重テ御伺ヒ致シマス

○菅田國務大臣 先程御答ヘラシマシ
タ如キ趣意ニ於テ第一條ヲ設ケタノデ
アリマスカラ「前項ニ掲グル目的」ト云
フ文字ハ單ニ勞働者ノ地位ノ向上ト云
フ言葉ニ掛ルノミナラズ、更ニ經濟ノ
興隆ト云フコトヲモ圖ラシムル意味デ
アリマシテ、其ノ點ニ付テ一々具體的
ノ場合ヲ細カク洩レナク此處ニ舉ゲル
コトハ困難ト思ヒマスガ、大體普通一
般ノ社會通念ニ依ツテ、斯様ニ廣ク總
テノモノヲ含ムト云フコトニ致シタノ
デアリマス

○信正委員長 次ニ此ノ組合ノ事業デゴザ
イマスルガ、此ノ組合ノ事業ニ付キマ
シテ何カノ限界ガアルノデアリマス
カ、例ヘテ言ヘバ組合ノ事業ト致シマ
シテ學校ノ經營ヲスル、或ハ社會事業
ヲ行フ、文化事業ヲ行フト云フ風ナコ
トハ、何レモ組合或ハ勞働者ノ地位向
上ト云フコトニ關聯シテ當然スベキコ
トデアリマスガ、サウ云フ事業ニ付キ
マシテ、何等カノ制限ガアリマスノ
カ、將來命令ナドニ依リマシテ制限ヲ
附セラレル御意圖デゴザイマセウカ、
此ノ點ニ付テ御伺ヒタイト思ヒマス

○菅田國務大臣 勞働組合ノ事業ニ多
クノ制限ヲ設ケル考ヘハ持ツテ居リマ
セヌ、唯茲ニ勞働組合ガ、例ヘバ主タ
ル目的トシテ政治運動ヲナシ、主タル
目的トシテ社會運動ヲ行フヤウナ組合
ハ勞働組合トハ認メナイトノ制限ヲシ
テ居リマスレドモ、今指摘致シマシ
タヤウニ、組合病院ヲ作り學校ヲ作ル
如キ仕事ハ、當然許サルベキモノデア
リマシテ、勞働組合ニ斯様ナ事業ノ制
限ヲ行フ趣意デハアリマセヌ

○信正委員 勞働組合法案制定ノ目的ハ大體ニ於テ分ツテハ居リマスガ、是ハ更ニ國民組織ノ基礎ヲラシメントスルヤウナ企圖モアルデゴザイマセウカ、若シ左様ナリト致シマスレバ、單ニ勞働者ガ企業家或ハ資本家ト云フモノヲ相手トシテノ考ヘ方ノミナラズ、全社會ニ關聯スル考ヘ方ヲ以テ行カナケレバナラヌト云フコトニモナツテ參リマスルシ、ソレ等ニ付キマシテノ指導其ノ他ニ付テ何カ考ヘラレテ居ルノデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○青田國務大臣 勞働組合運動ハ自然發生的ノモノデアリマシテ、其ノ現ハレタ社會現象ヲ勞働組合法ト云フ一ツノ「レール」ノ上ニ載セテ、之ヲ圓滑ニ運用シ得ルヤウナ法律ヲ作ル趣意デアリマスガ、信正君ノ只今御話ニナツタ國民組織ノ基礎トシテ勞働組合ヲ運用スルヤウニ考ヘテ居ルカドウカト云フ御質問ニ對シテハ、成程勞働組合ニ依ル秩序アリ統制アル勞働者ノ團結ハ、確カニ國民組織ノ一基礎デアルコトハ間違ヒナイト思ヒマスガ、勞働組合法ガ國民組織ノ主タル基礎デアルト云フ考ヘデ作ツタト云フ譯デハナイノデアリマシテ、ソレハ自ラ自然ノ條件若シクハ其ノ時ノ政治情勢等ニ依ツテ組合ガ主タル基礎ニナツテ居ル國モアリマセウ、又主タル基礎デナイ國モアリマセウ、其ノ邊ノコトハ法律ニ依ツテ規定スベキ問題デハナクテ、自然社會上ノ勢力、政治的勢力ニ依ツテ決定サレル問題ダト考ヘマス

○信正委員 尙ホ政府ハ之ニ關聯致シマシテ、企業者側ノ企業合同ト云フコトニ付テハ、是ハ制限ヲ加ヘナイ御意圖デゴザイマスルカ、如何デゴザイマ

スカ

○青田國務大臣 此ノ點ハ曩ニ質問ニ御答ヘ致シマシタ通りデアリマス、即チ企業ノ自由ナル活動ニ俟ツテ産業ノ復興ヲ圖リタイト考ヘテ居ルト同答シタノデアリマスガ、實際ノ問題ト致シマシテ公正ナル産業ノ競争ヲ阻害スル如キ獨占或ハ「トラスト」或ハ公正ナル市場ノ支配等ヲ生ズル虞アル企業ノ合同ハ、目下ノ所出來ルダケ許サナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シサウ云フ結果ニ至ラナイ程度ノ企業ノ合同及ビ産業ノ合理化ノ目的ニ副フ如キ企業ノ合同ヲ阻害スル意圖ハ持ツテ居リマセウ

○信正委員 現在ノ本法ニ謂フ所ノ勞働者ト云フモノノ數ハ幾ラ位ニナツテ居リマセウカ、殊ニ其ノ中デ商業、工業トカ或ハ官公吏ト云ツタヤウナ内譯ハ如何様ニナツテ居リマセウカ

○青田國務大臣 現在組合法ノ對象ナル勞働組合ニ參加シタ勞働者ノ數ハ、昨日マデノ報告ニ依リマス、七萬七千名内外ト云フコトニナツテ居リマス

○信正委員 勞働組合ニ參加シタ者ダケデナク、本法ニ謂フ賃金給料其ノ他之ニ準ズル收入ニ依ツテ生活スル者ノ數ハ、凡ソ幾ラ位ノ御見込デアリマスカ、詳シイ數字ガ分ラナケレバ、全國民ノ凡ソ何割位ニ相當スルノデアリマスカ

○青田國務大臣 最近ノ數字ハ調査ヲ致シマスレバ無論明致シマスガ、御承知ノ通りニ、終戦後ニ於ケル軍需工業ノ閉鎖及ビ廢止工場等ガ多數ニ上ツテ居リマシテ、其ノ従業員ノ何人ヲ正確ニ解雇シタカノ數字ガ非常ニ變動シテ居リマシテ、只今直ぐニ御報告スル

正確ナ數字ヲ持合セテ居リマセウ、或ベク正確ナ數字ヲ調査シマシテ、御答ヘスルコトニ致シマス

○信正委員 細カクナリマスガ、此ノ法案第二十三條ニ依リマス「一ノ工場事業場ニ常時使用セラル、同種ノ勞働者ノ數ノ四分ノ三以上ノ數ノ勞働者ガ一ノ勞働協約ノ適用ヲ受クニ至リタルトキハ當該工場事業場ニ使用セラルル他ノ同種ノ勞働者ニ關シテモ當該勞働協約ノ適用アルモノトス」斯ウ云フコトニナツテ居ル、ソコデ御尋ネ致シタイノデゴザイマスルガ、四分ノ三以上ノ勞働者ガ勞働協約ヲ致シテ居ルト、其ノ勞働協約ノ内容ニ付テ他ノ四分ノ一ノ者ガ當然束縛セラレルト云フコトニナル、從來斯ウ云フコトデ問題ニナリマシタノハ、勞働者ノ面ニ於キマシテ、四分ノ三以上ノ人ノ一部ノ人ガ勞働爭議ヲヤル、ソレニ對應シテ企業者ノ方デ工場閉鎖ヲヤル、斯ウ云フ風サコトガアル、其ノ場合ニ殘リノ四分ノ一ノ勞働者ノ方デハ、工場閉鎖ヲシタノハ工場側ノ行ヒデアルカラ、閉鎖ノ爲メ勞働ニ從事スルコトガ不要トナリマシテモ、其ノ間ノ勞働賃銀ト云フモノハ、勞働ハ休ンデ居ルケレドモ、勞働賃銀ト云フモノハ請求シ得タ管デアル、此ノ事ニ付テ度々紛爭ガ起ツタヤウデアリマスルガ、併シ大體ニ於テ賃銀ヲ申受ケルコトガ出來ルト云フヤウニナツテ居ル、所ガ今度ノヤウニ二三條ノ規定ヲ設ケマスルト、其ノ勞働協約ニ於テ勞働爭議ノ結果「ス」トライキ「ヤル、色々ナコトヲヤルト云フコトニナツテ其ノ間ノ仕事ガ出來ナケレバ、仕事ガ出來ナイ部分ニ付テ損害賠償ヲ請求セラレル、是ハ無論デケレドモ、併シナガラ勞働賃銀ノ請

求ト云フモノハシナイト云フヤウナ協約ガ當然出來サウデアル、其ノ協約ノ影響ヲ受ケテ他ノ四分ノ一ノ人モ、ヤハリ同ジヤウニ勞働賃金ヲ請求スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニナルノデハ、此ノ四分ノ一ノ勞働者ヲ保護スルト云フコトノ所以デハナイ、斯様ニ考ヘラレバ、斯ウ云フ風ナ場合ニハ如何様ニ取扱ハレルノデアルカ、又此ノ二十三條ヲ如何様ニ御解釋サレル御意見デアリマススカ此ノ點ヲ伺ヒタイ

○青田國務大臣 只今信正君ノ御指摘ニナリマシタヤウナ場合ハ、多クハ勞働協約ノ中ニ規定ヲ設ケテ居ルノガ例デアリマシテ、四分ノ三ガ同盟罷業ノ決議ヲスル、他ノ四分ノ一ガ是同ジ態度ニ出ルト云ツタ場合デモ、罷業ノ決議ニ加ハラナカツタ者ニ付テハ休業手當ヲ出シテ休業マセルト云フ勞働協約ノ條項ガ出來ル場合ガ多イト思フノデアリマス、隨テ左様ナ場合ニハ、其ノ協約ニ從ツテ休業手當ヲ受取ルコトガ出來ル、斯様ニ一應解釋シテ居リマス

○信正委員 此ノ點ニ付テハ、將來能ク御考慮ヒタイト存ズルノデアリマス、實際問題ト致シマシテ、出來ルダケ組合ニ參加サセ、一工場全部ノ勞働者ガ悉ク參加スル氣持ヲ持ツテ居ルノハ當然デ、其ノ結果參加シタ者ダケガ同盟罷業ヲシタ結果、其ノ他ノ人ニ迷惑ヲ及ボスト云フヤウナコトニナリ易イ、勞働協約自體ガ、爭議ノ起ツタ時ニハ、其ノ間ノ賃金請求ハシナイノダト云フヤウナ協約勿論結ビタイト思ヒマス、サウスルト其ノ影響ヲ受ケルカラ、他ノ人モ勞働組合ニ入ル、私ハ組合ニ入ルコトニ付テ兎ヤ角言フ

意味デ申上ゲルノデアリマセウケレドモサウ云フ風ナ事態ガ起ルト思フノデス、詰リ入ツテ居ナイ人ガ思ハザル犠牲ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ風ナコトニナルカモ知レヌト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、何カ良イ方法ヲ御考慮ヒタイト思ヒマス

次ニ勞働委員會ノ委員デアリマスガ、是ハ何モ制限ヲ加ヘナイト云フ御意見デゴザイマスガ、極端ナコトヲ言ヒマスルト、前科ノアル人デモ破産者デモ、是ハ今マデ禁セラレテ居リマスガ、サウ云フコトニ付テハ一切制限ハナイト云フ建前デ出來テ居ルノデアリマスカ

○青田國務大臣 御懸念ノ點モ御尤モナ所ガアルト思ヒマスケレドモ、從來ノ經歷ガ芳シクナイ代表者ヲ選ブコトニナレバ、組合側トシテモ世間ノ信賴ヲ失フ譯デアリマスカラ、結局組合側ニ於テモ斯様ナ代表者ヲ選ブコトハ自肅サレルコトト思ヒマス、又假ニサウ云フコトガアレバ、其ノ結果ハ組合ニ不利益ナコトニナルノデアリマスカラ、恐ラク長ク左様ナ事態ガ續キ得ルモノトモ思ヒマセウ、隨テ此ノ法律ノ中ニハ如何ナル人間ヲ使用者トシテ選ブカノ點ニ付テノ制限ハ設ケナイ建前ニナツテ居ルノデアリマス

○信正委員 其ノ勞働者ノ地位ヲ向上スルト云フコト、殊ニ勞働者ノ從屬性關係、是ハ先般來盛ニ御議論ガアツタヤウニ、結局企業ノ所有ト云フコトガ物ヲ言ツテ居ル、或ハ事業經營者ト云フコトガ、勞働者ヲシテ從屬セシムル所以ニナツテ居ル、ソレニ對シテ勞働者ガ、經營ニ參加スル或ハ企業ノ所有ヲ獲得スルト云フ所ニ立至リマシタ時ニ、本法ノ第二條一項一號一使用者

又ハ其ノ利益ヲ代表スト認ムベキ者ノ
參加ヲ許スモノハ勞働組合トハ扱ハ
ナイ、是ト照シ合セテドウ云フ關係ヲ
有スルカ、企業經營ニ參加スル或ハ企
業所有ノ一部ニ付テ共有ノ關係ニ立ツ
テ居ルト云フ時ニ、ソレ等ノモノガ勞
働組合ノ組合員トナツテ居ルト認メラ
レル場合、是ハ單ナル勞働者デハナク、
企業者ト云フカ、サウ云フモノガ歸屬
シテ居ル組合ヲ勞働組合トシテ扱ハ
レナイコトニナルカ、或ハ其ノ者ヲ組
合ニ參加セシメナイコトニナルカ、私
ハ大體差支ヘナイと思ヒマスガ、少シ
ク疑問カアルヲ御同ヒ致シマス、之
ニ關聯シテ、一ツノ同ジ工場デ勞働者
ガ其ノ株主ニナツタ場合、其ノ勞働者
ノ參加シテ居ル組合ヲ勞働組合トシテ
認メルカ、或ハ其ノ株主ハ其ノ勞働組
合ニ參加出來ルカドウカト云フコトモ
念ノ爲ニ御同ヒ致シマス

○山崎(常)委員 山崎君
私ノ質問ヲ保留致シマシテ一應打切り
マス

○山崎(常)委員 厚生大臣ニ御尋ね不致
シマスガ、私ハ本法案ノ第一章第一條
ノ「本法ハ團結種ノ保障及團體交渉權
ノ保護助成ニ依リ」此處マデハ非常ニ
我々ガ永年ノ間主張シテ來マデハ非常ニ
ガ、此ノ法案ニ依ツテ初メテ認メラレ
ルコトニナリマスノデ、非常ニ勞働者
ノ爲ニ、又國ノ爲ニ慶賀スベキコトデ
アルト、深ク考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、更ニ續イテ「勞働者ノ地位ノ向上
ヲ圖リ經濟ノ興隆ニ寄與スルコトヲ以
テ目的トス」此ノ點デ一寸御尋ねシタ
イト思ヒマスガ、勞働者ノ地位ノ向上
ト云フコトデアリマス、本法案ハ大體
只今申上ゲマシタ團結種ノ保障及團體
交渉權ノ保護ト云フヤウナコトデ勞
働者個々ノ地位ノ向上ト云フヤウナコ
トガ、此ノ法案ノ中ニ具體的ニ感ラレ
テ居ラヌト思ヒマス、唯勞働者ノ地位
ノ向上ト云フコトハ賃銀ノ問題ノミニ
依ツテ解決ノ出來ナイコトハ申上ゲル
マデモナイコトデアリマスノデ、ドウ
モサウ云フヤウナ點ニ付テ何カソコニ
勞働者ノ地位ノ向上ヲ圖リ或ハ經濟ノ
興隆ニ寄與スルコトヲ以テ目的トスル
以上ハ、其ノ中ノ案ニ何カ具體的ニ個々
ノ勞働者ノ地位ノ向上ト云フヤウナ
コトヲ實現化スベキ具體的ノモノガ現
ハレナケレバ、満足ガ出來ナイヤウナ
感ジガシマス、此ノ點ニ對シマシテ、
本法案ヨリ別ニ將來ニサウ云フヤウナ
勞働者ノ地位ノ向上或ハ文化の方面ニ
進ムヤウナ途ガ何方カ講セラレテ居ル法
規ガアリマセウカ、此ノ點ヲ御同ヒタイ
○山崎(常)委員 先程修正君ノ御質問

ニ御答ヘシタ通りニ、勞働組合ノナス
ベキ事業ニ付テハ、極メテ廣範ニ之ヲ
許シテアリマシテ、主トシテ政治運動
ヲスル、主トシテ社會運動ヲスルコト
ヲ云フ以外ニ勞働者ノ地位ノ向上ヲ圖
ル爲ニ各般ノ施設ヲナスコトヲ妨ゲナ
イノデアリマス、是ハ喉ノ勞働組合自
身ガ具體的ニ適當ナ事業ヲ考ヘテ行フ
ベキモノデアツテ、一々之ニ對シテ政
府ガ指圖ヲシタリ、法律若シクハ實質
上ノ干涉ガマシイコトヲナス限リデナ
イ、一ニ勞働組合ノ自發的創意ニ依ツ
テ適當ナ措置ヲ講セラレルコトニシタ
イト考ヘテ居リマス

○山崎(常)委員 只今ノ厚生大臣ノ本
案ニ結付ケマシテ御説明ハ一應分リ
マシタ、此ノ法案ノ立法化ニ依リマシ
テ、勞働者ガ之ニ基イテ色々ノ施設ヲ
自由ニ行フテ行クコト云フ點ハ一應肯
マシタガ、厚生省ト致シマシテハ、此
ノ案ニ凭レルノミデナク、色々勞働者
ノ地位ノ向上ヲ圖ルコトガアルデラ
ウ、私ハ過日來ズベキコトガアルデラ
ウ、或ハ勞働局長ノ御答辭ヲ承ツテ居
リマス、ドウモ何カ嫌ラナイヤウナ
感ジガ致シマスノデ、敢テ勞働者ニ對
スル地位ノ向上ヲ圖ルヤウナ計畫ガア
ルカドウカト云フコトヲ御聽キシタイ
ノデアリマス

○山崎(常)委員 勞働部門ニ對スル行
政ニ於テマシテハ、厚生省ニ於テ各方
面ニ互ツテ關係ヲ持ツテ居ルデアリ
マシテ、例ヘバ勞働者ノ就業時間ニ付
テハ工場法ヲ出來ルダケ近代の改正
ル、或ハ賃金統制令ヲ時宜ニ適シタ如
ク改メ、或ハ衛生保健ノ施設ニ付テ
ソレトノ方途ヲ講ズル、或ハ失業者
ニ對シテハ、之ニ相應スル對策ヲ執ル
コト是等今日既ニ行ツテ居ルデアリマ

シテ、殊ニ失業對策ノ中デ日儲勞働者
ノ失業救済等ノ事業ハ今後一層之ヲ擴
ガ、ソレ等ノ施設ハ必ズシモ勞働組合
法ト一ツノ面デハナイノデアリマシ
テ、勞働組合法ノ中ニ是等諸般ノ行政
問題ヲ織込ムコトハ、本法ノ性質上如
何カと思フデアリマス、併シ組合法
ニ書イテナイカラト云ツテ、何モシナ
イト云フ主義デハナイノデアリマス、
ソレハオ分リ下サルト思ヒマスガ、厚
生省ノ、其ノ他ノ諸般ノ施設ガ嫌ラナ
イト云フ御意見ハ能ク參照致シマシ
テ、今後一層此ノ方面ニ力ヲ盡ス決心
デアリマス

○山崎(常)委員 山崎君、今法制局長官
ガ見エマシテ、大分御意ギヤウデア
リマスカラ、先程ノ修正君ノ保留サレ
タ質疑ニ入りタイト思ヒマスカラ、暫
ク御譲リ願ヒマス、修正君

○修正委員 法制局長官ニ御尋ね不致シ
タイノハ、此ノ勞働組合法案ニ依リマ
スト、官公吏ナドハ總テ勞働組合ニ加
入スルコトガ出來ルコトニナツテ居
マス、又、警察官、消防官吏、監獄ニ
勤務スル者、或ハ命令ニ依ツテ制限セ
ラレル者以外ハ、一般ノ勞働者ト同ジヤ
ウナ行動ヲ執レルコトニナツテ來テ居
ルノデアリマス、ソコデ從來ノ官公吏
ニ對スル吏道觀ト云フモノト、將來
ガ加ヘラレルノデアリマスガ、今日ノ
吏道觀ハ勞働云フ風ニ見テ居ラマス
カ、此ノ勞働組合法ト視ミ合セテ、官
公吏ニ臨ム所ハドウ云フ風デゴザイマ
スカト云フ點ニ付テ御同ヒ致シタイ
デアリマス、元來官公吏ト一般ノ勤勞
者ト異ナル所ハ、本來カラ官ヒマスレ
バ一方ハ私法上ノ關係關係デアルト云

フコトカラ發足致シテ居リマス、一方
ハ國家ノ任命ニ依ルモノデアツテ、ソ
シテ其ノ本體トスル所ハ定置デナイ無
定置ノ國家事務ニ從事スルモノデア
ル、或ハ從順ノ義務デアリ、忠實ノ義
務デアルト云フコトヲ特ニ設イテ來ラ
レタノデアリマス、是ガ他ノ勤勞者ト
異ナル特異性ダト云フ風ニ見ラレテ居
ツタ點デアリマス、ソコデ勞務ニ服ス
ルノニ付キマシテモ、定置デナイコト
ヲ觀念デ解リ、從順ニ法令ハ勿論ノコ
ト、上官ノ指揮命令ニ從ツテ絕對ノ服
從ヲシテ行クノカ、ソレガ官吏
ナラシメ、斯ウ云フ風ニ見ラレ
レガ爲ニ濫リニ職ヲ離レルモノ
ナイ、甚ダシキハ住所ノ制事、ガ
ル、是ガ而モ官公吏ノ性質
リ生命デアル、斯ウ云フ風ニ見
見テ來ラレタノデアリマス、ソ
ノ官吏ト云フモノガ同ジ性質
コトガ出來ルカ出來ナイカト云
コトニ付キマシテハ、從順ニ服
ラレテ來テ居ツタ所ナラシメ
所ガ今度此ノ法案ニ依ツテ見
ト、警察官トカ云々ト云
者ハ封シテアリマスガ、官公吏
特殊ノ制限ノナイ限り、官公吏
ナイ限りハ罷業モ事業モ手段トシテ行
フコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツ
テ居リマス、ソコデ從來ノ吏道觀ト云
フモノト、今後ノ吏道觀ト云フモノ
付テハ其ノ間ニ何等カノ變リ所ガナ
レバ、尤モ今マデニ於キマシテ
モ、官吏ト雖モ、公吏ト雖モ上官ニ對
シテ國ノ爲ニナル本當ノ意見デアルナ
ラバ、ソレハ意見ヲ申述バルコトガ出
來ルト云フコトニナツテ居リマシタ、
デアルケレドモ、團體行動ヲ取ツテ斯

○山崎(常)委員 山崎君、今法制局長官
ガ見エマシテ、大分御意ギヤウデア
リマスカラ、先程ノ修正君ノ保留サレ
タ質疑ニ入りタイト思ヒマスカラ、暫
ク御譲リ願ヒマス、修正君

○修正委員 法制局長官ニ御尋ね不致シ
タイノハ、此ノ勞働組合法案ニ依リマ
スト、官公吏ナドハ總テ勞働組合ニ加
入スルコトガ出來ルコトニナツテ居
マス、又、警察官、消防官吏、監獄ニ
勤務スル者、或ハ命令ニ依ツテ制限セ
ラレル者以外ハ、一般ノ勞働者ト同ジヤ
ウナ行動ヲ執レルコトニナツテ來テ居
ルノデアリマス、ソコデ從來ノ官公吏
ニ對スル吏道觀ト云フモノト、將來
ガ加ヘラレルノデアリマスガ、今日ノ
吏道觀ハ勞働云フ風ニ見テ居ラマス
カ、此ノ勞働組合法ト視ミ合セテ、官
公吏ニ臨ム所ハドウ云フ風デゴザイマ
スカト云フ點ニ付テ御同ヒ致シタイ
デアリマス、元來官公吏ト一般ノ勤勞
者ト異ナル所ハ、本來カラ官ヒマスレ
バ一方ハ私法上ノ關係關係デアルト云

フコトカラ發足致シテ居リマス、一方
ハ國家ノ任命ニ依ルモノデアツテ、ソ
シテ其ノ本體トスル所ハ定置デナイ無
定置ノ國家事務ニ從事スルモノデア
ル、或ハ從順ノ義務デアリ、忠實ノ義
務デアルト云フコトヲ特ニ設イテ來ラ
レタノデアリマス、是ガ他ノ勤勞者ト
異ナル特異性ダト云フ風ニ見ラレテ居
ツタ點デアリマス、ソコデ勞務ニ服ス
ルノニ付キマシテモ、定置デナイコト
ヲ觀念デ解リ、從順ニ法令ハ勿論ノコ
ト、上官ノ指揮命令ニ從ツテ絕對ノ服
從ヲシテ行クノカ、ソレガ官吏
ナラシメ、斯ウ云フ風ニ見ラレ
レガ爲ニ濫リニ職ヲ離レルモノ
ナイ、甚ダシキハ住所ノ制事、ガ
ル、是ガ而モ官公吏ノ性質
リ生命デアル、斯ウ云フ風ニ見
見テ來ラレタノデアリマス、ソ
ノ官吏ト云フモノガ同ジ性質
コトガ出來ルカ出來ナイカト云
コトニ付キマシテハ、從順ニ服
ラレテ來テ居ツタ所ナラシメ
所ガ今度此ノ法案ニ依ツテ見
ト、警察官トカ云々ト云
者ハ封シテアリマスガ、官公吏
特殊ノ制限ノナイ限り、官公吏
ナイ限りハ罷業モ事業モ手段トシテ行
フコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツ
テ居リマス、ソコデ從來ノ吏道觀ト云
フモノト、今後ノ吏道觀ト云フモノ
付テハ其ノ間ニ何等カノ變リ所ガナ
レバ、尤モ今マデニ於キマシテ
モ、官吏ト雖モ、公吏ト雖モ上官ニ對
シテ國ノ爲ニナル本當ノ意見デアルナ
ラバ、ソレハ意見ヲ申述バルコトガ出
來ルト云フコトニナツテ居リマシタ、
デアルケレドモ、團體行動ヲ取ツテ斯

○山崎(常)委員 山崎君、今法制局長官
ガ見エマシテ、大分御意ギヤウデア
リマスカラ、先程ノ修正君ノ保留サレ
タ質疑ニ入りタイト思ヒマスカラ、暫
ク御譲リ願ヒマス、修正君

○修正委員 法制局長官ニ御尋ね不致シ
タイノハ、此ノ勞働組合法案ニ依リマ
スト、官公吏ナドハ總テ勞働組合ニ加
入スルコトガ出來ルコトニナツテ居
マス、又、警察官、消防官吏、監獄ニ
勤務スル者、或ハ命令ニ依ツテ制限セ
ラレル者以外ハ、一般ノ勞働者ト同ジヤ
ウナ行動ヲ執レルコトニナツテ來テ居
ルノデアリマス、ソコデ從來ノ官公吏
ニ對スル吏道觀ト云フモノト、將來
ガ加ヘラレルノデアリマスガ、今日ノ
吏道觀ハ勞働云フ風ニ見テ居ラマス
カ、此ノ勞働組合法ト視ミ合セテ、官
公吏ニ臨ム所ハドウ云フ風デゴザイマ
スカト云フ點ニ付テ御同ヒ致シタイ
デアリマス、元來官公吏ト一般ノ勤勞
者ト異ナル所ハ、本來カラ官ヒマスレ
バ一方ハ私法上ノ關係關係デアルト云

フコトカラ發足致シテ居リマス、一方
ハ國家ノ任命ニ依ルモノデアツテ、ソ
シテ其ノ本體トスル所ハ定置デナイ無
定置ノ國家事務ニ從事スルモノデア
ル、或ハ從順ノ義務デアリ、忠實ノ義
務デアルト云フコトヲ特ニ設イテ來ラ
レタノデアリマス、是ガ他ノ勤勞者ト
異ナル特異性ダト云フ風ニ見ラレテ居
ツタ點デアリマス、ソコデ勞務ニ服ス
ルノニ付キマシテモ、定置デナイコト
ヲ觀念デ解リ、從順ニ法令ハ勿論ノコ
ト、上官ノ指揮命令ニ從ツテ絕對ノ服
從ヲシテ行クノカ、ソレガ官吏
ナラシメ、斯ウ云フ風ニ見ラレ
レガ爲ニ濫リニ職ヲ離レルモノ
ナイ、甚ダシキハ住所ノ制事、ガ
ル、是ガ而モ官公吏ノ性質
リ生命デアル、斯ウ云フ風ニ見
見テ來ラレタノデアリマス、ソ
ノ官吏ト云フモノガ同ジ性質
コトガ出來ルカ出來ナイカト云
コトニ付キマシテハ、從順ニ服
ラレテ來テ居ツタ所ナラシメ
所ガ今度此ノ法案ニ依ツテ見
ト、警察官トカ云々ト云
者ハ封シテアリマスガ、官公吏
特殊ノ制限ノナイ限り、官公吏
ナイ限りハ罷業モ事業モ手段トシテ行
フコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツ
テ居リマス、ソコデ從來ノ吏道觀ト云
フモノト、今後ノ吏道觀ト云フモノ
付テハ其ノ間ニ何等カノ變リ所ガナ
レバ、尤モ今マデニ於キマシテ
モ、官吏ト雖モ、公吏ト雖モ上官ニ對
シテ國ノ爲ニナル本當ノ意見デアルナ
ラバ、ソレハ意見ヲ申述バルコトガ出
來ルト云フコトニナツテ居リマシタ、
デアルケレドモ、團體行動ヲ取ツテ斯

○山崎(常)委員 山崎君、今法制局長官
ガ見エマシテ、大分御意ギヤウデア
リマスカラ、先程ノ修正君ノ保留サレ
タ質疑ニ入りタイト思ヒマスカラ、暫
ク御譲リ願ヒマス、修正君

○修正委員 法制局長官ニ御尋ね不致シ
タイノハ、此ノ勞働組合法案ニ依リマ
スト、官公吏ナドハ總テ勞働組合ニ加
入スルコトガ出來ルコトニナツテ居
マス、又、警察官、消防官吏、監獄ニ
勤務スル者、或ハ命令ニ依ツテ制限セ
ラレル者以外ハ、一般ノ勞働者ト同ジヤ
ウナ行動ヲ執レルコトニナツテ來テ居
ルノデアリマス、ソコデ從來ノ官公吏
ニ對スル吏道觀ト云フモノト、將來
ガ加ヘラレルノデアリマスガ、今日ノ
吏道觀ハ勞働云フ風ニ見テ居ラマス
カ、此ノ勞働組合法ト視ミ合セテ、官
公吏ニ臨ム所ハドウ云フ風デゴザイマ
スカト云フ點ニ付テ御同ヒ致シタイ
デアリマス、元來官公吏ト一般ノ勤勞
者ト異ナル所ハ、本來カラ官ヒマスレ
バ一方ハ私法上ノ關係關係デアルト云

フコトカラ發足致シテ居リマス、一方
ハ國家ノ任命ニ依ルモノデアツテ、ソ
シテ其ノ本體トスル所ハ定置デナイ無
定置ノ國家事務ニ從事スルモノデア
ル、或ハ從順ノ義務デアリ、忠實ノ義
務デアルト云フコトヲ特ニ設イテ來ラ
レタノデアリマス、是ガ他ノ勤勞者ト
異ナル特異性ダト云フ風ニ見ラレテ居
ツタ點デアリマス、ソコデ勞務ニ服ス
ルノニ付キマシテモ、定置デナイコト
ヲ觀念デ解リ、從順ニ法令ハ勿論ノコ
ト、上官ノ指揮命令ニ從ツテ絕對ノ服
從ヲシテ行クノカ、ソレガ官吏
ナラシメ、斯ウ云フ風ニ見ラレ
レガ爲ニ濫リニ職ヲ離レルモノ
ナイ、甚ダシキハ住所ノ制事、ガ
ル、是ガ而モ官公吏ノ性質
リ生命デアル、斯ウ云フ風ニ見
見テ來ラレタノデアリマス、ソ
ノ官吏ト云フモノガ同ジ性質
コトガ出來ルカ出來ナイカト云
コトニ付キマシテハ、從順ニ服
ラレテ來テ居ツタ所ナラシメ
所ガ今度此ノ法案ニ依ツテ見
ト、警察官トカ云々ト云
者ハ封シテアリマスガ、官公吏
特殊ノ制限ノナイ限り、官公吏
ナイ限りハ罷業モ事業モ手段トシテ行
フコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツ
テ居リマス、ソコデ從來ノ吏道觀ト云
フモノト、今後ノ吏道觀ト云フモノ
付テハ其ノ間ニ何等カノ變リ所ガナ
レバ、尤モ今マデニ於キマシテ
モ、官吏ト雖モ、公吏ト雖モ上官ニ對
シテ國ノ爲ニナル本當ノ意見デアルナ
ラバ、ソレハ意見ヲ申述バルコトガ出
來ルト云フコトニナツテ居リマシタ、
デアルケレドモ、團體行動ヲ取ツテ斯

○山崎(常)委員 山崎君、今法制局長官
ガ見エマシテ、大分御意ギヤウデア
リマスカラ、先程ノ修正君ノ保留サレ
タ質疑ニ入りタイト思ヒマスカラ、暫
ク御譲リ願ヒマス、修正君

○修正委員 法制局長官ニ御尋ね不致シ
タイノハ、此ノ勞働組合法案ニ依リマ
スト、官公吏ナドハ總テ勞働組合ニ加
入スルコトガ出來ルコトニナツテ居
マス、又、警察官、消防官吏、監獄ニ
勤務スル者、或ハ命令ニ依ツテ制限セ
ラレル者以外ハ、一般ノ勞働者ト同ジヤ
ウナ行動ヲ執レルコトニナツテ來テ居
ルノデアリマス、ソコデ從來ノ官公吏
ニ對スル吏道觀ト云フモノト、將來
ガ加ヘラレルノデアリマスガ、今日ノ
吏道觀ハ勞働云フ風ニ見テ居ラマス
カ、此ノ勞働組合法ト視ミ合セテ、官
公吏ニ臨ム所ハドウ云フ風デゴザイマ
スカト云フ點ニ付テ御同ヒ致シタイ
デアリマス、元來官公吏ト一般ノ勤勞
者ト異ナル所ハ、本來カラ官ヒマスレ
バ一方ハ私法上ノ關係關係デアルト云

ウ云フ風ナコトヲヤルノハドウカ、是マデハ忠實ノ義務、從順ノ義務、或ハ無定額ノ國家ノ事務ヲ執ルノガ官公吏ノ建前ダト云フコトヲ言ハレテ來テ居ツタ、ソコデ私ハ此ノ際御伺ヒ致シタイノハ、先程申上デタヤウニ、新シイ吏道觀ハドウデアルカ、此ノ勞務組合法ト觀合セテ今後ノ官公吏ニ對シテ臨ム所ハドウデアルカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト存ズルデアリマス

●橋樑政府委員 御答ヘ致シマス、信正委員ノ申サレマシヤウニ、勞務組合法ガ出來テ、官吏ガ加入出來、且ツ同盟罷業ト云フヤウナ問題モ起リ得ルコトガ豫想サレルデアリマス、其ノ爲ニ在來ノ服務規律、忠實ノ義務ト云フ本質ト、ソレカラ此ノ勞務組合法ノ行動トノ間ニドウ云フ關係ニナルカト云フ御質問ハ、御尤モナ御質問デアリト同時ニ、非常ナ難カシイ問題デアリ、又此ノ勞務組合法ニ依ツテ官公吏ガ加入スルコトガ出來ルト云フソレ自體ガ、官界ニ於ケル一ツノ大キナ革命デアルト云フコトニ見ラレルデアリマス、就キマシテ私ノ考ヘテ居リマスコトハ、在來ノ官吏服務規律ト云フモノハ、今日ノ敗戦後、假ニ敗戦シナクテモ根本的ニ其ノ精神ヲ變ヘナケレバナラヌト考ヘテ居ルデアリマス、其ノ變ヘルコトハ何デアルト云ヘバ、是ハ官吏ガ 陛下ノ官吏デアル、勿論陛下ノ官吏デアルト云フ觀念ガ、今日官僚ノ通弊ヲ非常ニ露シテ、國民側カラ見マス、嫌惡ノ情ヲ以テ迎ヘラレテ居ル、併シ私ハ官吏ト云フモノノ根本精神ハ國民ノ官吏デアル、言ヒ換ヘテ見レバ公僕精神ニ官吏ハ違ラナケレバナラヌ、是ガ本質デアル、而シテソレ

ガ 陛下ノ大御心ニ應ヘ奉ル所以デアルト云フコトニナラナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルデアリマス、隨ヒマシテ官吏ノ服務規律ノ根本的ノ精神ノ建前ヘト申シマス、是ハ日本ガ新シイ民主主義國家ノ作ル上ニ於テ、其ノ中核ヲ成スト申シマス、其ノ機構ノ中核ヲ成ス官吏ソレ自身ガ公僕精神ニ還ルト云フ方向ニ持ツテ行キタイ、而シテ官吏ト勞務組合トノ關係ニ於キマシテモ、官吏ガ眞ニ公僕ト云フ一ツノ精神ニ規律サレルト云フコトニナリマスレバ、自ラ勞務組合ニ官吏ガ入リマシテモ、ソコニ彼等ヲ是正シ調整スル一ツノ線ガハツキリトシテ來ルト私ハ思フデアリマス、ソレデ勞務組合ノ出來マシタ今日ニ於キマシテ、官吏ガ之ニ加入ノ出來ルト云フ此ノ事態ハ、正ニ今申上デマシタ官吏ガ公僕ニ還ルト云フ大キナ線ニ沿ツテ、初メテ勞務組合ニモ加入ガ出來、自分達ノ生活改善モ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデハナイカ、ソコデ私ハ最近下僚ニ命ジマシテ、各般ノ所謂官吏服務規律ニ關スル根本的ノ物ノ考ヘ方ノ建直シヲヤラウトシテ、現ニ著手シテ居ルヤウナ次第デアリマス、以上御答ヘ致シマス

○信正委員 有難ウゴザイマシタ、法制局長官ニ御尋ネ致シマスコトハ以上デ終了致シマス、併セテ此ノ際厚生大臣ニモウ一言御伺ヒ致シタイと思ヒマス

今日日本ガ斯ウ云フ風ナ事態ニナリマシテ、國際關係ノ貿易ト云フコトハ殆ドナクナツテ居ルヤウナ有様デアリマス、併シヤハリ經濟問題ト致シマシテハ、今後ノ日本ト雖モ直接間接ニ非常ナ關係ガアル、從來カラ日本ハ國際

勞務機關ニ加盟シテ居ツタデアリマスガ、今後國際勞務機關ト日本トノ關係ハドナル風ニナルノデゴザイマセウカ、ドウ云フ風ニ計畫セラレテ居ルデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○若田國務大臣 今信正君ノ指摘サレマシタ問題ハ、將來ニ非常ニ重大ナ問題トナルデアリマスガ、御承知ノ通り「ワエルサイ」條約ガ調印サレマシタ時ニ、日本ガ五大強國ノ一員トシテ之ニ參加シテ、勞務協約ニ調印シ、又「ジュネーヴ」ニ於ケル國際勞務事務局ノ有力ナル構成員トシテ之ニ參加シ、年々開カレル國際勞務會議ニモ、代表ヲ出シテ居ツタデアリマス、國際聯盟ヲ脫退スルニ及ンデ、其ノ關係ハ斷斷致シマシタケレドモ、ソレハ一時的ノ現象デアリマシテ、日本ガ正當ナル國際關係ヲ再開スル時期ニ至レバ、一日モ早く此ノ機關ニ參加スル機會ヲ掴マナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス、其ノ時期ガ何時到來スルカト云フコトハ、今後聯合國側ト我が國トノ間ニ結バルベキ各種ノ條約ニ依ツテ制約サレル譯デアリマスカラ、今日カラ明確ナル見通シヲ付ケルコトハ困難デアラウト思ヒマス

○信正委員 私人質問ハ是デ打切りマス

○山崎(常)委員 只今私ノ質問申上ゲテ居リマシタ點ニ付キマシタハ、最後ニ厚生大臣ニ對シマシテ具體的ノ注文ガゴザイマスノデ、是ハ一應其ノ程度ニ止メマシテ、次ニ御伺ヒシタイと思ヒマスノハ、此ノ勞務組合法案ノ狙ヒハ、大體今マデノ工場經營狀態ニ對シテ勞務者ト經營者トノ間ノ種々ナル關係、交渉權之ニ盛ラレテ居ル方面ヲ

狙ツテ居ルデアルト思フ、所ガ敗戦後日本ノ過去ノヤウナ工業形態ハ、殆ド破壊セラレ或ハ禁止セラレマシテ、此ノ法案ノ對ニヤウナ大キナ工場ガ、段々少クナツテ行クト云フ傾向ニナリマス、反對ニ食糧事情或ハ資材事情カラ、事實上是カラ工業ト云フモノガ中小工業ニ移行スル、同時ニ又家庭の手工業ガ益々盛ニナリ、又露シニナラシメネバナラナイ、サウ云フ點カラ考ヘマス時ニ、手工業的ノ請負業或ハ中小工業、斯ウ云フヤウナバラバラニ切離サレマシタ所ノ勞務者ト云フモノガ組合ヲ作ルト云フ場合ニハ、團結權トカ、交渉權ト云フヤウナモノハ、ドウ云フ狀態ニナリマセウカ、此ノ點ヲ一應伺ヒタイ

○若田國務大臣 山崎君ノ今御指摘ナリマシタヤウナ場合ニ於テモ、勞務組合法ノ精神ハ少シモ變化ハ受ケナイデアリマシテ、大工場ハ中小工場ノ形ニ變ツタト云フ場合ニ於ケモ、第二十四條ニ定ムル一定ノ地域ニ於テ從業スル同種ノ勞務者ノ組合、如キモノガ、恐ラクハ出來ルノデハナイカト考ヘマス、隨ヒ工場ノ規模ノ大小ニ依ツテ、勞務組合法ノ適用ニ差別ヲ生ズル如キコトハ、豫想シテ居ナイ譯デアリマス

○山崎(常)委員 手工業的業務ニ對シマシタハ、ドウ云フヤウナ關係デゴザイマセウカ

○若田國務大臣 手工業ト云ハレルノハ、ドウ云フ形ノ手工業デアリマス、カ、主トシテ使用主ト負金若シクハ給料ニ依ツテ勞務關係ガ成立ツテ居ル場合ニ於テハ、手工業タル機械工業タルヲ問ハナイと思ヒマス

○山崎(常)委員 厚生大臣ハ其ノ實情ヲ知ラナイト私ハ思ヒマス、私ノ狙ヒハ是カラ私考ヘテ居ルヤウナ手工業ガ益々盛ニナラナケレバ日本ハ向上シナイ、其ノ手工業トハドナルモノカ、例ヘテ言ヘバ下駄ノ鼻緒ヲ作ル、或ハ婦人ノ頭ノ道具ヲ作ルト云フノハ、一ツノ大キナ製造業者ガアツテ、ソレカラ一箇幾ラツニ請合ツテ來テ、妻モヤレバ自分モヤル、子供ニモ手傳ハス、斯ウ云フ業者ガ將來ウント殖エテ來マス、サウ云フノガ一ツノ部落或ハ一ツノ町ニ何十人、何百人ト云フ工合ニ殖エテ行ク、ソレガ一ツノ海外貿易品トナツテ現ハレテ來ルト私ハ斯ウ確信シテ居リマス、サウ云フモノガ十軒或ハ二十軒、百軒ト云フヤウナ工合ニ組合ヲ作ツタ場合ニ、其ノ關係ハドウナルカト云フコトヲ御尋ニシテ居ルノデス

○若田國務大臣 ソレヲ先程御答ヘシタノデアリマシテ、一ツノ工場ガ鼻緒ヲ作ツテモ、多數ノ家デ作ツテモ、其ノ關係ハチツトモ違ハナイノデアリマシテ、ソレガドウ云フ譯デ違フト御考ヘニナルカ、ソレヲ寧ろ私ハ斷キタイと思ヒマス

○山崎(常)委員 是ハ斯ウナリマス、一ツノ工場デ日給幾ラ、月給幾ラト云フヤウニ一ツノ工場内ニ立體ツテ働ク、此ノ手工業ノ請負ト云フモノハ、一箇幾ラデ請合ツテ來テ家デヤル仕事デス、品物ノ製造ヲ出ス所ハ一ツナノデス、ダガ併シ是ハ時間モ制限セラレズニ一箇幾ラデ請合ツテ來テヤル所ノ請負業者デス、其ノ點御分リデセウカ

○若田國務大臣 ソレハ必ズシモ小サナ工業バカリデハアリマセウ、大工場デモ出來高拂ト云フノガアリマス、石炭山ニ於テモアリマセウシ、軍需工場ニ於テモアツタ、出來高拂デアルトカ、

時間拂アルトカ云フコトニ依ツテ、組合法ノ適用ガ變ルトハ考ヘラレナイノデアリマス

○山崎(常)委員 ソレデハ最後ニ止メヲ刺シテ置キマスガ、サウ云フ個々ノ請負業者ガ物ヲ作ツテ交渉スル場合ニハ團結權モ認メテ下サル、交渉權モ認メテ下サル、斯ウ云フ工合ニハツキリ考ヘテ居テ差支ヘゴザイマセヌデセウネ

○青田國務大臣 御解釋ノ通りデアリマス

○山崎(常)委員 次ニ御尋ネシタイト思ヒマスノハ、昨日川崎委員カラモ政府委員ニ對シマシテ質問ガアリマシタ國際労働會議ノ問題デアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、世界ノ五十六箇國ノ國々ガ過日「パリ」デ開カレマシタ國際労働會議ニ參加シテ、我が國「ドイト」ガソレニ參加シテ居ナイト云フヤウナコトヲ新聞紙上デ見マシタ、更ニ昨日川崎委員ガ其ノ質問ヲシテ居リマスガ、ソレニ對スル政府委員ノ御答ヘニ依リマス、我が國ハ敗戰ノ結果國際場裡ニ進出スルコトヲ禁ゼラレテ居リマス、サウ云フヤウナ結果、結局我が國トシテハ國際労働會議ニ參加ノ出來ナイコトヲ遺憾トスルト云フヤウナ御答ヘデアツタノデス、私思ヒマスノニ、世界ガ國際ノ平和ヲ望ミシテ居ルハ、是カラノ國際ノ平和ノ根幹トナルノハ何トシテモ労働者ト労働者ノ國際ノ團結、所謂國際労働會議ト云フヤウナモノニ參加スルコトニ依ツテ、ソレガ成立ツト思ヒマス、遺憾ナコトニハ我が國ハ國際労働會議ニ參加スルコトヲ此ノ度ハ許サレナシナドデアリマスケレドモ、世界ノ人類ガ國際ノ平和ヲ望ミシテ居ルト致シマスナ

レバ、日本ガ敗戰ノ結果、國際關係ヲ絶タレテ居ルカラト云フヤウナ工合ニ、私ハ安閑トシテ居ルベキデハナイト思フ、進ンデ「マツカーサー」ニ、或ハ「マツカーサー」ニ依ル以外ノ方法ニ依リマシテモ、日本ガ國際労働會議ニ出席ヲサセテ貰フベク努力ヲセネバナラヌデヤナイカト云フコトヲ私ハ痛切ニ感ジマス、考ヘマスノニ、最初此ノ世界戰爭ハ日本ヲナクスル、日本ノ民族ヲナクスル爲メ戰デアルト云フヤウナコトヲ私共ハ指導者ニ度々聞カサレマシタ、併シナガラ英國ノ労働組合ガ世界ノ平和ヲ唱ヘ、サウシテ「ノ」總選舉ニ労働黨ガ勝ツタト云フコトモ、是ハ新聞ニ現ハレマシタ大キナ問題デアリマス、「アメリカ」初メ各國「イギリス」ノ労働組合ノ世界平和ヲ唱ヘラレテ、日本ニ對シマシテモ、日本ノ國ヲナクスル、日本民族ヲナクスルト云フヤウナ無謀ナコトハイケナイ、鬼ノ角戰爭ヲ一日モ早く止メルト云フヤウナ方法ニ出ヌバイケナイト云フコトガ、段々ト廣ク反響致シマシテ、今日ノ狀態ニナツタト云フヤウナコトヲ、私ハ概略デアリマスケレドモ承ツテ居リマス、是カラノ世界平和ハ、何ト致シマシテモ、労働組合ガ根幹ニナルノデハナイカ、又ナラネバイケナイト云フヤウナ確信ヲ持ツテ居ル者デアリマス、ソレデ昨日ノ政府委員ノ御答ヘハ、私ハ頗ル遺憾ニ思ヒマス、サウ云フヤウナ熱ノナイ程度デアツタナレバ、飽クマデモ「マツカーサー」カラ總テノコトニ押込メラレ、進出ノ機會ハチツトモナイデヤナイカト云フヤウナコトヲ痛切ニ考ヘマスガ、之ニ對シマシテ厚生大臣ハ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ御伺ヒシタイト

第六類第六號 労働組合法案委員會會議錄 第三回 昭和二十年十二月十三日

思ヒマス

○青田國務大臣 只今世界デ新シキ世界秩序ヲ建設スル爲メ出來テ居ル機關ハ二、三ニ止マリマセヌガ、其ノ主ナルモノハ御承知ノ通りニ國際聯合、ソレカラ今山崎君ガ御話ニナツタ國際労働會議等色々モノノガアリマスガ、何レモ所謂平和愛好國ト稱スルモノノ會合デアリマス、彼等自ラ認メテ平和愛好國ナリト云フモノノガ集マツテヤツテ居ル、然シ彼等ガ認メテ平和愛好國家ニアラズト云フモノヲ除外シ其ノ除外ノ中ニ「ドイト」、日本ガ主ナルモノナツテ居ル所ガ、平和愛好國家ナリト云フ認定ハ、不幸ニシテ我々ガ下スノデハナイ、平和愛好國家ト稱スルモノガ、日本民族ハ從來ノ軍國主義ヲ一掃シテ平和愛好國民ニナツタト云フ確信ヲ得ナケレバ仲間ニ入レナイ、是ガ現實ノ事實デアリマスカラ「マツカーサー」ノ所ヘ英語ノ出來ル人ガ五人十人駐付ケテ話ヲシタト云フノデハ、解決ノ付カヌ問題デアリマス、世界ニ向ツテ、本當ニ日本ハ從來ノ軍國主義的侵略主義的ナ心持カラ平和愛好國家ニナツタト云フ其ノ事實ヲ目前ニ出サナケレバ、國際聯合ニ加入サセナイト云フノガ、今日ノ冷戰ノ事實デアリマス、ソレハ政府デケノ手デ出來ルコトデアリマセヌ、日本國民全體ガ打ツテ一丸トナツテ、本當ニ改過遷善ノ實ヲ舉ゲル、斯様ナ時ニ初メテ出來ルモノダト私ハ考ヘテ居リマス

○山崎(常)委員 勿論今マデノ日本ト「ドイト」ハ戰爭愛好國民デアルト云フヤウニ、其ノ國々ガ自ラサウ云フ態度ヲ執リマシタカラ、今國際労働局方面カラ、日本ガ本當ニ平和愛好ノ國ニナツタト云フ工合ニ考ヘラレナイノハ、

マダ日モ淺イノデ無理カラヌコトデアルト思ヒマスガ、或ハ「マツカーサー」ノ所ヘ頼ミニ行ツタ所デイケナイ、心カラサウナラナケレバイケナイト云フ御意見、是ハ御尤モデアリマス、併シナガラ政府ハ「ノ」力デハイケナイ、全國民モ共ニ御答ヘニナリマシタガ、厚生大臣ハ日本ノ労働行政ヲ振ツテ居ル所ノ中心ニナル御方デアラ、厚生大臣自ラガ先頭ニ立ツテ其ノ叫ビツ上ゲテ戴カナケレバ、此ノ目的ヲ達成スルコトハ出來マセヌ、國民ニ呼掛ケル、又労働組合ヲ通ズルナリ其ノ他ニ依ツテ、全労働者ニ呼掛ケルノモ勿論デアリマスガ、厚生大臣ソレ自體、或ハ其ノ獨ニ當ル所ノ勞政局長其ノ他ノ諸君全體ニ、其ノ熱意ガアルカドウカト云フコトヲ私ハ御伺ヒスルノデアリマス、熱意ノ程ヲ御聽カセ頭ヒタイト思フノデアリマス

○青田國務大臣 御答ヘ致シマス、労働行政ニ對シテドイトノ熱意ガアルカト云フ御質問ニ對シテハ、私ハ全力ヲ盡ケテ労働行政ヲ爲メ最善ノ途ヲ歩ミタイト思フテ居リマス、但シ労働組合、若シハ労働階級ノ爲メ「マツカーサー」ノ所ニ行ツテ懇ヘヨト云フ御要求デアレバ、是ハ姑ク研究ヲサセテ觀キタイ、併シアナタ方ノ御手許ニ、日本ノ労働階級ガ、特ニ他ノ階級以上ニ平和愛好ノ爲メ今日マデ闘ツタ、軍國主義、帝國主義ノ戰爭ニ反對シテ熱意ヲ持ツテ起テ上ツタト云フ事實ヲ御持チニナルナラバ、是ハ非常ニ有方ナ證據ニナリマスカラ、是非私ノ方ニ御提出ヲ願ヒタイ

○山崎(常)委員 其ノ御言葉ヲ承リマシテ、我々ハ協同組合其ノ他ノ方面ヘ呼掛ケマシテ、我が國方一日モ早く世

界平和ノ根幹トナルベク、國際労働會議ニ參加ノ出來ルヤウニ働キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

次ニ只今ノ厚生大臣ノ御熱意ヲ承リマシテ、尙ホ此ノ上私ハ御伺ヒシタイト思ヒマスノハ、労働部門ガ是カラノ新シイ日本ヲ建設致シマスモノノ根幹ニナルト云フコトハ申スマデモナイコトデアルト思ヒマス、今日或ハ是カラハ勿論デアリマスガ、過去ニ於テモサウデナケレバナラナイ、私共ハ戰爭ニ勝ツモ敗ケルモ、働ク者ノ變局ニアルノダト云フヤウナ工合ニ呼掛ケテ來マシタガ、不幸ニシテ斯様ノ結果ニナリマシタ、併シ願ミテア、

カッタノモ、口先デ労働者ハ勤勞者或ハ産業職士ト云フヤウナツテ來タ結果、色々ナ事ハ起リマシタ、段々ト産業能率ノ低キモノダト云フコトハ、今更ニ

デモナイト思ヒマス、ソレハ、今更ニテ今ノ厚生省ガ社會局デアリマス、或ハ又名ガ變リマシテ厚生省トナツタカラモ、常ニ労働省ト云フモノヲナケレバナラナイ、國々ニ依リテ弱クスルノモノ、ニア、

見ノ程ヲ承リタイト考ヘマス

○青田國務大臣 先般本會議ニ於テ幣原總理カラ、目下ノ所政府ニ於テハ特ニ勞働省ヲ設ケル意向ヲ持タナイ、斯ウ云フ答辭ヲ致シタ管デアリマス、現在ノ所、政府ノ方針ハサウ云フコトニナツテ居リマス、將來或ハ變更スル機會ガアルカト思ヒマスケレドモ、現在ノ所デハ、其ノ程度ト御承知置キヲ願ヒタイ

○山崎(常)委員 厚生大臣ニ對シマスル私ノ質問ハ此ノ程度デ打切りマス、次ニ總理、農林、商工ノ三大臣ニ質問ヲスルコトヲ保留致シマシテ、私ノ質問ヲ一應打切りマス

○添田委員長 本多君——居ラレヌカラ小林君

○小林(鐵)委員 本法ノ第一條ニ「本法ハ團結權ノ保障及團體交渉權ノ保護助成ニ依リ勞働者ノ地位ノ向上ヲ圖リ經濟ノ興隆ニ寄與スルコトヲ以テ目的トス」スウゴザイマスガ、畢竟是ハ日本ノ再建ノ一環トシテ本法ヲ御提出ニナツタモノト存ジマスノデ、先ハ私ノ質問ハ本法ニ入ル前ニ、少シク勞働ノ基本的名問題ニ付テ政府ノ所信ヲ質シテ見タイト思ヒマス、第一點ハ國家再建ノ基礎ハ國民ノ勞務ニアリ、ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り敗戰ニ依リ領土ハ奪ハレ、國內ノ資源及ビ其ノ他ノ設備ハ燒カレ、只今日本ニ殘サレタ物ハ極メテ少イノデアリマス、此ノ限ラレタ環境、限ラレタ資源ニ於キマシテ、ドウシテ日本ヲ再建スルカト云フコトガ、實ニ大キナ問題デアルト思ヒマス、ツイ此ノ間マデハ日本ノ人口ハ一億ニシナケレバイカヌ、イヤ近キ將來ニ於テ二億ニシナケレバイカヌト言ツテ居ツタニ拘ラズ、今度

ハ國外ニ居リマス七百萬ノ在外同胞ヲ迎ヘルト、此ノ決イ土地デドウシテ之ヲ養フテ行ケルカ、實テ人間ノ少イコトヲ憂ヘテ居ツタ問題ガ、今度ハ人間ガ再び過剩ニナツタ、ドウシテ之ニ食ハシテ行カカト云フ風ナコトハ共通ノ悩ミデゴザイマス、併シナガラ此ノ少イ限ラレタ土地、限ラレタ資源ノ中デ何ガ一番大事ナモノデアルカト云フト、私ハ勤勞ナ七千五百萬ノ國民デアルト存ジマス、此ノ國民ノ勞務力モソハ、國家再建ノ基礎デアル、斯ウ云フ風ニ私ハ勤勞觀ヲ基本的ニ考ヘテ居ルノデアリマス、因ニスレバ私ハ一九二三年、第一回ノ世界戰争後ノ「ドイツ」ニ參リマシテ、勞務局長ニ會ヒマシタ、丁度其ノ時私ハ今ノ添田委員長ノ下デ職業紹介事務局次長ノヤウナ仕事ヲシテ居リマシタカラ、職業紹介ニ關スル問題ヲ聽キタイト思ヒマシテ、勞務局長ニ會ツタノデアリマス、其ノ時「ドイツ」國勞務局長ハ申シマシタ、我が國ハ敗戰ニ依ツテ領土ハ奪ハレ、炭鑛ヲ奪ハレ、軍備ハ此ノ通り縮小サレマシタ、ソコデ唯一タ殘ツテ居ル國家ノ寶「スターツ・シエツツエ」ハ何カト言フト、我が優秀ナル「ゲルマン」民族ノ勤勞其ノモノデアル、勤勞コソハ「スターツ・シエツツエ」ダ、今マデハ寶物ハ資源ダと思ツテ居ツタガ、人の資源ニ優ル資源ハナイ、勤勞コソハ國家最高ノ資源デアリ基礎デアルト云フ考ヘニ依ツテ、勞務行政ノ運営ヲヤル決心デアル、唯單ニ失業者ヲ他ニ世話スルスト云フコトデハナク、勤勞ヲ管理シテ適材ヲ適所ニ就職セシメ、國家興隆ヲシナケレバイカヌト思ヒマス、云フ堂々タル職業指導ノ原理ヲ聞カサレマシタ、私非常ニ感激シタノデアリ

マス、日本ハ今不幸ニシテ二十數年前ノ「ドイツ」國ト丁度同ジヤウナ事態ニ今直面シテ參ツタノデアリマス、家貴ニシテ初メ貧乏中ニ燃タル兒童ヲ發見スル、銀モ金モ玉モ何セムニマサル寶子ニ如カメヤモ「ト萬葉ノ歌人ガ詠ツタヤウニ、此ノ殘サレタ一千五百萬ノ大和國民コソハ、國家最高最上ノ基礎デアル、斯ウ私ハ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ考ヘハ當然國民皆勞ノ思想ニ直結シマス、勞務神聖ノ思想ニ直結シマス、此ノ間來國史ヲ讀ンデ見マスト、アノ「アメリカ」獨立戰争ニ參加シテ非常ニ貢獻ヲシマシタ「フランス」ノ「ラファイエット」伯爵ガ後年「アメリカ」ニ再ビ行ツテ非常ニ當惑シタト云フコトガ書イテアリマス、ナゼカト云フト、アレダケノ佛國貴族ガ、米國デハ到處デアタハ何ヲシテ居ルカト云フコトヲ無謀ニ「アメリカ」人ニ聽カレテ非常ニ當惑シタ、斯ウ云フコトガ書イテゴザイマス、此ノ國民皆勞ヲナシテ、國家ノ再建ハ出來ナイト考ヘマスガ、厚生大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○青田國務大臣 只今小林君ノ御述べニナリ、シタ國民皆勞ノ必要、並ニ現在最モ強調スベキモノガ、國民ニ對スル勤勞觀念デアルト云フ點ニ付キマシタハ、全く同感デアリマス

○小林(鐵)委員 御同意ヲ得マシテ非常ニ満足ヲ致シマス、然ラバ第二ニ勤勞ニ關スル勤勞機デアリマス、私ハ以前述バマシタヤウナ考ヘヲ以テ、勤勞ハ金ヲ儲ケル爲デナイ、報酬ヲ受ケル爲デナイ、所謂至上命令デアル、國家ニ對スル國民最高ノ道德デアリ、義務デアリ、光榮デアル、斯ウ云フ風ニ勤勞觀ヲ考ヘテ居リマス、終戰後國民總數毎ト實ツテ居リマスガ、機海スルト云フト、何カ惡イコトヲシタナラバ申辯アリマセト何人カニ向ツテ謝罪スレバ足リルト云フヤウニ考ヘラレテ居マスガ、本當ニ機海スルナラバ口デバカリケレバナイ、罪ノ償ヒヲシテ初メ機海ノ道ハ得ラレルノデアルト思ヒマス、我々ハ我々ノ指導者ガヤリマシタ、世界人類ニ加ヘタノ大罪惡、又ハ三千年ノ傳統ヲ亡國ニ導イタノ罪惡ニ對スル機海ハ、生易イコトデハイケナイ、畏多クモ終戰ノ御詔勅ニモハ益々大デアラウガ、忍ビ難キヲ忍ビ耐ヘ難キヲ耐ヘテ新日本ヲ建設セヨ、而シテ朕常ニ爾臣民ト共ニ在リ、汝等ニバカリ苦勞ハサセナシ、朕常ニ汝等ト共ニ苦勞シテヤルノデアルト斯ウ仰セニナリマシタ、アノ玉音ノ放送ヲ聽キマシテハ國民タルモノハ、誰シモ心ノ中デ「イヤサウデハアリマセヌ、私達ノ努力ガ足ラナカツタノデアリマス、陛下ニダケサウ云フ御苦シイ御思ヒヲ御サセ申シテ置カレマセヌ、我々ガ至ラナカツタノデアリマス、ト御記ビ申上ゲル氣持ニナリマシタノデアリマス、其ノ罪ノ償ヒヲドウシテモシナケレバナラヌノデアリマス、其ノ機海ノ心ヲ具現スル爲ニハ、必ズ勤勞シナケレバナリマセヌ、償ヒノ爲ニ我々ハ勤勞ヲシナケレバナラヌト云フ機海奉仕ノ勤勞觀ニ落付カザルヲ得ナイト思フノデアリマス、更ニ又他ノ方面カラ考ヘマスト、謝恩奉仕ノ勤勞觀デアリマス、アノ終戰ノ御聖斷ガモウ二、三週間廻レマシタナラバ、日本國民ハ全部死滅シテシマツタデアリマセウ、此ノ戰事堂モ我等ノ住宅モ悉ク全部灰燼ニ

歸シタノデアリマシヨウ、我々ノ此ノ財產此ノ生命ガアルト云フコト自體ガ御聖斷ノ賜デナクテ何デアリマセウ、是非非常ニ感謝デアリ感激デアリマス、其ノ聖恩萬一ニ報ズル爲ニ、ドウシテ時間ヲ空費スルコトガ出來マセウ、報酬ハアツテモナクテモト、斯ウ云フ意味ノ勤勞觀ヲ持ツテ居ルノデアリマス、新生日本ノ勤勞觀ハ斯クナクデハナラヌト信ズルモノデアリマス、勤勞ハ賃銀、給料乃至對價ノ得ル爲ノ手段デアツテハナリマセヌ、本當ニ機海ノ爲ノ奉仕、或ハ謝恩奉仕ノ爲ニ勤勞スベキモノナリト云フ所マデ敗戰日本ハ徹シナクテハ駄ダと思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○青田國務大臣 只今御述べニナリマシタ所ハ頗ル傾聴スベキ點ガアルト思ヒマス、恐ラク自覺ノアル人間デアラナラバ、過去ヲ顧ミテ機海スベキ點ハ十分機海シテ居ルト思ヒマス

○小林(鐵)委員 然ラバ第三ニ此ノ勤勞ノ本質ガ奉仕デアリ報酬ニアラズト云フコトニナルト、ソレダケ仕事ガナイデハナイカト云フコトガ問題ニナルト思ヒマスガ、私ハ仕事ハ無限デアルト思ヒマス、仕事ハ無限デアルト、但シ報酬アル仕事ハ有限デアルトニ過ギナイノドト思ヒマス、東京ノ現狀ヲ見マシテドコニ仕事ガ無イト言フカ、仕事ハ幾ラデモアル、燒跡ノ片付ケデモドレダケ大キナ仕事デアルカ、唯アレヤヤツタ所デ只今誰ガ報酬ヲ與ヘルカ判然トシナイダケデアラウト思ヒマス、アノ大キナ「アメリカ」ト雖モ、報酬アル仕事ト云フモノハ限リアリマス、無限ニアル譯ガアリマセヌ故ニ私ハ「トルーマン」ガ言ツテ居リマス、

完全雇傭ト云フコトハ理想デアツテ、實行ハ斷ジテ不可能ダト思ヒマス、先日本會議大員モ失業問題ノ御答辯ノ中ニ米國ノ失業問題モ軍備擴張ニナルマデハ解決出來ナカッタト云フ御話ガアリマシタガ、サウ云フ譯デアリマシテ、「アメリカ」ノヤウナ所デアツテモ、完全雇傭ハ不可能ダト思ヒマス、但シ完全雇傭ハ可能デアル、報酬ヲ受ケナイ所ノ仕事ナラバ幾ラデモアルノデアリマスカラ、是ハ國民皆勞ハ不可能デアリマセヌ然ラバ報酬ナクシテ如何ニシテ生活出來ルカ所カ勤勞奉仕ス。所必ズ生活ハ保證セラルハノガ、古今東西ノ間斷ナク行ハル、社會事實デアリマス、此ノ考ヘ方ハ根本的ニ考ヘテ戴キタイ、先ヅ働ケ、然ラバ報酬ヲ得ラルベシ、此處マデ掘下ゲテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、此處マデ掘下ゲテ來レバ、一道ノ光明ヲ認ムルコトガ出來ルト信ジマス、古語ニ謂フ「縁グニ迫付ク貧乏ナシ」トハ古今東西ノ通ズル變ラザル眞理デアルト思ヒマス、二宮翁夜話ノ中ニ面白イ實驗話ガ載セテゴザイマス、二宮翁ガ叔父ノ家ヲ出マシテ、實家ニ歸ツテ自分ノ家ヲ再興シヨウト思ヒマシタ時ニ、隣ノ家モヤハリ叔父サンノ家デアツタサウデアリマスガ、「叔父サン今度私ハ家ヘ歸ツテ仕事ヲシヨウト思ヒマスガ、ドウカ貸シテ下サイ」、斯ウ言ツテ頼ンダサウデアリマス、所ガ叔父サンハ不機嫌ナ顔ヲシテ、イヤ貸ス譯ニハ行カナイ自分ノ家デモ今日ハ畑ヲ作リ日ダカラ、ト斯ウ言ツタサウデアリマス、金太郎青年ハ「ハアサウデスカソレデハ私が御手傳シテ上ゲメセウト言ウテ、直グ其處ニ在ツタ畝ヲ取ツテ屋敷内ノ畑ヲ耕シタサウデアリマ

ス、畑ガ出來上リマシタラ叔父サンハ才前ハ朝飯ヲ食ベタノカ、「イヤマデゴザイマス、ア、丁度食事ノ用意ガ出來タカラ食ベテ行ツタガ宜シイ」、斯ウ言ツテ温カイ御飯ト温カイ味噌汁ヲ十分御馳走ニナツタソシテ言フニハ、自分モ新世帯ヲ持ツタ經驗ガアルガ、新世帯ト云フモノハ兎角物ガ不自由ナモノダカラ、農具足リナイ物ガアツタラ何時デモ貸シテ上ゲルカラ申出ルガ宜シイ、イヤソレバカリデハナイ、世帯道具デモ買ハナイデ間ニ合ハシテ、何時デモ自分ノ方デ貸シテ上ゲルカラ云フコトヲ言ハレタ、此ノ事實、先ヅ働ク、先ヅ奉仕スル、サウスレバ必ズ報酬ガアル仕事ガ先デ、奉仕的ニ仕事ヲスレバ必ズ生活ハ保障セラルル云ツタコト、是ハ恐ラク日本バカリデナク、世界ヲ通ズル一大眞理デアアル思ヒマス、然ルニ此ノ事實ヲ知ラルイハハ仕事ガアルカ、幾ラノノ仕事ガアル、此ノ報酬ハ幾ラダト云フコトヲ認メテカラデナケレバ働ク氣ニナライ、腰ヲ上ゲナイ、仕事ヲシナイト云フ所ニ、此ノ大キナ失業問題ノ困難サガアルト思ヒマス、之ヲ如何ニ行政的ニ持ツテ行カト云フコトハ、非常ナ技術ヲ要スルコトデアラウト思ヒマスガ、斯ウナリマス、全ク從來ノ資本主義世界ガ發達致シマシタ法制トカ、制度トカ云フモノヲイデキツテ居ツタノデハ、ドウシテモ解決不可能デアリマス、サリナガラ民衆ガ黙々トシテ眞面目ニヤツテ居ル如上ノ如キ勤勞觀ニ徹スレバ、必ズ國民皆勞ハ可能デアル、隨テ生活ハ保障セラル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘル、尙ホ進ンデ行ケバ所謂無一物中無盡藏、報酬ヲ求メルカラナイノデアリマシテ、報酬ヲ求メナケ

レバソコニ必ズ報酬ガアツテ、何千萬人ノ人デモ養フテ尙ホ餘リアル光明世界ガ顯現スルノデアリマス、昔ノ人モ其ノ中ニアリ、先ヅ仕事ヲシロ、サウスレバ必ズ報酬ガアルト言ツタ、茲ニ勤勞ノ本質ヲ持ツテ行キタイ、斯クシテ御指導方顯ヒタイモノダト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトニ對シテ大臣ノ御所見ヲ承リタイ

○菅田國務大臣 只今小林君ガ御述べニナリマシタ人世觀ト云ヒマス、哲學觀ト云ヒマス、其ニ當代ニ於テ緊切ナ御意見ダト思ヒマス、其ノ精神ヲ養フコトガ厚生行政ノ手ニ依ツテ果シテ目的ヲ達シ得ルカドウカ、稍モ私自身疑ヒワ持ツテ居リマス、此ノ點ニ關シテハ更ニ政府全體トシテ、女部省ナリ或ハ其ノ他ノ方面ニ於テモ十分努力スベキ問題デアルト思ヒマスガ、御精神ハ洵ニ其ノ通りデ、私ハ同感ノ意ヲ表スル譯デアリマス

○小林委員 第四ニハ分配論デアリマス、私ハ必要ニ應ジテ分配ナルベキモト信ジマス、私ハドウモ政府ヲ支配シテ居ル社會立法ノ指導方針ガ間違ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、ソレハドウ云フコトデアアルカト申シマス、先づ來申上ゲマシタ通り、勤勞ハ國家再建ノ基礎デアル、總テノ財產、總テノ富、本ハ勤勞ニアリト云フコトハ、社會黨ノ諸君ト私ハ所見ヲ同ジタスルモノデアリマス、ダカラト云ツテ出來上ツタ收穫物ヲ全部取ラナクテハナラヌ、詰リ、資本家、地主ニ之ヲ分與スルコトヲ肯ゼザル思想ニハ反對デアリマス、「オーストリア」ノ「アントン・メンガー」博士ガ、此ノ社會主義ノ思想ヲ法律的ニハ勞働者ニハ勞働全收穫ト云フ權利ガアル筈ダト云フ言葉デ表現

シテ居リマス、資本家ニ搾取サレルコトナク、或ベク之ヲ奢ヒ返サナクテハナライ、勞働者ニハ勞働全收穫ト云フ權利ガアルカラ、勞働ノ效果ハ之ヲ奢ヒ返サナクテハナラヌ、斯ウ云フ考ヘガ本ニナツテ居リマス、然ルニ生産ト云フモノハ決シテ勞働ガケデ出來ルモノデアリマセヌ、經濟學ノ初步ノ第一頁ニモ、土地ト資本ト勞働、此ノ三ツガ合サツテ生産ト云フモノガ出來ルト書イテアリマス、今度ノ農地調整法ニ於キマシテモ、只今ノ米價問題ニ於キマシテモ、是ハ勞働全收穫ノ主張スル傾向ガ濃厚デアル、耕作者ガ働イタノダカラ大部分之ヲ與ヘナクテハナラヌ、斯ウ云フヤウナ線ニ沿ウテアノ立法ガ出來テ居ルト思ヒマス、是ハ大變ノ間違ヒデアルト私ハ思フノデアリマス、「クロバトキン」ハ理想社會ノ原則ヲ要約シマシテ、「能力ニ應ジテ働キ必要ニ應ジテ分配サレル社會ガ理想ノ社會デアル」ト言ツテ居リマスガ、是ハ疑ヒモナク勞働全收穫ノ否認デアリマス、私曾テ外國ノ法律學者ニ會ヒマシタ時ニ、日本ニハ共產黨ハナイカ、社會黨ハナイカト云フ話ガ出タトキ、私ハアタナノ國ニハ共產黨ハナシマス、併シ共產黨ノ事實ハ何處ニアルカ、私ノ國ニハ共產黨ハアリマセヌ、併シ共產黨ノ事實ハ何處ニアルカ、家庭ト云フモノハ完全ナル共產團體デアツテ、共產ノ事實ガ存スル、能力ノアル者ハ働キ能力ナクシテ年取ツタ者、或ハ又幼年者、不具者、サウ云フ者ハ必要ニ應ジテ總テ必要ナク何ノ自由ナク分配セラル、日本ノ家庭其ノモノガサウナツテ居ル、其ノ人ハ「ヒューゴー・ブロイス」博士デ「ワイマール」憲法ノ起草者デアリマス、博士ハ

儲カ日本ノ民法ヲ翻譯シタコトモアルト云フコトデ、日本ノ民法ヲ見ルト、夫婦財產制度ト云フモノガアツテ、ヤハ個人主義ノ立法ニナツテ居ルデヤナイカト云フコトヲ反駁致シマシタ、私ハ「アレハ民法ノ法律ノ上ダケデ、實際ハサウナツテ居リマセヌ、要ノモノハ夫ノモノ、又主人ト雖モ家ノ財產、家ト云フ共產團體ノ爲ニ働イテ居ルノデア、私が働イタカラ全部主人ノモノデアルト云フ考ヘ方ハ日本バハ許サレナイト云フ話ヲ致シタノデアリマス、所謂勞働全收穫ヲ認メザル所ノ和氣臨タル團體デアル……

○添田委員長 小林君、一寸質問ノ結論ヲ成ベク急イデ下サイ

○小林委員 私ハサウ云フ譯デ勞働全收穫ト云フモノヲ前提トシタヤウナ今日ノ國家施設ニハ幾多ノ誤謬ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトニ對シテ、能力ニ應ジテ働キ必要ニ應ジテ配給ヲ受ケラレル、分配セラレルト云フコトガ、厚生行政ノ根本義デアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○菅田國務大臣 厚生行政ノ根本ハ必要ニ應ジテ配分スル、能力相應ニ働クト云フ趣意ニ副ウテ實行致シテ居ル積リデアリマス、其ノ他色々御話ニナリマシタ學說ニ對シマシテハ、私ハ十分研究致シテ居リマセヌノデ、之ヲ批判スルダケノ力ハアリマセヌガ、頗ル有益ナ御説トシテ傾聴致シタ次第デアリマス

○小山委員 本案ヲ審議致シマスニ私ハ資料ヲ要求シタイ、第一「アメリカ」ノ勞働組合法及「イギリス」ノ勞働組合法、斯ウ云フヤウナモノヲ

本案ヲ審議致シマスノニ比較對照シテ
檢討致シタト思ヒマスカラ、其ノ資料
ヲ御出シ願ヒタイノデアリマス、是ダ
ケノ法案ヲ政府ガ御出シニナルノニ、
少クモ「アメリカ」「イギリス」等ノ
勞働組合法位ノ資料ヲ添ヘテ御出シニ
ナル位ノ御親切ガアツテ欲シト思ヒ
マス、ソレ故ニ此ノ審議ニ當リマシテ
ハ、其ノ法案ノ資料トシテ「アメリカ」
ノ勞働組合法及「イギリス」ノ勞働組
合法ノ概要ノモノヲ御示シテ願ヒタイ
○農田國務大臣 「アメリカ」「イギリ
ス」ダケデ宜イデスカ、世界全般ノ必
要ハゴザイマセスカ

○小山(亮)委員 我ハ手數ヲ省ケ爲ニ
言ツタノデアリマス、ソレダケノ御用
意ガアレバ全部載キタイ
○農田國務大臣 手數ヲ省ケ爲メナラ
バ、議院圖書館ニモゴザイマスカラ、
若シドウシテモ手數ヲ省ケナレバナ
ラヌト云フコトナラバ、今持ツテ來テ
御目ニ掛ケマスガ、併シモウ既ニ勞働
法ノ質疑終結モ迫ツテ居リマスカラ、
一々印刷シテ皆サンニ御出シシテ居リ
マス、一寸時間ヲ取リマスカラ、何
カ便宜ナ方法ヲ考ヘテ載ク譯ニ行キマ
セスカ

○小山(亮)委員 厚生大臣ノ只今ノ御
言葉ハ、見タカツタラ圖書館ニ行ツテ
見タラ宜シト云フ風ニ解釋シテ宜イ
ノデアリマス、如何デゴザイマセウ
カ
○農田國務大臣 我ガ申シマシタノ
ハ、若シ今必要デオアリニナレバ、圖
書館カラデモ取ツテ來テオ目ニ掛ケマ
スガ、ソレトモ一々印刷シテオ配リス
ルノデセウカト冒ツテ居リマス
○小山(亮)委員 我カラコソ私ガ實ツ
テ居ル、世界中ノモノヲ持ツテ來イト

言ツテハ御迷惑ダラウト思ヒマスカ
ラ、差當ツテ「イギリス」「アメリカ」
位ノ概要ノモノヲ「ブリント」ニシテオ
出シ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ
居リマス
○農田國務大臣 此處ニ翻譯シタモノ
ガアリマスカラ、今早速オ目ニ掛ケテ
結構デスケレドモ、之ヲ皆サンニ配
付スルダケノ部數ガ幾ツテ居ルカドウ
カ、ソレガ分ラナカッタノデ……午後
三時頃ニハ配付出來マスサウデアリマ
ス
○小山(亮)委員 宜シウゴザイマス
○農田委員長 一寸御相談致シマス
ガ、商工大臣ガ今見エテ居リマス、小
林君如何デスカ
○小林(鐵)委員 第五ノ前段申述ベマ
シタ當然ノ結果トシテ低賃金、低利潤
ノ原則ニ付デアリマス、本會議デモ
屢ニ議論ニナリマシタガ、日本ノ産業
ノアリ方デアリマス、第一公式トシテ
資本主義ノ時ニハ高利率低賃金、サウ
シテ人手ヲ少クシ利潤ヲ多クシ、多量
生産ヲスル、斯ウ云フ方式デ行ツタコ
トハ間違ヒナイト思ヒマス、然ルニ第
二公式デバ、「アメリカ」ノ「ニュー・
デイル」デアリマス、高利率高賃金デ
人手ヲ少クシ、利潤ヲ多クシテ多量生
産ヲスルコト云フノデアリマスカラ、ド
ウシテモ是ハ市場ヲ擴張スル爲ニ侵略
的ニナラザルヲ得ナイ、所ガ先程カラ
私申シマシタガ、此ノ限ラレタ資料資
源ヲ以テスル日本ノ産業ノアリ方ハ、
第三公式デ行カナクテハナラナイト信
ジマス、即チ低賃金、高利率デ多數ノ
人ガ就業出來ルヤウニ、サウシテ利潤
ヲ少クスル、低利潤、サウシテ多量生
産、斯ウ云フコトニナラナレバナラ
ヌト思ヒマス、日本ノ將來ノ産業ノ行

キ方ハ、勞資一體、即チ賃金ヲ安クシ
テ或ベク澤山ノ人ガ就業出來ルヤウ
ニ、資本家モ利潤ヲ最小限度デ我慢
スル、低利潤ト云フコトデ行カナクテ
ヤイカヌト私ハ思フノデアリマスガ、
之ニ對スル兩大臣ノ御所見何ヒタイ
○小笠原國務大臣 我共ハ其ノ主義ト
シテ高賃金、高利率ト云フカ、或ハ低
賃金、低利潤ト云フカ、サウ云フコト
ヲ主義的ニ決メルヨリモ、實情ニ即シ
テ決メル方ガ宜シイノデヤナイカト云
フ風ニ考ヘテ居リマス
○農田國務大臣 商工大臣ノ答辭シタ
通りデアリマス
○小林(鐵)委員 御答ヘニナラナイト
思ヒマスネ、日本デハ何處マデモ低賃
金デ行カウ、「ニュー・デイル」デハ高
賃金デ行カウ、社會黨ノ諸君モ高賃金
デ行カウ、是デハ追跡ツコニナツテシ
マヒマス、私ハ資本主義トハ違ツタ意
味デ低賃金、隨テ日本人ノ生活費ノ實
質ヲ低下セマヤウニ努力スベキモ、
如何様ニシテモ生活費ヲ引下ゲナケレ
バナラス、同時ニ資本ノ利潤ヲ引下
ゲルト云フ方針デ行カナレバ、ドウ
シテ一體日本産業ノ再建ガ出來ルノデ
スカ、私ハ一寸ソコノ所ヲハツキリシ
テ置イタ方ガ宜イト思フノデアリマス
○農田國務大臣 御答ヘ致シマス、高
賃金、短時間勞働、高利率ト云フコト
ハ、「アメリカ」方面デハ頻リニ主張サ
レテ來タルデアリマス、殊ニ勞働過剩
ニナル虞ノアル今日、ソシテ生活費ノ
益々昂騰セントスル今日、必要ニ應ジ
テハ短時間勞働ニスルコトガ望マシイ
場合ガ多イト思ヒマス、又物價騰貴ノ
趨勢ノ甚ダシイ時デアリマスカラ、此
ノ時代ニ低賃金ヲ實行スルト云フコト
モ相當實情ニ副ハナイ點ガアルト思ヒ

マス、ガ最モ我々ガ注意スベキコトハ、
能率ノ點ダト思ヒマス、短時間勞働、
高賃金デアツテモ、高利率ト云フ條件
ガ伴ハナイ場合ニハ、日本ノ産業ハ結局
破綻ニ陥ルコトハナイカ、隨テ高利率
ノ項目ガ能ク實行出來ルト云フ見据エ
ガ付ケバ、短時間勞働ト同時ニ高賃金
ヲ支出シテモ、日本ノ産業ハヤツテ行
ケル、其ノ點ヲドウスルカ、斯ウ云フ
コトガ今日我々ノ當面シテ居ル重大ナ
問題ニナツテ居ルト、斯様ニ私ハ考ヘ
テ居リマス
○小林(鐵)委員 一般論ハ是デ止メマ
シテ、本法ニ即シテ御質問ヲ二、三申
上ゲテ私ハ質問ヲ終リマス
○農田委員長 大分時間ガ過ギマシタ
ハデ、是デ休憩ニ致シマス、午後ハ本
會議ノ勢頭、戰災復興ノ決議案ガ出ル
サウデアリマスカラ、其ノ決議案ノ終
了次第、此ノ委員會ヲ再開致シマス、
休憩致シマス
午後零時十二分休憩
午後二時四十一分開議

○農田委員長 開會ヲ致シマス
○高橋政府委員 昨日信正委員カラ御
尋ネガアリマシタ現在ニ於ケル本法ノ
適用ノ對象タルベキ人ノ數ト云フ御
尋ネゴザイマシタガ、此ノ目的ノ爲
ニ正確ナ調査ノ必要アリ、遺憾ト致シマ
スガ、終戦時ニ於ケル有業者ノ數數カ
ラ推定致シマシタ極ク概數ヲ申上ケル
コトニ依ツテ御諒承ヲ戴キタイト思ヒ
マス、大體終戦時ニ於ケル有業者ノ數
ガ全國デ三千萬人、斯ヲ推定サレマシ
タ、其ノ中千五百萬人ガ農業並ニ水産
業ニ従事スルモノト見テ居リマス、殘
リノ千五百萬人ガ商業、ソレカラ工業、
ソレカラ商業、交通業、公務、自由業、

家事其ノ他ト云フヤウナモノデ、之ヲ
合セテ残りノ千五百萬トナリマス、只
今申シマシタ残りノ千五百萬ノ中ニ
ハ、使用者並ニ其ノ利益ヲ代表スル者、
獨立營業者、ソレカラ失業者其ノ他ガ
約七百萬居リマシテ、残りノ八百萬ト
云フモノガ、大體本法ノ適用ヲ受クベ
キ對象デアル、斯ウ云フヤウニ推定シ
テ居リマス、結論ハ約八百萬デゴザイ
マス
○信正委員 此ノ際正確ナ數字ガ分リ
得ナイト云フコトニ付キマシテハ、私
モ無理カラヌコトト存ジマシテ、了承
致ス次第デアリマス、私ノ推定スル所
ニ依リマス、只今ノ御言葉ニアリマ
スニ數字ハ相當少キニ失スルノデハナ
イカ、斯様ニ存ジテ居リマス、日本ノ
國民ノ中ノ農業者ヲ除イテ、其ノ他
ノ國民中働キ得ル者ノ凡ソ、七、八割
ハ本法ノ對象ニナル人員ニ相當スル
デハナイカ、私ハ斯様ニ存ジテ居リマ
ス、若シ私ノ推定スル程ニ達シナイト
致シマシテモ、只今政府ノ御答辭中ニ
アリマシタ數字ダケダト致シマシテ
モ、活動シ得ル人ノ中ノ相當數ヲ占メ
テ居リマスカラ、先刻モ質問致シマシ
タ通りニ、私ハ將來ニ於テ事實上是ガ
日本國民組織ノ基礎タル運命ヲ懸ツテ
居ルモノダト、斯様ニ信ズル、ソレデ
其ノ心ヲ以テ指導ノコトニ付テ考ヘテ
行カナレバナラヌノデアリナイカト存
ジテ居リマスル次第デアリマス、是ダ
ケヲ申上ゲマス
○農田委員長 小林君、午前ニ引續イ
テ願ヒマス
○小林(鐵)委員 法案自體ニ關スル質
問ニ移リマス、第一ニ勞働管理ノ責任
ハドウシタニ此ノ法律ニ於テハナルノデ
アリマセウカ、生産責任ハ使用者ダ

○農田委員長 我ガ申シマシタノ
ハ、若シ今必要デオアリニナレバ、圖
書館カラデモ取ツテ來テオ目ニ掛ケマ
スガ、ソレトモ一々印刷シテオ配リス
ルノデセウカト冒ツテ居リマス
○小山(亮)委員 我カラコソ私ガ實ツ
テ居ル、世界中ノモノヲ持ツテ來イト

ト思ヒマスガ、此ノ法律ガ出来マス、其ノ管理ハ勞働組合ノ幹部ニ移ルノデアリマセウカ、此ノ點ニ對スル御所見ヲ伺ヒマス。

○田島國務大臣 勞働管理ノ責任ハヤハリ使用者デアリマス、サウシテ其ノ管理事務ノ主任者ハ厚生省ニナツテ居リマス。

○小林(鐵)委員 サウシマス勞働者ノ任免ノ掌人ヲ事權、是モ勿論使用者側ニアルノデアリマスガ、其ノ點如何デスカ

○田島國務大臣 勞働協約ヲ結フ場合ニハ、協約ノ定メ方如何ニ依ツテ勞働組合ノ意見ヲ徵スルコトハ出来マス、サウ云フ自由ハ認メテアル譯デアリマス

○小林(鐵)委員 第二點トシテ、勞働者ノ規律ノ維持、訓練、教育ト云フヤウナモノハ、ヤハリ使用者側從來通りヤルト云フコトニナルノデアリマセウカ

○田島厚生大臣 從來通りト申シマス、戰争中ノ意味デスカ、協約ニ書イタモノ以外ハ場合ニ依ツテ勞働組合ガ教育施設ヲスルコトモアリマスシ、或ハ使用者ガ特ニ其ノ工場附屬ノ教育機關ヲ設ケルコトモ出来マス、其ノ邊ノ所ハ餘リ窮屈ニ考ヘナイデ、其ノ場

所、其ノ時ニ應ジテ適當ナル施設ヲ執ルコトガ出来ル、極メテ自由ナ立場ニアラズデアリマス

○小林(鐵)委員 第三點、組合員ノ資格ニ付テデアリマス、只今頂戴致シマシタ資料ニ依リマス、組合員ノ資格ガ英國及佛國デハ規定ゴザイマスガ、米國デハ何ニモ書イテゴザイマセ

ス、日本デハ資格ニハ何ニモ觸レテ居リマセウカ、之ニ付テハ別ナ命令カ何カニ出ル譯ゴザイマセウカ

○高橋政府委員 立法ノ際ニ英國ノヤウニ年齡ノ制限等ヲ如何ニスベキカト云フコトヲ委員會ニ於キマシテモ考ヘ、又政府當局トシテモ考ヘテ見タ譯デアリマスガ、此ノ邊ハ全部自由ニシテ置

イテ、意思決定、法律行為等ノ未成年者ニ對スル補充、親權者其ノ他ノ補充ハ、民法其ノ他ノ既存ノ法規ニ依リ、本法

トシテハ自由ニスル、何等制限ヲ置カナイノガ適當デアルト云フ結論ニ達シマシテ、敢テ何等ノ制限ヲ置カナカツタ譯デアリマス

○小林(鐵)委員 何ニモ制限ガナイトナリマス、生産ノ責任ハ生産者側ニアル、何等資格ノナイ者ガ或ル一定ノ標準ノ勞働條件デ入ツテ來ル、是ハ今

進駐軍ニ對シテ勞働供給ヲヤツテ居ル狀況ヲ見マス、最低賃金ガ十圓ナラ

十圓ヲ拂フ、所ガ殆ド一人前ノ者ハ來テ居リマセウ、精々青年學生生徒カ、甚ダシキニ至ツテハ子供ガ行ツテ居

マスガ、是カラ先ノ産業經營ニ當ツテ、組合ガサウ云フ組合員ノ資格、技能等

ニ付テ、モウ少シ責任ヲ持ツテ呉レナケレバ、所期ノ作業能率ヲ上ゲルコト

ガ出来ナクナルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレマスガ、其ノ點ニ付テハ

同ヒタイ

○高橋政府委員 御尤モノ點ト存ジマス、本法自體ニ御話ノヤウナ點ハ決メ

ナカツタノデゴザイマスケレドモ、サウ云フ風ナ點ハ勞働協約ニ、工員ノ訓

練教育、能率ノ向上ト云フ風ナコトヲ組合々々決メマシテ、サウシテ組合

側モサウ云フヤウナコトニ付テ誠意ヲ以テ努力スルト云フ風ナコトハ決メラ

レンコトヲ期待シテ居ルモノデアリマス、過去ニ於ケル勞働協約ニモ、サウ云

フ風ナ事例ガ相當多クッタヤウニ承知シテ居リマス、斯ウ云フ風ナ困難ノ

時ニ、經濟復興ノ緊急ノ必要トスル時ハ、尙更サウ云フ風ナ責任ヲ組合側ニ

於テモ持ツテ、サウシテ産業ノ興隆ニ貢獻シテ行クヤウニ致シテ行キタイト

○小林(鐵)委員 ソレハドウ云フ方法デ此ノ點ヲ締メテ戴クカ、出來ルナラ

バ私ハ勞働基本法ト云フヤウナモノガ出來マシテ、先私多少抽象ニ互ツタカ

知リマセウガ、基本法ハ勞働ハ國家ニ對スル最高ノ義務デアルト云ツタヤ

ウナ根本理念ヲハキリシテ、此ノダラケ切ツタ今日ノ生産意欲ト申シマス

カ、勤勞意欲ト云フモノヲ引締メテ行クト云フコトデナカツタナラバ、軍隊

ノナクナツタ今日、一體日本人ヲ「フィリッピン」人ニシテシマフノカドウカ、

今日相當訓練ヲ受ケテ者デスマ、殆ド締リト云フモノガゴザイマセウ、職

權ヲ以テ帶劍ヲシテ居ル警察官デスマ、朝鮮人ノ暴レノスラ取締ルコト

ガ出來ナイ、斯ウ云フコトデ、ドウシテ一體産業ヲ回復シ、國家ノ再建ナン

來ルヤウニ御考ヘデアリマスガ、此ノ終戦以來ノ地方アタリノ官吏ノ自信ヲ失ツタ態度ト云フモノハ、中央デ想像

出來ナイト思ヒマス、デアリマスカラ、ソコノ所ハ是非根本的ニ考ヘテ戴キタ

イ、之ヲ勞働者ノ組合ト使用者側ノ勞働協約ニ一任スルト云フコトデハ、私

ハ一寸不足ダト思ヒマス、出來ルナラバ勿論準則ノヤウナモノガ御出來ニナ

ルノデアリマセウガ、進シテ軍紀軍律ニモ當ルベキ勞働基本法ト云フヤウナ

モノノ御制定ヲ急ガレンコトヲ希望致シマス

第四點ハ、組合代表者ノ資格ニ付テ同ヒマス、法第十條ヲ見テ致シマス、

「勞働組合ノ代表者又ハ勞働組合ノ委任ヲ受ケタル者」云々ト勞働協約ノ所謂團體交渉權ガ是ニ規定シテゴザイ

マスガ、其ノ資格、諸リ勞働組合指導者ノ資格ニ付テ何等制限ガゴザイマセウ、從來ハ罷解ガアルカ知リマセウガ、所謂勞働ブローカー「ガアル、一週モ「ハンマー」ヲ振ツタコトモナシ、勞働ノ經驗モ持タズ、實情ニ即シテ居ンナ

マセウ

イ、全ク産業ノ實情ニ通ジナイ所ノ者

ガ一ツノ觀念論デ以テ突當ツテ來ル、

使用者側ニ交渉シテ來ルト云フコト

デ、實情ニ即ハザル所ノ協約ガ出來

ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレ

ルガ、一體是等ニ付テハ其ノ必要ハナ

イト御認メナリマセウカ

○田島國務大臣 只今ノ御質問ハ所謂

勞働「ブローカー」ト稱スルモノガ威

シテ困ルコトハナイカ、斯ウ云フコト

ニ歸スルト思フノデアリマス、其ノ點

ハ本會議ニ於テモ質問ガアリマシテ、

一應私カラ答辭ヲ致シタ譯デアリマ

スガ、無論仲介ノ任ニ當ル者ノ中ニ惡

ノ者ガアツタト云フ過去ノ事實ハアリ

マセウケレドモ、反對ニ、極メテ誠實ニ

熱心ニ勞働者ノ代表トシテ勞働協約締

結ノ任ニ當ツタノモアリマス、問題ハ

惡質ノ者ガ出テハ困ルデハナイカト云

フヤウナコトデアリマスガ、サウ云フ

者ハ段々勞働階級ノ知識、判斷力向上

シ、社會ノ制裁ガ嚴重ニ行ハレルコト

ニナレバ、到底存在シ得ナイモノニナ

ルト思ヒマス、隨テ極メテ勞働者側ニ

信頼ノ厚イ代表者ヲ排斥スルト云フ

ヤウナ立法ヲスルコトハ、角ヲ矯メテ牛

ヲ殺サントスル弊ニ陥リ易イ、左様ニ

考ヘテ、特ニ資格等ノ問題ヲ此ノ法文

ノ中ニ掲ゲナカツタ理由デアリマス

○小林(鐵)委員 了承致シマシタ、第

五點ハ公共事業職員ノコトデアリマ

ス、第四點ハ二項ニ分テ前項規定スル

ノノ外官吏、待遇官吏及公吏其ノ他國

又ハ公共團體使用セラル、者ニ對シテ

ハ本法ノ適用ニ付「云々」ト云フコトガ

ゴザイマスガ、是ハ本會議ニ協力御

答辭ニナツタヤウニ思ヒマスケレ

ド、モウ一度御示シ願ヒタイト思ヒマ

ス

○高橋政府委員 今事務當局ト致シマ

シテ、御懸念ノ命令案ノ第五條イテ居

ルモノヲ申上ケテ御質問ニ代ヘタイ

ト思ヒマス、大體ノ要點ハ、同業團體

ノ他ノ爭議行為ノ點ト、ソレカラ政治

運動ノ點ト二點ガ、先ノ要點ナ點デハ

ナイカト思ヒマス、前段ノ點ニ付テマ

シテハ、二ツノ點ヲ大體考ヘテ居リマ

ス、其ノ一ツノ點ハ、調停若シテハ仲

裁ニ付スルコトナクシテ、而シテ仲

裁或ハ成案ガ加ハルコトナシ、出テ裁

ケニ爭議行為ニ出テハイケナイト云フ

コトガ第一點、サウシテ又「ストライ

キ」等ノ爭議行為ガ起シントシ、又ハ

起ツタ場合ニ於テハ、行政官廳ハ之ニ

四三

第三回

昭和二十年十二月十三日

労働組合法案委員会

第六回第六號

労働組合法案委員会

第三回

昭和二十年十二月十三日

對シテ必要ナル場合ハ中止命令、其ノ他ノ必要ナル命令ガ出セルト云フコト、此ノ二ツニナツテ居リマス、政治運動ニ付キマシテハ、勞働委員會ノ決議ニ依リテ、行政官廳ヲ禁止、又ハ制限スルコトガ出來ルト云フ風ナ命令ヲ置キタイ、大體コソナ風ニ考ヘテ居リマス

●小林(鐵)委員 只今ノヤウナ御趣旨デアリマス、官吏、待遇官吏及公吏其ノ他國又ハ公共團體ニ使用セラルル者ト、者ノ方カラ規定シテ居リマスガ、其ノ特別ハ事業ニ屬スルカラダ、斯ウ云フ特別ナ「別段」定ヲ爲スコトヲ得ト云フコトハ、公共性カラ來テ居ルヤウニ思ヒマスガ、果シテサウダトスルナラバ、如何デアリマセウカ、東京都ノ都電ノ交通組合ノ爭議ノ如キハ、之ニ當ルヤウニ思ヒマス、但シシテ、現今ヤウテ居リマス京成電氣ノ爭議ト、何處ガ違フカ、違ハヌヤウニ思フノデス、若シ違ハヌトスルナラバ、此處ノ所ニモウツ御入レニナツテ、

「國」又ハ公共團體ニ使用セラルル者ト次ニ「又ハ公共事業ニ從事スル者」トシテ交通事業トカ、水道トカ、瓦斯トカ公共事業ニ從事スル者モ包含スルヤウニ一句ヲ御加ヘニナツタ方が、今ノ御趣旨ガ通ルヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

●高橋政府委員 洵ニ御尤モノ御説デアリマス、現行法ノ爭議調停法ト云フ法律ガゴザイマスガ、此ノ調停法ノ規定ニ依リマス、只今御述べニナリマシタヤウナ京成電車ト云フ風カ公共事業ニ付テハ、或ル程度ノ行政調停ノ規定ガゴザイマス、現行法トシテハ之ニ依リマシテ爭議ノ調停ヲ致シタイト存ジテ居リマス、尙ホ現行ノ爭議調停法

ダケデハ、只今御述べニナリマシタヤウナ、都電ト京成電車ト云フ私鐵トノ本質上ノ差異ガナニ拘ラズ、本法ノ四條ノ命令ト相俾庭ガアルヤウニ思ヒマス、御述べノ通り不合理ダト存ジマス、隨テ近キ將來ニ、出來マシタナラバ此ノ次ノ議會ニ爭議調停法ノ改正案ヲ、只今御述べニナリマシタ趣旨ニ基キテ提案致シマシテ、御協議ヲ得タイ、斯ウ云フ風ニ存ジテ居リマス

●小林(鐵)委員 御趣旨ハ御同意ノヤウデアリマスガ、法文ノ體裁カラ言ヒマス、此ノ項ハサウ云フ風ニ御訂正エナツタ方が宜クハアリマセウカ、御考慮ヲ煩ハシテ御研究ヲ願ヒマス第六ニ、京成電車ノ爭議ニ付テ御尋ネ致シマス、京成電車ノ爭議ノ如キ、新開ニハ片斷ダケ出テ居ルヤウデスガ、突如トシテ罷業ヲヤツテ、新手段ヲ用ヒテ居ル、即チ意業ヲヤツテ、只乘リサセル、サウシテ民衆カラ爭議團ガ反感ヲ受ケルコトヲ防イデ居ルヤウナ話デアリマスガ、只今新井政務次官ノ御話ニ依リマス、只乘リサセルノモアルケレドモ、實ハ切符ハドシノ料金ヲ取リマシテ、サウシテ自分達ヲ給料ヲ勝手ニ拂ツテ居ルト云フ事實モアルサウデアリマスガ、斯クノ如キモノハ一體ドウ云フ風ニ御取締ニナリマスカ、此ノ公共性ニ鑑ミマシテ、具體的ニサウ云フモノハドウ云フ風ニ御取扱ニナルノカト云フコトヲ、ザツクバランニ大臣カラ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

●青田國務大臣 其ノ場合ハ刑法ノ規定ノ適用ガアルト思ヒマス

●小林(鐵)委員 刑法ノ適用ニナリマスカナ、ドウモ折角斯ウ云フ法律ガ出來テ、爭議調停法モ出來、組合法モ出來テ、ソレデ刑法ト云フコトヲハドウ

デセウカ、サウ云フコトヲナカラシムル爲ニ、此ノ立法ノ必要ガアルデヤアリマセウカ

○青田國務大臣 御説ノ通り成ベク爭議ヲ未然ニ防ギタイ、爭議ノアツタ場合ハ、成ベク固滑ニ之ヲ終了サセタイト云フノカ勞働爭議調停法並ニ勞働組合法ノ精神デアリマス、併シナガラ爭議行方其ノ度ヲ越エテ、或ハ暴行、脅迫ニ及リ、或ハ騷擾罪ニ及リ、若シクハ横領ニナリ、委任金消費ニナルト云フ場合ニハ、必然其ノ法規ノ適用ヲ受ケルノガ當然デアリマシテ、各國トモ左様ニシテ居ルト思ヒマス

●小林(鐵)委員 サウ仰セニナレバソレデ話ハ濟ムノデアリマスガ、サウナラヌヤウニ、尙ホ一段ノ御工夫ガ願ヒタイト思ヒマス

次ニ第七點ハ工場委員會ト本組合トノ關係デアリマス、第五條ニ依リマス「勞働組合ノ代表者ハ組合設立ノ日ヨリ」云々ト云フ登記規定ガゴザイマス、「規約並ニ役員ノ氏名云々」ト云フノガゴザイマス、サウシマス、此ノ役員ト使用者側ノ代表者ト一定ノ時期ニ始終會議スルト云フヤウナコトハ、爭議ヲ未然ニ防グニ非常ニ良イ方法ニナルト考ヘマス、世ニ所謂工場委員會、「ショップ・コミティー」ト云フ風ニ致シマスコトガ、産業平和ノ上ニ幾多ノ貢獻ヲシタコトハ、御承知ノ通りデアラウト思ヒマス、マダ實際ノ所日本ノ大部分ノ勞働者ハ、團體交渉權ト云フコトヲモ知ラナイノデアリマス、恐ラク知リマセヌ、デスカラヤハリサウ云フ使用者側ト、組合ノ側役、幹部ト、始終適合ノ機會ガアレバ、意思ガ融通致シマス、丁度政府ノ當局者ト人民ノ代表者トガ、斯様ナ機會ニ於

テ始終質問應答スルコトニ依リテ、國政ガ圓滿ニ運営サレテ行クト同ジヤウナ形デ、勞働者ガ直接經營ニ參加シナクテモ、サウ云フ代表者ト使用者側ノ幹部ト、始終委員會デ顔ヲ合セルト云フコトガ、工場立憲制ノ具現デアツテ、非常ニ必要ナヤウニ考ヘマスルガ、政府デハドウ云フ風ニ御考ヘデアリマス

○高橋政府委員 御尋ネノヤウニ、使用者ノ側ノ者ト、勞働者ノ側ノ者トガ相寄ツテ色々相談スルト云フコトハ、洵ニ望マシイコトト存ジマス、本邦ニ於テモ勞働組合ノ盛ンデアリシ頃ハ、サウ云フ風ナ事例モ多クアツタヤウニ存ジマス、本法ニ於キマシテモ、ソレヲ希望シテ居ル譯デアリマス、其ノ一ツノ現ハレト致シマシテ、二十二條ニ「當該勞働協約ニ依リ規程決定ノ爲設置セラレタル機關ノ存スルコトキハ其ノ定メタル規程ヲ含ム」斯ウ云フ風ナ括弧書アリマスガ、此ノ括弧書アル所以モ亦、サウ云フモノノアルコトヲ希望シ、アツタ場合ニハ斯ウス、斯ウ云フ風ナコトモアリマス、洵ニ御意見ノ通り望マシイコトト存ジマス

○小林(鐵)委員 第八ニ價值ノ安定セラル資金支給ノ必要ニ付デアリマス、資金ハ始終物價ト並行シナケレバ、其ノ意味ヲ成サヌコトハ申スマデモゴザイマセヌ、ソコデ物價ノ昂騰ト云フコトト、資金ト云フコトト並行スルヤウニ、所謂「スライディング・スケール」ト云フヤウナ方法ヲ採ルコトガ必要ダト思ヒマスガ、是ハヤハリ勞働協約ニ御任セニナル様リデアリマセウカ、是カラ政府ガドシナニ御盡力ニナリマシテモ、「インフレーション」ノ進行ガ殆ド避け難イヤウニ考ヘラレマス、サウス

ルト始終爭議ヲ繰返サナケレバナラナイ、ソレヲ「スライディング・スケール」ニシテ置ケバ、爭議ヲ避ケルコトガ出來ルヤウニ考ヘマスガ、其ノ點ハドウデセウカ

○青田國務大臣 只今小林君ノ御意見ノ通り、「スライディング・スケール」ヲ採用スルコトハ、各國ノ立法例等ニモアル例デアリマシテ、極メテ公平ナ適當ナ案デアルト思ヒマス、之ヲ勞働協約ノ中ニ定メルコトモ望マシイト思ヒマスガ、現在マダ勞働協約等ノ制度ガ、普遍的ニ行ハレテ居リマセヌ關係カラ、或ル場合ニハ政府ニ於テ一定ノ基準ヲ示スコトモ有益カト思ヒマス、又實際問題トシテ、現在ノ生活費ノ一定ノ基準ヲ取ルコトガ、非常ニ困難ナ狀態ニアリマス、ソレハ小林君モ御承知ノ通りデアリマス、斯ウ云フ際ニ都市及ビ地方ニ依リ非常ナ生活費ノ差ガ出テ居リマス、又其ノ高低ノ變化ガ非常ニ激シイノデアリマス、米一升ノ價格場ニシマシテモ、所ニ依リ、時ニ依リ非常ニ變動ガアリマスガ、斯ウ云フ際ニ果シテ確實ナ生計費ノ計算ガ出來ルカドウカ、マダ確實ニ生計費ノ統計ヲ掘ツテ行クダケノ政府ノ施設ガ出來テ居ラヌト思ヒマス、無論ソレハ將來ヤラナケレバナラヌコトト思ヒマス、今直グニ之ヲ實行スルコトガ困難ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シナガラ御話ノ「スライディング・スケール」ノ案ハ、非常ニ進歩的ナ公平ナ案ト思ヒマスカラ、此ノ方法ヲ採用ニ付テハ、十分研究シテ、出來レバ實行ニ移シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小林(鐵)委員 ソレカラ第九點ハ株主タル勞働者ニ付デアリマス、此ノ

案ニ依リマス、使用者又ハ其ノ利益ヲ代表スト認ムベキ者ノ参加ヲ許スモノハ、本法ニ於ケル勞働組合トナラナイ、斯ウ云フコトニナリマスガ、會社ノ職員ナリ勞働者ナリニ株主ガ居ル、斯ウ云フヤウナ場合ガアルノデアリマ

カ、ソレハ差支ヘゴザイマセスカ

○舊國務大臣 主ト云フデケデハ直ツレガ使用者ノ代表ト見ルコトハ、無理ガアルノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ全従業員ガ一様ツツ持ツチ居ル、或ハ二株ツツ持ツチ居ルト云フ例モアリマス、隨テヤハリ同ジ株主デアリマシテモ、其ノ株主ノ中ノ或ル職員ハ使用者ヲ代表スルト見ラルベキモノモアリ、又或ル株主ハ全然従業員ト看做サルベキモノモアルト思ヒマスカラ、個々ノ場合ニ具體的ニ見テ、之ヲ決定スルコトガ正シイノデアツテ、株主デアアルカドウカト云フデケノ基準デハ、其ノ點ハ必ズシモ實情ニソグハハナイデヤナイカト考ヘラレマス

○小林(鐵)委員 サウスルト斯ウ云フコトガ惡質ナ資本家デアアリ得ルト思フノデアリマス、組合ノ中ニサクラヲ入レルト申シマスガ、株ノ一部ヲ與ヘテ、サウシテ買収シタヤウナ形デ、其ノ組合ノ中ニ入レテ置クト云フヤウナコトガアリ得ルト思ヒマス、從來ハサウ云フ手デ買収ノ組合ノ内部ヲ攪亂サレタト云フ例ハ多々アルノデアリマス、鐵道ナドデハ職員、職員ハ組合ヲ作ツテモ宜シイト云フコトニナリマス

ト、其ノ中デ頗ル元氣ノ好イ「リीड」ニナル人ヲ、直チニ資格ヲ變更シテ官吏ニシテ組合ノ代表者タル資格ヲナクシテシマフ、斯ウ云ツタヤウナコトガ、私ハ必ズ行ハレルト思フ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、此ノ勞働組合内部ノ自衛ニ任セテ御覽ニナ

ル、斯ウ云フ大體御見込デアリマスカ

○舊國務大臣 無論自衛ニ候シコトハ非常ニ結構デアリマス、又サウデア

ルベキダト思ヒマス、併シソレガドウシテモ解決ガ付カナイ場合ニハ、ヤハリ勞働委員會力仲介ニ出マシテ、勞働委員會ノ決定ニ俟ツ、其ノ決定ノ場合、例ヘバ斯様ナ使用者ノ代表者ト認メ

レルモノガ入り込シテ頼被リヲシテ居ルヤウナ場合ハ、之ヲ果シテ適法ナ勞働組合ト認メルカドウカト云フ最後ノ決定ハ、裁判所デ之ヲスルコトニナツテ居リマスカラ、救済ノ途ハ十分開カレテ居ルト思ヒマス

○小林(鐵)委員 私人質問ハ是デ終リマス

○添田委員長 山崎君、商工大臣ガ見エマシタカラ、アナタノ留保シテアル點ヲ一ツ御願ヒ致シマス

○山崎(常)委員 私が商工大臣ニ御尋

ネセントスル所ハ頗ル簡單デゴザイマスガ、唯我が國ノ是カラノ商工行政ニ付キ、又食糧問題ノ解決ニ付キマシテモ、重大意義ヲ持ツモノデゴザイマス

カラ、商工大臣ノ所見ヲ御伺ヒシタイト思フノデゴザイマス、先ツ第一ニ申上ゲルマデモナク御承知ノヤウニ、街上到ル處ニ充滿シテ居リマス所ノノ

ノ鬧市場ヲ商工大臣ハ御見學ナサツタコトガアルト思ヒマス、アノ鬧市場ノ解決ヲ一體ドウ云フ工合ニ御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ一應先ツ以テ御伺ヒ致シマス

○小笠原國務大臣 鬧市場ガ出テ居リマスルコトニ付テ、私共ハ政府ノ行政ガマダ力ガ足ラヌト云フコトヲ實ハ感

ジテ居ルモノデアリマス、此ノ鬧市場ヲナクスル爲ニハ、ヤハリモツト配給

ガ圓滑ニ行ハレ、物資ガ多ク出廻ラナ

ケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、終戦後ニ於ケル各方

面ノ立上リ方ガ少シ後レテ居ツテ、十分物資ガ出廻ラナイ、又當業者モ非

ニ生産シヤナイト云フ所カラ、ア、云フ市場ガ生レテ來テ居ルノデハナイカ、是ハヤハリ我々ノ行政力ヲモツ

十分ニヤラナケレバイカヌト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯問題ハヤ

ハリ價格トカ統制トカ云フモノガアリマス、統制ハ出來ルダケ其ノ枠ヲ外シ

タイト云フ考ヘデ居リマスガ、聯合軍

司令部カラノ命令ノ次第モアリマシ

テ、マダ全部ノ枠ヲ取外ス所ノ諒解ヲ取付ケルニ至リマセヌ、又價格等モ山

崎君モ御承知ノヤウニ、何十萬モ價格ガアルト云フコトハ、實ハ價格ガナイ

ト大體私ハ同様ダト思フノデアリマス、何故カト云フト、其ノ實情ニ即

シテ價格ヲドン／＼變ヘテ行クト云フコトハ、價格ヲ一ツ變ヘルノデモ、ド

ウ云フ資材ガドウナツテ、ドウ云フ條

件ガドウダ、デカラ變ヘルノダト云フ

コトデ委員會開イテヤラナケレバナ

ラス、何十萬モアルノデカラ、委員會

ヲ開イテヤラナドト云フコトハ、ソレ

ハ不可能ナデス、サウ云フコトヲヤ

ツテハ半年モ一年モ掛ル、假ニ價格ヲ

變ヘテモ、官報ニ一々載セルダケデ

モ、一年モ半年モ掛ル、隨テ實情ニ副

ツテ居ラナイ、然ラバ何故即刻サウ云

フコトヲヤラナイカ、斯ウ云フ御質問

ダト思ヒマス、私共ハ聯合軍司令部ニ

對シテ、是等ニ付テ折角諒解ヲ求メ

ツアルノデアリマスガ、只今ノ所マダ

諒解ヲ取付ケルニ至ツテ居リマセヌ、

隨ヒマシテ左様ニ考ヘテ居リマスガ、

實行致シ兼ねテ居ル次第デアリマス、

斯ウ云フコトガ漸時改善サレテ參リマ

スレバ、品物ガ澤山出廻ルコトニモナ

リ、又生産業者ノ勵ミモ出テ來マシ

テ、ア、云フ鬧市場ト云フモノハ、其

ノ點カラ實際上ノ必要ガナクナツテ來

ルダラウト思ヒマス、只今鬧市場カ出

來テ居ルコトハ、今申上ゲタヤウナ事

情デ、是ハヤハリ政府ノ行政力ノ不足

ダ、率直ニ申セバサウ考ヘテ居リマ

ス

○山崎(常)委員 商工大臣ハ率直ニ行

政力ノ不足ダト申シマシタガ、確カニ

其ノ通りデアリマス、ソレカト云ツ

テ、一應アノ鬧市場ノ整理ノ爲ニ何カ

ノ手ヲ打タナイコトニハ、國民ハ生活

出來マセヌ、鬧ヲシテ又鬧ト云フヤウ

ナ工合ニ、鬧カラ鬧ヲ辿ツテ居リマシ

テ、洵ニ見苦シイ共食ヒサナデス、過

日ノ新聞デモ書カレテ居リマスヤウ

ニ、實ニヒドイ間值段アル、日本ノ

政府ガ之ヲ此ノ機ニ捨テ置クナラバ、

「マツカーサー」ノ方デハ之ニ斷乎手

ヲ入レルト云フヤウナ新聞記事モ出テ

居リマスガ、總テノコトガ後手々々ニ

ナツテ居ルト私ハ思ヒマス、其ノ點デ

今商工大臣ノ御答ヘニ依リマスレバ、

殆ド施ス術ガナイト云フヤウナ御答辭

ノヤウニ承リマス、是デハ國民ハ困リ

マス、商工大臣ガ左様ナ言ヲ吐カレテ

ハ、一體是カラドウナルカト云フコト

ニナリハセヌカト思フ、何カノ手ヲ打

ツト云フ方針ガアルカドウカト云フコ

トヲ、重ネテ承ツテ置キマス

○小笠原國務大臣 鬧市場ノ發生ヲド

ウ見テ居ルカト云フコトデゴザイマシ

タカラ、ア、云フ風ニ御答辭致シタノ

デアリマスガ、政府ト致シマシテ施策

スベキコトハ施策ヲ致シテ居ルノデア

リマス、言葉ヲ換ヘテ申シマス、優

良品ヲ多量ニ製造スルト云フコトニ付

テ、資材ノ割當等モ其ノ工場ニ出シマ

シテ、優良品ガ出廻ルヤウニ努力致シ

テ居ルノデアリマス

○山崎(常)委員 其ノ是正ノ方法ヲド

ウ云フ風ニ講ジテオイデニナルカ、是

ハ私具體的ニ承リタイト思ヒマス、唯

抽象的デナク、斯ウ云フ方針デ斯ウ云

フ手ヲ打ツ、アルノダ、ドウ云フコ

トガ執ツテテ居ルノカ、私ノ方モ具體

的ニ申上ゲマスガ、ア、云フモノヲ路

上ニ於テ無盡藏ニ許スト云フ鬧市場ノ

形態ハ、實ニ恥ノ上ノ恥デス、アレニ

對スル手ヲ先ツ打タナケレバナラナイ

ト云フ氣ガ致シマスガ、商工大臣ノ方

デ何カソレニ對スル具體的ノ方針ヲ考

ヘテ居ラレマスレバ、ソレヲ承リタ

イ

○小笠原國務大臣 今申上ゲタ通り、

商工省ノ方デハ優良品ヲ作ル者ノ方ニ

資材ヲ餘計振向ケテ、優良品ヲ多數出

スコトニ依ツテ、ア、云フ鬧市場ヲナ

クシタイト考ヘテ居リマス、具體的ニ

言ヘバ、例ヘバ電熱器デアリマス、電

熱器一ツニシテモ、鬧市場ニ電熱器ガ

色々現ハレテ居リマスガ、商工省ノ方

ニ於キマシテハ、電熱器ノ規格ヲ決メ

テ、又之ニ商工省ノ「レツテル」ヲ貼ツ

テ優良品ヲ出スコトニ努力シテ居リマ

ス、是ハ能ク御承知ノコトト存ジマ

ス、サウ云フ方法以外ニ、ソレデハ鬧

ヲ皆ナクシテシマフノモ宜イ方法カモ

知レマセヌガ、ソレガ出來ルカドウカ

ト云フト、今品物ガマダ出廻ハラヌ時

ニ、サウ云フ風ニ鬧市場ヲナクシテシ

マフコトガ宜イカドウカニ付テハ、私

共マダ少シ考ヘル餘地ガアルノデハナ

イカ、ソコデ私共出來ルダケ優良品

物ヲ出シテ、ソレニ依ツテ此ノ鬧市場

ト云フモノヲナクスルヤウニ持ツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○小林(鐵)委員 一寸關聯シテ——只今ノ闇市問題ニ付キマシテ、一ツノ案ト致シマシテハ、市町村長ニ經濟警察權ヲ與ヘルコトヲ考ヘラレルト思ヒマス、私ハ地方ノ市長ヲ致シテ居リマシテ、熱心ソレヲ感ジテ居リマス、外國デハ御承知ノ通り市長ガサウ云フ警察權ヲ持ツテ居リマス、日本デハソレガナイモノデスカラ、向フカラ進駐シテ部長長ハ、ヨクソレヲ聽キマス、ナゼ君ハ警察權ヲ發動シナイカト聽カレマス、ソコデ遺憾ナガラ斯ウ云フ事情デアルト説明シテ居リマス、此ノ間十二月五日附東京新聞ニ、小田原市ニ於テハ虚脱ノ市民ヘ自治ノ活ヲ入レテ配給品ガ倍ニナツタ、市長ガ警察權ヲ持ツ、斯ウ云フ記者ガ出マシタカラ、私ハ五日ノ日ニ議會ヲ一日休ミマシテ、小田原ニ行ツテ實情ヲ聽イテ參リマシタ、小田原ノ市長ハ前代議員鈴木英雄氏デアリマス、ドウ云フ狀況ダツタカト申シマス、進駐軍ガ參リマシタ丁度三週間日二十月二十日午後二時米進駐軍ノ部長長「ヒューズ」大尉ハ「ヨウイ」憲兵中尉「ネルソン」副官ヲ同伴シテ、市役所ニ正式訪問シテ魚類、蔬菜類ノ横流閣取引取締ノ施行ニ依ル市民生活ノ明朗化ヲ指示シタノデアリマス、ソレヲ曰ク私共ガ此處ニ進駐シテ來テカラ三週間ニナルガ、ドウモ市民ノ顔ガ非常ニ暗イ、サウシテ殆ド食糧ヲ漁ルニ汲メトシテ居ル狀態デ、是ハ進駐ノ目的ニ反スルト思フ、何トカシテ此ノ市民ノ生活ヲ明るクシテヤリタイト思フカラ、試ミニ私ノ責任ニ於テ市長ニ經濟ニ關スル警察權ヲ與ヘルカラ、ドウカ思フ通りニ

ヤツテ賣ヒタイ、斯ウ云フ話デアッタサウデアリマス、私ハ聽キマシタ、ソレデヤ何カ書イタモノデモ持ツテ來マシタガ、イヤ口頭デス、口頭デアリマシタガ、自分ノ考ヘテ居ツタコト一致シマシタカラ、之ヲ受諾致シマシタ、多分神奈川県廳デハビツクリシタコトデセウガ——サウシテ市中ノ指導者——市會議員、町内會長、商工經濟會ノ役員、統制會ノ役員、サウ云フ人ヲ集メマシテ、市長ガ經濟警察ヲ實行スル、サウシテ「エム・ビー」米軍憲兵隊ガ市長ニ協力スル旨ヲ附加ヘテ置イタ、カラドウカアナタ方ハ關ラヤナイヤウニ御願ヒシタイ、先ヅ第一ニ、市外ニ野菜物若シクハ生鮮魚ノ賣出ニ行カヌコトニシテ賣ヒタイ、斯ウ云フコトヲ嚴重ニ申渡シマシタ、尙ホ附加ヘマシテ、關ハ自殺行為デアアル、高ク賣ツテモ生活品ガ高クナレバ結局同ジコトナシタカラ、此ノ際インフレヲ防止スル意味ニ於テ、オヒヒニ犧牲ヲ忍ビ合ハナケレバナライ、成ベク金ノ掛ラナイヤウニ、犧牲ヲ忍ビ合ヒマセウ、斯ウ云フ市民生活確立ニ關スル申合セワシタ、所ガ二日程ハ配給品ガ十分ニ間ニ合ハナカツタモノデスカラ、市長ニ對シテハ「貴方ハ非難ガアツタサウデス、所ガ市當局ハ是レ同時ニ手ヲ打チマシテ、市外町村ノ農業會、水産團體ニ呼掛ケマシテ、大量ニ品物ヲ獲得シマシテ市民ニ配付ラシタ、是ガ爲ニ其ノ結果ハ毎日附近ノ横濱、須賀、熱海等ノ市ニ公報ヲ以テ、關合セテ居ル、此ノ通りデスト表ヲ見セラレマシタ、私ハ今日其ノ表ヲ持ツテ參リマセヌデシタガ、大凡分量ニ於テ四倍、丁度私ガ參リマシタ其ノ日現在ノ各都市一人當リノ魚ハ一匁何ボシカリマセ

ヌデシタガ、小田原デハ一人一日當リ五十匁以上モアリマシタ、サウシテ價格ハ例ヘバ島越ニ例ヲ取ツテ見ルト、各周邊ノ都市ニ於テハ一匁目デセウカ、百匁デセウカ一匁單位ヲ知リマセヌガ、兎ニ角二十八匁乃至三十五匁アル、所ガ小田原ニ於テハ八匁幾ラ、丁度三分ノ一位ニシカ當リマセヌ、ソレカラ船ハ斯ウデアアル、大根ハ斯ウデアアル、詳シイ統計ヲ見セテ呉レマシタ、ソレヲ例ヲ考ヘテ見マシテモ、ヤハリ只今商工大臣ハ日本ノ行政力ノ稀薄デアアルコトヲ率直ニ御自白ニナリマシタガ、今ノ程度デモ市町村、諸リ國民生活ニ最モ直接關係ノアル、又信賴ヲ持ツテ居リマス、市町村當局ニ經濟取締ノヤウナ市民生活ヲ密接ニ關係ノアル警察權ヲ授與スルコト云フコトハ、今ノ政府ノ建前、今ノ警察ノ建前デ出來ルコトナノデアリマスカラ、斯ウ云フ手ヲ試ミニ一ツ打タレタラドウカ、小田原ハ進駐軍カラ授ケラレタノデアリマスガ、此處ニ市長ヲヤツテ居ル代議士ダケデモ十五人居リマスガ、サウ云フ人々ニダケデモ、關ヲ撲滅スル爲ニ警察權ヲセメテ與ヘテ戴キタイト思ヒマスガ、御意見ソ何ヒタイ

○小笠原國務大臣 大變示唆ニ當リ、御話デアリマシテ、可ナリ實情ニ副ハ合ガ多イと思ヒマス、但シ地方自治體ニ警察權ノ一部ヲ與ヘルカドウカ、或ハ「アメリカ」等ノ如キ地方自治體ニ警察權ヲ與ヘテ居ル所ノヤウニスルカドウカト云フコトニナリマス、日本ノ警察行政ノ根本ニ觸レル問題デアリマス、内務大臣モ大分考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、マダ結論ニ達シテ居ラヌト云フノガ實情デラウト思ヒマス

○山崎(常)委員 次ニ御尋ネ致シタイノハ、中小商工業ノ問題デアリマス、商工大臣御存知ダと思ヒマスガ、最近東京ヲ中心ト致シマシテ、各縣下ニ中小商工業者ガ、我々ノ將來ハ一體ドウナルノダト云フヤウナ合ニ、關ニ迷ツテ居リマス、此ノ中小商工業者ガ總商工大臣ノ所ヘ陳情ニ來ラダラウ私ハ見テ居リマスガ、サウ云フ問題ガ東京ヲ中心ト致シマシテ、全國ノ一起ツテ居リマス、實際ドウシテ宜イノカサウバリ方針ガ付イテ居ナイ、ソレガ街頭ノ闇ノ商人トナリ、或ハ其ノ中ヘ勞働者ガ又闇ノ商人トナツテ仕事ヲ探シテ居ル、斯ウ云フ傾向アル、是ハ別ト致シマシテ、中小商工業ノコトハ根本方針ヲ立テテ戴カレバナラヌデヤナイカ、之ヲ考ヘルモノデス、ソレハ私ノ考ヘテ居ル理由ハ、食糧問題ノ解決ガ高ク取上グラレテ居リマス、是ハ當然ノコトト思ヒマスガ、將來食糧問題ガ我が國ノ農村ニ於テ解決ガ出來ルシナラシメ、手工業的ノ仕事ヲウシントハ考ヘラレナイ、茲デ中小工業ヲ盛興シテ賣ツテ、優良ナ輸出品ヲ作レルコト云フ方面ノ指導ヲ與ヘテ賣ハナケレバ、イカスノデアナイカ、或ハ商人ノ方面モ、中小工業ガ盛ニナツテ來レバ、商人ノ部門モ自ツト盛ニ生レテ參ル、此ノ點ニ付キマシテ、食糧問題ノ解決トモナリ、失業問題ノ解決トモナリ、中小商工業ニ對スル前途ニ光明ヲ與ヘル根本ノ問題トモナリマス、是ハ是非商工大臣ノ前途ニ對スル御考ハドウデアアルカラ御尋ネ致シマス

○小笠原國務大臣 山崎君ガ仰セノ通りニ、中小商工業ハ將來極メテ大切ナモノデアリマス、特ニ今山崎君ガ御指摘ニナツタヤウニ日本ハ如何ニ全力ヲ盡シテ食糧政策ヲヤリマシテモ、復員或ハ海外カラ引揚ゲテ來ル者、夏ビ自然ニ増加スル人口之ヲ以テ賄フコトハ出來マセヌ、食糧ガ賄ヘナイカラ其ノ不足分ハ何トカシテ輸入ニ俟タナケレバナラヌ、輸入ニ俟ツストル、之ニ對スル見返リ物資ガ要ルノデアリマス、其ノ見返リ物資ト言ヘバ、中小商工業ノ手ニ掛ル各種ノ製品ニ負フ所ガ多イノデアリマシテ、特ニ山崎君ノ一宮トカ名古屋トカ、アノ附近ハサウ云フ物資ヲ作ル、中小商工業者ノ手デ澤山作ツタ所デハ、相當大キナ生産額ヲ擧ゲテ居リ、大キナ働キヲナシテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトハ最モ望マシイコトデアリ、又今ノ賠償物資等、色々ナ關係ガアリマシテ、大體日本ノ將來ノサウ云フ見返リ物資ノ生産ハ、主トシテ中小工業ノ手ニ俟タナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ中小商工業ヲ維持育成ニハ、全力ヲ盡シテ之ニ當リタイ、是ガ日本ノ將來ノ一ツノ行クベキ大キナ道デアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、或ハ協同組合ヲ作ルトカ云フ考ヘ方モアリマスガ、又資金其ノ他ニ付キマシテモ、簡易ナ方法デ應ジ得ルヤウナ途ヲ講ズルトカ、凡ソ助成方法ヲ執ツテ、中小商工業者ノ前途ニ光明ヲ與ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山崎(常)委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、商工大臣、大變熱意ヲ持タレテ居ルヤウナ御答辯ヲ伺ヒマシテ、サウ云フコトガ現在迷ツテ居ル中小商工業者ノ耳ニ入リマスレバ、非常ニ前途ニ明るミヲ感ズルコトニナルト思ヒマス、ドウカ此ノ中小商工業ヲ盛シナラシメテ、我が國ノ將來ノ食糧解決ノ方

面ニ向テ敷ク、其ノ他色々之ニハ理
由ガゴザイマスケレドモ、他ノ委員諸
君ノ質問ニ對シテハ、私ハ此ノ程度
ヲ切リマスガ、ドウカ此ノ點ハ御意
ヲ以テ御研究下サイマシテ、前途
ニ明ルミヲ與ヘテ下サイマスコト
ヲ切ニ御願ヒマス

○正木委員 私モ商工大臣ニ、三點
質問ヲシテ見タイ思フ、デアリマス
、只今同志ノ山崎君ガエラク商工大
臣ヲ褒メタヤウデアリマスガ、私ハ只
今ノ答辯デハ満足致シマス、ト云
フノハ今議會ヲ通ジテ、本會議ニ於
テモ各種ノ委員會ニ於テモ、私ハ大藏大
臣並ニ商工大臣カラ、日本ノ「インフ
レ」防止ニ對スル根本方針、隨テ現段
階ニ於ケル所ノ全國ノ勤勞階級ガ奮々
ト感シテ居ル實金俸給ニ對スル根本方
針ト云フヤウナモノガ、明確ニサレテ
居リマス、更ニ政府ガ「マツカーサー」
司令部カラ原則的ニ三百萬「トン」ノ
米穀ノ輸入ノ許可ガアツタト云フコト
ハ、「ラジオ」ノ新聞、議會ヲ通ジテ明
カニハサレテ居リマスルガ、然ラバ其
ノ三百萬「トン」ノ内、ドレダケノ總量
ノ買付ヲ許可ニナツタノカ、又一體買
付先ハ何處デアルカト云フコトヲ明
確ニハナラヌノデアリマス、同時ニ買
付先ガ明確ニナリマシタト致シマシテ
モ、然ラバ見返リ物資ニ於テハドウ
カ、是ハ二十九日ノ本會議ニ於テ商工
大臣カラ一應六品目ニ對シテ三十億圓
ト云フコトダケハ明カニナリマシタ、
併シナガラソレガ果シテドウ云フ順序
デ、ドウ云フ方法デ完全ニ出來ルノカ
ト云フ具體的ナコトガ明確ニサレテ居
ラナイノデアリマス、隨テ私ガ只今簡
單ニ申上ゲマシタ全體ノコトヲ綜合シ
テ見マス、是ハ極端カモ知レマセヌ

ガ、残念ナガラ終戦後ニ於ケル日本ノ
産業政策ニ對スル基本方針トデモ申シ
マセウカ、此ノ方針ガ政府ニ於テ未ダ
完全ト確立サレテ居ナイノデハナイカ
ト云フ不安ガアルノデアリマス、ドウ
モアルヤウナ氣ガ致シマス、ソコデ
「マツカーサー」ノ指令ニ依ツテ、財閥
ハ一應渾體ヲ命ニシテ居リマス、昨日ハ
更ニ其ノ財閥ニ所屬シテ居リマス一
切ノ重要ナ會社ニ對シテ、更ニ指令ガ
發セラレタヤウデアリマス、隨テ日本
ニ於ケル各種ノ財界人、事業家等ハ、
是等ノ急速ナ他力カラノ重壓ニ依ツ
テ、前途ニ對スル見透シト云フモノヲ
失ツテ居ルノデハナイカ、ソコデ縱シ
バ政府ニ臨ミタル指針ガナイトシテ
モ、大體是等ノ人々ノ見透シニ對スル
指針ダケデモ與ヘルコトガ、現在ノ生
産意欲ヲ昂メル大キナ「ポインツ」ニナ
リハシナイカト云フコトヲ考ヘルノデ
アリマス、ソコデ此ノ點ニ付テ先ヅ御
伺ヒシタイ

ソレカラ第二ニ御伺ヒシタイノハ、
只今同志ノ山崎君ニ終戦後ニ於ケル日
本ノ中小商工業者ノ果スベキ役割ト云
フモノニ付テ、一應御話ガゴザイマシ
タガ、私モ其ノ點ニ付テハ同感デアリ
マス、將來日本ニ於テ果スベキ所ノ中
小商工業者ノ役割ト云フモノハ非常ニ
大キイモノデアアル、然ラバ私ハアタ
ニ御伺ヒシタイ、其ノ大キナ役割ヲ果
スベキ所ノ中小商工業者ニ對スル基本
的ナ方針ヲ立テテ、政府ハダシテ力
強ク指導シテ居ルカドウカデアリマ
ス、ト云フノハ、現在ノ中小商工業者
ガ已レノ事業ヲ通ジテ前途ニ對シテ一
ツノ指針ヲ失ヒ、現實ニ困ツテ居ルモ
ノハ何デアルカト云ヘバ是ハ大臣オ分
リノ通り先ヅ第一ニ金融ガ完全ニ梗塞

致シテ居ルコトデアリマス、其ノ次ニ
ハ勞務ガ完全ニ停滯狀態ニ置カレテ居
ルコトデアリマス、巷ニハ失業業者ガ充
滿シテ居リマス、併シナガラ舊テ募集
致シマス場合ニ勞働者ガ密リ集マツテ
來ルカト云ヘバ來テ居リマス、第三
ニハ資材關係デアリマス、資材ノ中ニ
モ色々ナ點ガアリマス、取分ケ現
在ニ於テハ石炭其ノ他ノ燃料ガ完全ニ
行詰ツテ居リマス、君等ノ諸問題ニ對
シテ、政府ガ敏速的確ニ物事ヲ決メナ
イデ、大臣ガ唯單ニ抽象的ニ中小商工
業者ノ戦後ニ於ケル日本産業ニ於ケル
重大性ヲ御説キニナツテモ、私ハ問題
ハ解決シナイノデハナイカト思フ、隨
テ此ノコトヲ一應明瞭ニシテ置ヒタ
イ

ソコデ第三ニアタニ御伺ヒスルコ
トハ、過日ノ本會議デアタガ全國民
ニ堂々ト聲明サレタ見返リ物資ノ六品
目、此ノ三十億ト云フモノガ、政府ノ
方デ考ヘテ居ルヤウニ、手際好ク一體
果シテ生産サレルカドウカ、國民ハ花
ヨリ圈子デアリマス、死シテシマツテ
カラノ三合ヨリモ今ノ一ウヲ爭ツテ居
リマス、若シ此ノ見返リ物資ニ付テ、
「マツカーサー」ガ買入先ヲ明カニシ、
而シテ其ノ總量ヲ明カニシタ場合ニ於
テ、日本政府ニ於テ此ノ六品目約三十
億圓ノ總量製品、化學製品、機械類、
雜貨、是ハアタガ議會ニ於テ明カニ
シタ、是ガ順序好ク計畫的ニ生産シテ
行ケナカッタ場合ニハ完全ニ行詰リハ
シナイカ、此ノ心配ガ分ニアル譯デ
アリマス

最後ニ御伺ヒスルノデアリマスガ、
是ガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マスカ
ラ、序ニ御伺ヒシマス、過日ノ本會議
デアタガト私ハ記憶シテ居ルノデア
リマス

（委員長退席、米田委員長代理著
席）
私ノ控（帳ヲ見マス）、商工大臣ハ
石炭増産ニ對スル大體ノ國家ノ方向ヲ
御示シニナツタヤウニ記憶シテ居リマ
ス、所謂二十年度ハ五百萬「トン」、二
十一年度ハ二千五百萬「トン」、二十
年度ハ三千萬「トン」、二十三年度ハ三千五
百萬「トン」ト大體斯ウ云フ數字ヲ明カニ
御示シニナツタヤウニ記憶致シテ居リ
マス、サウ致シマス、日本ノ一切ノ
一口ニ言フ生産ニ關聯スル總テ基礎
的原料ノ大宗ヲ成ス石炭ト云フモノノ
國家生産目標ガ、二十三年度ニ於テ三
千五百萬「トン」ト云フコトデアルナラ
バ、此ノ三千五百萬「トン」ト押ヘタ此
ノ基礎ト、同時ニ今後日本ガ産業政策
ノ面ニ於テ、或ハ中小商工業ノ基本方
針ニ於テ、ドウ云フ關聯性ヲ持ツテ此
ノ石炭ノ總「トン」數ガ現ハレテ來タノ
カ、何カシラ我々ノ目前ニ政府ガ現
ハシテ參リマスモノハ、一ツノ切斷
レテ出テ來マス、或ハ聰明ナ優レタ學
者デアラナラバ、之ヲ總體的ニ呑込ム
コトガ出來ルカモ知レマセヌガ、不幸
ニシテ私ハ呑込ムマセヌ、恐ラク多
クノ國民モ非常ニ疑問ヲ持ツテ居ル
思ヒマス、隨テ此ノ機會ニ一應斯ウ云
フ綜合的ナ見地ニ立ツテ、私モ納得シ
タイ、國民モ納得スルヤウナ御答辯ヲ願
ヒタイ、以上デアリマス

○小笠原國務大臣 順序ガ少シ違フカ
モ知レマセヌガ、御答辯中上ケマス、
先ヅ見返リ物資ノ點ヲ申上ゲル爲ニ、
食糧輸入事情ヲ一寸申上ゲマス、食糧
輸入ノコトハ原則トシテ許可ガアツタ
コトハ、正木君御承知ノ通りデアリマ
ス、但シコトヲトシテハ朝鮮ヨリ米ヲ

何石、滿洲ヨリ雜穀何「トン」、臺灣
ヨリ幾ラ、或ハ「カナダ」ヨリ幾ラ、
「アメリカ」ヨリ幾ラ、斯ウ云フヤウナ
工合ニ申込シテ居ルノデアリマスガ、
之ニ對シテマダ正確ナ事情ガ參ツテ居
リマセヌ、隨ヒマシテ目下ソレ等ニ付
テ交渉中デアリマス、尙フモ日本ノ食
糧事情ハ能ク分ツテ居リマス、同
情的デアリマスガ、船繰トモ相俟ツ關
係ガアリマシテ、只今ノ所デハ何處ノ
地域カラドレダケノモノヲ入レル、私
共ノ出シテ居ルモノハ細カク計數ガ
出シテゴザイマスガ、併シソレニ付テ
ハ話ハマダ纏マツテ居リマセヌ、併シ
是ハ一刻ヲ爭フ問題デアリマセヌ、日
々其ノ方面ニ努力ヲ致シテ居リマ
ス、尙ホ御承知ノ如ク最近貿易總出
來テ、モウ官制モ決マリマシタカラ、
近ク其ノ方面カラモセシト熱心ニ交渉
ヲ續ケサセルコトニ致シマスガ、併シ
貿易總出來ル出來ニ拘ラズ、是ハ
今熱心ニ政府側トシテハ、凡ニ問題
ノ中心點デアルト云フ考ヘ方カラシ
ク、先方ニ交渉ヲ致シテ居リマス、之
ニ對スル見返リ物資トシテ、先般私ガ
一寸議會デ申シマシタ通り、手許ニア
ルモノデ即時出シ得ルモノハ四億六七
千萬圓位ノ物ガアリマス、併シ來年度
ニ於テハ凡ニルモノヲ通ジマシテ三十
億見當ノモノヲ豫想致シテ居リマス、
但シ其ノ中ニハ來年ノ麥、粟、秋等ノ
諸カラ採リ生絲ガ含マレテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ若干棉花其ノ他ヲ
入レマス、之ニ依ル製品モ含マレテ
居リマスガ、國內デ賄ヘルモノガ相當
アリマス、是ハ私ハ責任ヲ以テ申
上ゲルノデアリマスガ、此ノ食糧ヲ入
レマスダケノ見返リ物資ハ十分ゴザ
イマス、尙ホ一例ヲ一寸申上ゲル見マ

スレバ、アノ終戦後特殊鋼ト云ツタヤ
ウナモノガ五六十萬トシ「アリマス、
アレデモ相當出シ得ルモノガアルノデ
アリマスガ、ソレハホンノ僅カシカ見
込シテ居リマセヌ、正木君ハ北海道ノ
コトヲ御承知ト思ヒマスガ、アソコニ
距離ガアル、アレハ國內デ使フノニハ
勿體ナイヤウナモノデアリマスガ、ア
レカラ布ヲ作りマシテ亞麻製品ヲ「ア
メリカ」ニ出スト、以前ハ相當賣レタ
モノデアリマス、優良ナルモノデアリ
マスガ、是ハ見込マレテ居リマセヌ、
サウ云フモノモアリ、又今申上ゲタヤ
ウナ特殊鋼ニ關スルモノモアリマスノ
デ、此ノ點ダケハ私ガ此處デ三十億圓
ノ見返リ物資ガアルカト云フコトニ對
シマシテハアリマス云フコトダケハ
ハツキリ申上ゲテ置キマス、此ノ點ダ
ケハ御安心願フテ宜イト存ジマス

ソレカラ中小工業ノコトヲ仰セニナ
リマシタガ、是ハ洵ニ御尤モデアリマ
ス、併シ日本ノ産業ノ行キ方ニ付キマ
シテハ、御承知ノ通り賠償物資ガドウ
ナルモノカ、ドウ云フモノヲ持つテ行
カレルノカ、ドウ程度マデ日本ノ産業
基礎ガ残サレルノカト云フ問題ガハツ
キリ致シマセヌノデ、一應ノ方針ハ立
テマシテモ、的確ナル指導方針ガ立ッ
ラレナカッタコトハ、是ハ正木君御諒
承願ヘルダラウト思ヒマス、幸ヒニ今
度「ポール」大使ガ中間のニデアアリマ
スガ、ア、云フコトヲハツキリサレマ
シタ、アレハ隨分手厳シイモノデアリ
マシテ、日本産業ノ全體カラ申シマシ
テ、洵ニ手厳シイモノデアリマス、併
シナガラアレデ分リマスコトハ、日本
人ノ最低生活ヲ維持スル爲ノ産業ハ殘
スト云フコトデアリマシテ、例ヘバ鐵
ニ付テ申セバ、アレデハ日本ノ將來ハ

迎モヤツテ行ケマセヌガ、併シ二百五
十萬トシ「下」云フコトヲ向カラ言ッ
テ居リマス、アレハ中間のモノデア
リマスカラ、マダ決定のモノデアハ
リマセヌ、隨ヒマシテ今後一層露ク日
本ノ實情ヲ諒解シテ貰ヒ、日本産業ニ
付テ理解ヲシテ貰ヒ、多少變更サレル
コトガアルノデハナイカト思ヒマスル
ガ、併シ私共ト致シマシテハ、アレデ
大體ノ輪廓ガ分リマシタカラ、今後
日本ノ産業ヲドウ持つテ行クカト云フ
コトガ具體的ニ出來ルノデアリマス、
只今マデ所ハ、ドレガドウ持つテ行
カレルカト云フコトガ分リマセヌカ
ラ、具體的ニヤレナカッタノデアリマ
ス、先ヅ國內ノ國民生活ノ安定トソレ
ニ必要ナル物資ヲ入レル爲ノ見返リノ
物資ヲ作ル、斯ウ云フ位シカ大體ノ方針
ガ置ケナカッタノデアリマスガ、アレ
ニ基キマシテ綜合的ナ對策ガ立チマス
カラ、今後ハ綜合的産業對策ヲ立テ
テ、國民ノ御協力ヲ求メタイ、斯様ニ
考ヘテ居ル次第デアリス

中小工業ニ付テハ是ハ正木君ガ仰セ
ノ通りデアリマスガ、併シ私共モ金融
的措置ニ付テハ、既ニ大藏省トモ話
ミデアリマス、唯石炭ノ如クニ現貨ニ
此處ニ是ダケノモノガ補修ノ爲ニ要
ル、是ダケノモノガ復舊ノ爲ニ要ル
云フモノニハ、金額約三億圓ノ金ヲ
出シマセウツ云フコトニナツテ、大藏
省ト話ガ付イテ現實ニ具體化サレテ居
リマスクレドモ、中小工業ノ分ハ、
正木君モ御承知ノ通り小サイノデアリ
マスカラ、其ノ便宜ヲ圖ルト云フコト
ニ意見ガ一致シテ居リマスガ、個々
ノ場合ニハ、マダ十分デナイ點ガアラ
ウト思ヒマス、併シ資金上ノ援助ハ左
様ニシテ參ルコトニナツテ居リマスカ

ラ、今後中小商工業者モ金ノ面ニ付テ
ノ援助ハ得ラレルコトト私ハ信ジテ居
リ、又ソレガ不自由ニナレバ尙ホ一層
努力スルコトニ致シマス

ソレカラ其ノ他ニ付キマシテハ、或
ハ業者ノ共同のナモノヲヤツテ行ク
云フコトガイ、シデヤナイカ、例ヘバ
共同シテ自動車ヲ持つカ、共同シテ
倉庫ヲ持つカ、共同仕入ヲスルトカ
云フヤウナコトガ、非常ニイ、シデヤ
ナイカト思ツテ、サウ云フ考ヘ方モ私
共ハ致シテ居リ、此ノ次ノ議會ニハサ
ウ云フ法案ヲ出スコトニシテ一應ノ手
配ヲシテ居リマスガ、唯只今マデノ
所マデ色々關係方面トノ聯繫モアリマ
スノデ、此處ダ其ノ全貌ヲ申上ゲルマ
デニ至ツテ居リマセヌ

ソレカラ石炭ニ付テハ御話デゴザイ
マス、是ハ私共ハ當業者トモ能ク相談
シマシテ、正木君モ御承知ノヤウニ、
アレハ價格ヲ決メマスルノニ、今ノ價
格ヲ決メタノデハ大變デアリマス、今
ノヤウナ生産高ヲ以テ價格ヲ決メタ
ラ、ソレハ何百圓ニモ決メナケレバナ
リマセヌト云フコトモアリマスノデ、
價格ヲ決メマス關係上、責任ヲ執レル
數字ヲ各炭礦業者ニ出サセタノデアリ
マス、其ノ責任ヲ執レル數字ニ付テモ、
或ハ昔ハ六千萬トシ「モ」取レタノニ何
故此ノ二十三年度ニハ三千五百萬トシ
「ナ」ノカト云ハレバカモ知レマセヌ
ガ、是ガ責任ヲ執レル數字デアリマス
ノデ、私共ハ一應ア、云フヤウナ案ノ
下ニハ十五圓ト決メタヤウナ次第デア
リ、又ソレニ基イテ價格差補給金等モ
遞減シテ參リ、二十四年度ニハ全部價
格一本デ行ケルト云フコトニ致シテ居
ル次第デアリマス、唯石炭ノ狀況ハ、
是ハ正木君ハ非常ニ熱心ニ御心配下サ

ツテ、先般色々御意見ノ御開陳ガア
ツテ、私モ大變感謝シテ居ルノデアリ
マスガ、北海道デハマダ米ガ行渡リマ
セヌ、ダカラ新潟カラ出シマシタガ、
是ガ向フヘ行ケバ、少シ事情ガ良クナ
ルカト思ヒマスガ、一日モ早く良クナ
ツテ貰フヤウニ衷心カラ祈ツテ居ル
デアリマス、他ノ地方ハ大變良クナツ
テ參リマシタ、一例ヲ舉ゲテ申シマス
レバ、常磐ノ如キハ十一月ノ中旬ニ
比ベマシテ下旬ハ餘程良クナリ、特ニ
此ノ上旬カラ今日ニ於キマシテハ、殆
ド平常ニ近イ所マデ回復シツ、アリマ
ス、例ヘバ坑内夫ノ入坑率ニ付テ申上
ゲマス、一番ヒドイ時ニハ三〇％ヲ
割ツテ居リマシタガ、今日ハ山ニ依ッ
テ非常ニ良イ所ハ七九％ト云フヤウナ
所ガアリマス、大體平均シテ七〇％ト
云フ所ヘ戻ツテ來タヤウナ工合デゴザ
イマスノデ、今後一層努力致シタイト
考ヘテ居ルノデアリマスガ、石炭ニ致
シマシテモ、總テノ産業ハ綜合的ニ物
ヲ見ナケレバナラヌコトハ正木君仰セ
ノ通りデアリマス

（米田委員長代理退席、委員長著
席）
一ツ／＼切離シテ考ヘラレナイコト
ハ御説ノ通りデアリマシテ、私共モ總
テヲ商工行政全般ヲ通ジテ綜合的ニ考
ヘルノミナラズ、關聯ノアル農林省ナ
リ、運輸省ナリ、又例ヘバ勞務ノ問題
ニ付テハ厚生省ト相談スルトルカ、或
ハ今後正木君アタリガ非常ニ熱心ニ希
望サレテ居リマシタ此ノ組合ガ生
レ、バ、企業者ト斯ウ云フ勞務者ノ間
ノ團體交渉權ガ認めラレテ、ソコニ事
ガ旨ク運ンデ行クト云フ風ナ工合ニ考
ヘテ居ル次第デアリマス

○正木委員 私ハ時間ガナイノデ商工

大臣ト殘念ナガラ一問一答スルコト
ガ出來マセヌ、商工大臣ノ雄辯ニスツ
カリ感心シテ聽クヤウナ始末デス、併
シ私ハ非常ニ物足ラナイ、ダガ時間ガ
アリマセヌノデ如何トモスルコトガ出
來マセヌ

最後ニ結論ニ付テ一、二具體的ニ御
伺ヒテ致シマス、本日ノ新聞ヲ見マス
ト、鑛山勞働者ニ對シテ米六合ツ増配
スル、ソレガ爲ニ最高司令部ニ向ツテ
朝鮮カラ十萬石デスカ、輸入許可ノ申
請ヲシタト云フコトガ出テ居リマス、
今アナタガ言ハレタヤウニ、全國的ニ
見テ石炭出炭ノ上ニ於テ非常ナ役割ヲ
果シテ居ル北海道ノ鑛山勞働者ニハ、
未ダ政府ガ屢ニ言明シタ米ノ加配スラ
行ハレテ居ラナイ、今港ヘ著イタデア
ラウ、斯ウ云フコトナノデアリマス、
隨テ私ノ職キタイコトハ、今朝出タ新
聞ノアノ記事ヲ見テ、全國ノ鑛山從業
員ノ諸君ハ、從來マデ政府ガ言明シタ
箇所テ少シデモ加配ニナツタ所ハ或ハ
信用スルカモ知レナイガ、政府ノ屢々
ノ言明ニ依リマシテ、私共北海道ノ各
地ノ小サイ鑛山主、其ノ他ノ團體ヘ電
報デ以テ、政府ハ加配スルカラ、鑛
山從業員ヲ激勵難シテ石炭ヲ出シヤ
ウニ努力シテ呉レト云フコトヲ言ツタ
ノデスカ、此ノ私ノ打ツタ電報ハ、向
フカラ言ハセレバ嘘ナンデス、マダ港
ヘ著イタカドウカト云フノデスカラ、
ソコデ私問題ヲ明確ニシテ貰ヒタイト
思フコトハ、今朝新聞ニ發表シナツ
タアノ十萬石ト云フモノハ、本當ニ目
當ガアツテ發表サレタ記事ナノカドウ
カ、此ノ點ヲ明カニシテ貰ヒマセヌト、
私ハ非常ニ大キナ問題ガ捲起ルト思ヒ
マス

モウ一ツ職キタイコトハ、政府ハ鑛

山ノ勞務者ニ向テ地下足袋トカ、作
業衣ノ特配ヲナサルト云フコト非常
ナ努力ヲシテ下サイマシタ、恐ラクナ
サツタ所ガアラウト思ヒマス、所ガ實
際ハ當局ハ礦山ノ實情ヲ御存知ナ
デハナイカト思フデス、ト云フ
ハ、今ノ礦山ノ勞務者ニ對シテ地下足
袋、作業衣ヲ配給サレマスガ、今ノ礦
山勞務者ニ移動ノ禁止ヲ致シテ居ルカ
ドウカ、私ハ禁止ガシテナイト聞イデ
居リマス、又現ニシテアリマセヌ、サ
ウスルト甚ダ此ノ點ガカシクナル
ノデス、私共東京へ來テ居リマス、
凡ニ手ヲ變ヘ品ヲ替ヘテ、甚ダシキ
ニ至ツテハ街ノ「ルンペン」マデ驛リ立
テテ礦山へ送り込マウト努力シテ居
ル、私カラ言ハセルト、是程馬鹿ゲタ
コトハナイ、礦山ナンテソナ生易シ
イモノデハナイ、私ハ時間ノ關係極
端ニ中心シカ申上ゲマセヌガ、驛リ立
テテ行ツタ其ノ勞務者ガ、行ツタ限リ
ニ於テハ飯ヲ食フノデス、地下足袋ヲ
賣ヒ、作業衣ヲ賣ツテ、氣ニ喰ハナケ
レバ飛ンデシマフ、斯ウ云フコトヲ實
際ニ御調査ノ上デ手ヲ打ツテ居ルカド
ウカト云フコトデアリマス、私ハ千人
ノ「ルンペン」ヤ不慣レナ勞務者ヨ
リモ、長年其ノ山ニ踏止ツテ頑張り拔
イタ百人ノ勞務者ノ方ガ、遙カニ大キ
ナ力ヲ持ツテ居ルト考ヘマス、ガカラ
戰爭ノ期間ニ一番眞面目ナ國民ガ馬鹿
ヲ見タト同ジヤウニ、今ノ政府ノ打ツ
手ニ付テ、一ツノ礦山ノ例ヲ取ツテ見
テモ、本當ニ眞剣ナ眞面目ナ勞務者ガ
何處マデモ馬鹿ヲ見ルト云フコトデア
ル、米ノ加配ガアルヤウニナツテカラ、
礦山へ行ケバ飯ガ食ヘルノ地下足袋
ガ賣ヘルノダ、作業衣ガ賣ヘルノダト
云ツテ、御飯ヲ食ベテ、地下足袋ヲ賣

ツテ、作業衣ヲ賣ツテ、移動ガ禁止サ
レテ居ナイカラ飛ンデシマヘバソレダ
ケデス、私蒲田ノ鬧市場へ再々行ツテ
調ベルノデスガ、地下足袋一足買ハワ
トスレバ百圓デス、軍ノ拂下ノ上着ニ
「ズボン」ヲ合セテ六百圓、一ツヅツ買
ヒマス、ソレカラ下着一枚ガ百五十圓デ
ス、ソレカラ上着一枚ガ百五十圓デ、
是ハ白ノ「シャツ」デス、ソレヲ商工省
ノ公定價格デ載クト地下足袋一足ガ二
圓マデシマセヌ、一圓七十何錢ノ管デ
ス、ソレカラ作業衣ガ上下デ以テ十六
圓何カシ、ソレヲ公定價格デ賣ツテ、
山ノ下リテ町へ出ルト、右カラ左ニ、
地下足袋、作業衣其ノ他デ四、五百圓儲
カル、斯ウ云フ具體的ナ事實ヲ政府ガ
完全ニ御調査ナサラナイデ、妙ナ手ヲ
打ツカラ、親子代々山デ働イテ居ル勞
働者ガ、政府ニ向ツテ大キナ不滿ヲ抱
クノデス、私ハ斯ウ云フ點ナドモ商工
省トシテハ篤ト考ヘラレナケレバナラ
ヌノデハナイカト思フ、又厚生省トシ
テハ勞働行政ノ面カラ餘程考ヘナケレ
バイケナイノデハナイカ、私ハ斯ウ思
フノデス

更ニ私ノ御伺ヒシタイノハ、サウ云
フ點デ過日社會黨ガ決議文ヲ以テアナ
タ方ニ御陳情申上ゲタ時ノ一項ニアル
ノデスガ、購買組合ト云フモノヲ、ア
ナタハ過日ノ委員會デアツタカト記憶
致シマスルガ、兩方カノ委員ヲ舉ゲテ
管理シタ宜カラウト云フコトヲ話サ
レタ、私ハ大體其ノ點デ妥協致シマス、
併シ急速ニ商工省ノ意思トシテ、ドウ
カ資本家ノ御指導ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、是ガ全國各地ノ礦山ニ於テ非常ナ
問題ニナツテ居ルノデスカラ、石炭ヲ
出ス爲ニ配給物資ヲ公平ニ流スト云フ
コトハ、是ハ重大ナコトデス、之ニ付
テ私ハ改メテアナタノ御聲明ヲ願ヒタ
イト思フノデス

更ニモウ一ツ私ハ此ノ點ヲ大臣トシ
テ篤ト御考ヘヲ願ヘナイカト云フコト
デアリマスガ、今後ノ日本ノ國力ヲ回
復スル爲ニ、勞務者、農民ヲ主體トス
ル所ノ勤勞力ガ基礎トナルト云フコト
ハ、是ハ議論ノ餘地ガナイト思ヒマス、
隨テ戰爭ニ敗ケタ云フ冷感ナ事實ノ
下ニ於ケル日本ノ今後ノ見通シニ付テ
ハ、資本ト企業ト勞務トノ關係ニ於テ
モ、今民主主義的ナ革命ノ線ニ沿ウタ
一ツノ行キ方ヲ致サナケレバナラス
云フコトモ、是モ否定ノ出來ナイ事實
デアラウト思ヒマス、ソコデ私ハ今回
東京ニ於ケル讀賣新聞社ノ爭議ガ、爭
議調停委員會ノ努力ニ依ツテ勞資相
圓滿ニ解決ヲ致シタノデアリマス、ソ
コデ見通シテハナラナイ一ツノ大キナ
示唆ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレ
ハ從業員側ト社長側トノ間ニ會社ノ經
營ニ當ツテ、所謂勤勞者ノ企業ノ參加
ト云フ形ヲ具體化シテ、經營協議會ナ
ルモノヲ組織致シテ居ルノデアリマ
ス、是ハ契約ノ一ツノ條項トシテ經營
協議會ヲ作ツテ、勞資一體トナツテ、
是カラ新聞ノ公器トシテノ經營ニ當ラ
ウト云フコトダラウト思フノデアリマ
ス、屢々厚生大臣モ、商工大臣モ、勤
勞者ノ企業ノ參加ト云フ言葉デ現ハシ
テ居ツタノデアリマスガ、讀賣新聞ノ
爭議ヲ通ジテ、斯ウ云フコトガ具體的
ニナツテ來タ譯デス、ソコデ假ニ石炭
山ヲ例ニ探ツテ見マス、私共ガ申上
ゲルノハ此ノ點デス、急速ニ勞働組合
ヲ作りナサイ、政府モ積極的デナク、
積極的ニオヤリナサイ、サウシテ勞働
組合ト事業者側トノ間ニ、勤勞者ガ企
業ニ參加スルト云フコトハ、資本主義

カラ社會主義へ行ク過程ニ於テ、其ノ
資本主義ヲ否定スルノデハナイノダ、
朝鮮スルノデハナイノダ、現在ノ日本
ノ民族ヲ助ケル爲ニハ、資本主義ヲ否
定スルノデハナイノダ、何ト云フデモ
礦山ニ於テハ石炭ヲ掘ルト云フコトガ
先決ナデアル、ソコデ讀賣新聞ガ實
際ニ行ツタヤウナ經營協議會の機關
ヲ作ツテ、勞働組合ガ勞働行政ノ面ニ
全責任ヲ持ツマスト、先程私ガ指摘シ
タヤウナ、政府ハ何モ事情ヲ知ラヌカ
ラ鉦ヤ太鼓ヲ叩イテ「ルンペン」マデ驛
リ立テテ礦山へ送り込マ、送り込ン
ノハ作業衣ト地下足袋ヲ賣ヘバ逃走シ
テシマフ、之ヲ礦山デハ尻ヲ割ツタト云
フ、ソレヲ町デ賣レバ數百圓デ賣レル、
勞働組合ガ實質的ニ力ヲ持ツ、斯ウ
云フモノハ未然ニ防ゲル、デスカラ是
ハ少數ノ勞働力ヲ以テ最大ノ能率ヲ上
ゲルコトガ出來ル、最大ノ能率ヲ上
ルト云フコトハ、同時ニ工資ヲ得ルコ
トニナル、是ハ國家ノ爲ニモ、資本家
ノ爲ニモ、勤勞者ノ爲ニモ幸福ヲ齎ス、
サウ云フ點ハ今ノ政府ノヤリ方ヲ見テ
居ルト非常ニ消極的デ、僕ハサウ云フ
コトデナク、積極的ニ斯ウヤレ、斯ウ
スレバ、斯ウナルト云フ一面ニ積極性
ガアツテ宜イノデハナイカ、斯ウ考ヘ
マスノデ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思
ヒマス

○小笠原國務大臣 最初ニ朝鮮米ノ輸
入關係ニ付テ申上ゲマス、其ノ前ニ今
ノ食糧ノコトデアリマスガ、是ハ當緊
及ビ九州等ハソレト「サウナツテ居リ
マス、唯北海道ハ正木君御承知ノ如
ク、北海道自體ニ於テハ米ガナイノ
デ、ソレヲ持ツテ行ク爲ニ、新潟等ノ
米ノ配給ノ手配ヲ致シマシタノデ、少
シ遅レテ居ルコトハ、私共申譯ナイト
存ジテ居リマスガ、併シモウ著イテ居
リマス、今後ハ米ヲ目前ニ見テ大イニ
御働キヲ願ヘルコトト考ヘテ居ルノデ
アリマス、今朝朝鮮米ノ輸入ニ付テ新
聞記事ニ出タコトハ、是ハ當局ノ發表
デハゴザイマセヌ、何處カラ出タモノ
カ私ハ存ジマセヌ、但シ事實ヲ私ハ申
上ゲマス、アレハドウ云フ筋カラドウ
云フ風ニ出タノカ私ハ承知致シテ居リ
マセヌガ、實際ハ來年二月マデニ六萬
石入レテ賣ヒタイト云フコトヲ應請シ
テ居ルノデアリマス、サウシマシテ之
ニ對スル見返リ物資ト申シマス、是
ハ十分用意シテゴザイマス、全部用意
濟ミデゴザイマス、是ハ此處ニ持ツテ
居リマスガ、細カク申上ゲマセヌデモ、
例ヘバ絹トカ、人絹織物トカ、朝鮮鐵
道用ノ「ピッチ」デアルトカ、陶磁器
「ストーヴ」等、サウ云フモノガ用意シ
テゴザイマスノデ、見返リ物資ハ向ノ
ノ同意ヲ得次第積出ス、斯ウ云フ狀況
ニ相成ツテ居リマス、之ニ依リマシテ
米ガ參リマスレバ、若干現在ニ加配
ヲ行ヒタイト考ヘテ居リマスガ、六合
ニスルトカ、家族ヲ三合ニスルトカ云
フコトハ何等決メテ居リマセヌ、入ッ
テ來ナイノデアリマスカラ、入ッテ參
リマシタ節ニハ、機宜ノ處置ヲ執リタ
イ、斯樣ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
今朝ノ新聞記事ハ、當局ハ全然無知シ
ナイコトデアリマスカラ、御諒承ヲ願
ヒマス

テ居ツタ人間ガ、何等報イラレルコトナクシテ、其處ヲ「ルンペン」ヲ連シテ行ケバソナ妙ナコトニナルト云フコトハ、是ハ事情通ノ正木君カラ見マシテサウダト思ヒマス、假初ニモ政府ノ政策ガ、一生懸命ニ努力シテ居ル者ニ報ニルコトナクシテ、何モ效果ノナイ者ニソレガ渡ルト云フコトハ、是非違ケタイト思ヒマスノデ、サウ云フ措置ハ誠ニシムルヤウニ勸奨致シマス

ソレカラ勞働組合ノ件デゴザイマスガ、是ハ今度勞働組合法モ出来マシタシ、又私共ノ方モ勞働組合ト云フモノハ結構ダト考ヘテ居リマス、當業者ノ方モ、此ノ間ウチ色々ノ人ニ會ヒマシタガ、勞働組合結構デスト言ツテ居リマスガ、何レモ健全ナル勞働組合ノ發達ヲ冀ツテ居リマス、隨ヒマシテ、今後ハ勞働組合ニ依ツテヤツテ行ケルコト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ其ノ他色々談議ニ付キマシテ仰ゼニナリマシタ件ハ、洵ニ御尤モデゴザイマスカラ、出来ルダケ私共ノ方モ御希望ニ副フヤウニ努力シテ参リマス

○正木委員 最後ニ簡單ニ一ツ御尋ネ致シマスガ、是ハ厚生大臣ニ御尋ネスル方ガ適當カ、商工大臣ニ御尋ネスラデモ宜シウゴザイマスカラ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ私ガ相當具體的ニ調査シタ所ニ依リマス、何ト云ツテモ、全國的ニ見テ礦山ニ於テ極端ニ困ツテ居ルノハ大體ニ於テ先山夫デス、所ガ未ダ海外ニ復員セザル皇軍兵士ノ中デ永年礦山ニ働イテ、礦山ノ先山夫トシテ非常ナ技術經驗ヲ持ツテ居ル者ガ約十二、三萬人アルト聞イテ居リマス、之ニ對シテ何等カノ手ヲ打ツテ、一日モ早く技術者ノ充足ヲ御

圖リニナル御意思ガアルカナイカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○小笠原國務大臣 此ノ件ニ付キマシテハ、聯合軍側ガ今右岩嶺産ニ非常ニ力ヲ入レテ援助シテ呉レテ居ルコトハ、正木君モ御存知ダラウト思フノデアリマス、隨テ色々向フニモ御頼ミシテ居ル一方ニ、ヤハリ復員軍人等ノ先山夫デアツタ者ヲ早く歸シテ賣ヒタイト云フコトヲ頼ンデ居リマシテ、幸ヒニ向フニモ能ク諒解シテ呉レ、コチラノ復員者ノ側ニ於キマシテモ、サウ云フ風ニヤツテ居リマス、大體私ノ方ノ調ベタノデハ、南方ニ六萬人、支那ニ四萬五千人位居ルノデアリマスカラ、ソレデ約十萬五千人バカリ先山夫デケガ居ルト思ヒマス、ソレヲ出来ルダケ早く――新聞ニモ一寸出テ居リマシタカラ、御承知デセウガ、漸次サウ云フ風ニ具現化サレルコトヲ信ジテ居リマス

○正木委員 私人質問ハ是デ終リマス

○添田委員長 藤原君

○薩摩委員 私人質問モアリマセヌシ、又今日初メテ委員ニ交替ニナツタノデ、前ノ質問ニ重複スルカモ知レマセヌガ、ホシノ重疊ケケ四ツ厚生大臣ニ承ツテ見タイト思ヒマス、第一ハ本法ト「マツカーサー」司令部ノ關係デス、具體的ニ言フト、本法ヲ制定スル際際シテ、「マツカーサー」司令部ト其ノ内容ニ於テ或ハ趣旨ニ於テ御諒解カアツタノカドウカ、ソレカラ本法ガ實施サレルニ際シテ、今後起キ得ル問題ニ付テ、聯合司令部ガ如何ナル干渉シマスルト、本法ガ制定サレル前デアリマスガ、磐城炭礦ニ於テ朝鮮人ノ勞働爭議ガ起キタ、其ノ時日本ノ官憲

ハ如何ニモスルコトガ出来ズシテ、拱手傍觀シテ居ツタ時ニ、「マツカーサー」司令部ニ屬スル一中佐ニ依ツテ、是ガ解散ヲ命ゼラレタト云フ例ガアリマスノデ、今後勞働爭議ガ起キタ場合ニ於ケルコトヲ言フノデアリマス、其ノ點ヲ一ツハツキリシテ戴キタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 薩摩君ノ御質問ニ係ル第一點ハ、此ノ委員會開會以來一、二御質問ガアリマシテ、其ノ際答ヘタコトデゴザイマスガ、御承知ノ通りニ、幣原內閣ガ成立シタ二日目に、幣原總理ガ「マツカーサー」元帥ヲ訪問シタ際、口頭ヲ以テ政府ニ報告シタ五項目ト云フモノガアリマス、其ノ五項目ノ中ニ、勞働者ノ幸福ヲ増進シ、過去ノ如キ官廳壓迫ノ事實ヲ除去スル爲メ、或ベク速ニ勞働組合法ヲ制定スルガ宜カラウトノ話ガアリマシタノデ、勞働終戦後「ボツダム」宣言ニ基テ轉換ト相俟ツテ、此ノ組合法ヲ一日モ早く制定シヨウトノ決心ヲ致シマシテ、主ナ點ニ付テハ先方ト意見ノ交換ヲ致シマシテ、此ノ案ガ出来タノデアリマスガ、サウカト云ツテ議會ノ審議權ヲ無視スルト云フノデアリマセヌガ、議會ノ修正權ハ十分ニ維持サレテ居ルノデアリマス、唯其ノ修正案ガ「ボツダム」宣言ノ線ニ沿フ方針ヲ著シク背馳シテ居ル場合ハ、先方カドウ云フ處置ヲ執ルカト云フコトハ未知數デアリマスガ、サウ云フ場合ニハ、或ハ其ノ點ニ對スル「ディレクティブ」ヲ出スヤウナコトモアルカト存ジマス

第二點ハ勞働爭議ガ秩序維持ヲ害スルガ如キ場合ニ、進駐軍ガドウ云云態度ヲ執ルデアラウカト云フ問題デアリマスガ、其ノ點ハ必ズシモ勞働爭議ト

云フコトバカリデハアリマセヌ、其ノ他日本ノ警察力ガ秩序維持ノ能力ガナイト云フ場合ガ起レバ、進駐軍ハ當然日本國內ノ治安維持ニ對シテ、最後ノ責任ヲ取ツテ居ルノデアリマスカラ、何等カノ手段ニ出ルコトハ豫想サレルノデアリマス、併シ是ハ勞働組合法ノ制定ニ依ツテ、過去ニ見ルガ如キ爭議行為ヲ越エタ暴行或ハ騷擾等ガ起テナイヤウニ、事前ニ之ヲ防グ、或ハ爭議ガ起ツタ場合ニモ、雙方トノ話合ヒニ依ツテ、調停又ハ仲裁ニ依ツテ、出来ルダケ圓滿ニ解決スル方向ニ向フデアラウトノ期待ヲ以テ、此ノ法案ヲ出シタ譯デアリマス

○薩摩委員 今ノ問題ニ關シマシテ、讀賣新聞ノ爭議ト感ズタノデアリマスガ、爭議中ニ、爭議ヲ指導シテ居ル人間ガ、一々「マツカーサー」司令部ヲ訪問シテ、其ノ内容ヲ話シ、或ハ種種內通ト云フト語弊ガアリマスガ、様子ヲ話シテ居ルヤウデアリマスガ、リウ云フ問題ガ今後起キタト假定シタ場合ニ、ソレニ對スル取締ハ如何ナル方法ヲナサリマスカ

○吉田國務大臣 爭議ノ當事者ガ「マツカーサー」司令部ニ事情ヲ通報スルト云フ場合ニ、政府トシテハ之ヲ取締ルガ如キ事例ガ起レカドウカ、唯其ノ時々ノ事情ヲ通報スル程度ノコトナラバ、特ニ之ヲ取締ルヤウナ方法モナイト思ヒマス、但シ通報シタ事實ガ虛偽ナ事實ニ當ンデ居ツテ、我が國ノ治安秩序ヲ紊亂スルガ如キ事項ニ互ツタ場合ニハ、自ラ他ノ法規ニ依ツテ取締ルコトハ可能デアリマス

○薩摩委員 次ニ本案ノ内容ニ入ツテ行キタイト思ヒマスガ、一ツノ會社若シタハ工場ニ、勞働組合ガ幾ツモ出来

ルト云フ可能性ガアルノデアリマスガ、其ノ性格或ハ仕事ノ關係上幾シモ出来ルト思ヒマス、私個人トシテハ卑一組合ノ方ガ宜イト思ヒマスガ、幾シモ出来タ場合ニ、ソレハヤハリ御認メニナルノデアリマセウカ

○吉田國務大臣 只今ノ御話ノ通り、サウ云フ小組合ガ濫立スルコトガ望マシトハ思ヒマセヌガ、併シ之ヲ政府ノ手デ以テ合同ヲサセルトカ、或ハ統制ヲ命ズルトカ云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○薩摩委員 ソレニ關シマシテ、今日ノ法律ニ依リマス、株主デナタトモ取締役ニナルコトハ出来ルノデアリマスガ、勞働者ニシテ取締役ニナツタ場合ニハ、其ノ勞働者ハ組合ノ中ニ入り得ル性格ヲ持ツノデセウカ、取締役ニナツタ場合ニハ組合員デナイト云フコトニナルノデアリマデセウカ

○吉田國務大臣 ソレハ後ノ方ノ御見解ノ通り、代表取締役ノ如キ會社ヲ代表スル地位ニ立ツタ場合ニハ、其ノ人が組合ヲ脱退スルノデナケレバ、其ノ勞働組合ガ成立條件ヲ缺クノデアリマスカラ、恐ラク脱退スルト思ヒマス

○薩摩委員 第十三條ニ勞働組合ノ經費ノ問題ガ書イテアリマスガ、「勞働組合ハ其濟事業其ノ他福利事業ノ爲メ設シタル基金ヲ他ノ目的ノ爲メ流用センタルルキハ總會ノ決議ヲ經ベシ」トナツテ居リマスガ、總會ノ決議ヲ經タ場合ハ、其ノ金ヲ政治資金ニ使ツテモ宜イノデセウカ、具體的ニ言ヘバ、或ハソレヲ選舉ノ費用ニ使フカト云フヤウナコトハ、其ノ議決ヲ經タ場合ニハ宜イコトニナリマセウカ、若シサウ云フコトニナリマス「ブローカー」ガ暗躍スルコトガ必ズダト思ヒマスノデ、

打ツテ、一日モ早く技術者ノ充足ヲ御

如何ニモスルコトガ出来ズシテ、拱手傍觀シテ居ツタ時ニ、「マツカーサー」司令部ニ屬スル一中佐ニ依ツテ、是ガ解散ヲ命ゼラレタト云フ例ガアリマスノデ、今後勞働爭議ガ起キタ場合ニ於ケルコトヲ言フノデアリマス、其ノ點ヲ一ツハツキリシテ戴キタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 薩摩君ノ御質問ニ係ル第一點ハ、此ノ委員會開會以來一、二御質問ガアリマシテ、其ノ際答ヘタコトデゴザイマスガ、御承知ノ通りニ、幣原內閣ガ成立シタ二日目に、幣原總理ガ「マツカーサー」元帥ヲ訪問シタ際、口頭ヲ以テ政府ニ報告シタ五項目ト云フモノガアリマス、其ノ五項目ノ中ニ、勞働者ノ幸福ヲ増進シ、過去ノ如キ官廳壓迫ノ事實ヲ除去スル爲メ、或ベク速ニ勞働組合法ヲ制定スルガ宜カラウトノ話ガアリマシタノデ、勞働終戦後「ボツダム」宣言ニ基テ轉換ト相俟ツテ、此ノ組合法ヲ一日モ早く制定シヨウトノ決心ヲ致シマシテ、主ナ點ニ付テハ先方ト意見ノ交換ヲ致シマシテ、此ノ案ガ出来タノデアリマスガ、サウカト云ツテ議會ノ審議權ヲ無視スルト云フノデアリマセヌガ、議會ノ修正權ハ十分ニ維持サレテ居ルノデアリマス、唯其ノ修正案ガ「ボツダム」宣言ノ線ニ沿フ方針ヲ著シク背馳シテ居ル場合ハ、先方カドウ云フ處置ヲ執ルカト云フコトハ未知數デアリマスガ、サウ云フ場合ニハ、或ハ其ノ點ニ對スル「ディレクティブ」ヲ出スヤウナコトモアルカト存ジマス

第二點ハ勞働爭議ガ秩序維持ヲ害スルガ如キ場合ニ、進駐軍ガドウ云云態度ヲ執ルデアラウカト云フ問題デアリマスガ、其ノ點ハ必ズシモ勞働爭議ト

云フコトバカリデハアリマセヌ、其ノ他日本ノ警察力ガ秩序維持ノ能力ガナイト云フ場合ガ起レバ、進駐軍ハ當然日本國內ノ治安維持ニ對シテ、最後ノ責任ヲ取ツテ居ルノデアリマスカラ、何等カノ手段ニ出ルコトハ豫想サレルノデアリマス、併シ是ハ勞働組合法ノ制定ニ依ツテ、過去ニ見ルガ如キ爭議行為ヲ越エタ暴行或ハ騷擾等ガ起テナイヤウニ、事前ニ之ヲ防グ、或ハ爭議ガ起ツタ場合ニモ、雙方トノ話合ヒニ依ツテ、調停又ハ仲裁ニ依ツテ、出来ルダケ圓滿ニ解決スル方向ニ向フデアラウトノ期待ヲ以テ、此ノ法案ヲ出シタ譯デアリマス

此ノ點ハ政府ノ見解ヲ一ツハツキリサ
シテ置イテ觀キタイ。思ヒマス

●青田國務大臣 勞働組合ノ主タル目
的ハ、勞働者ノ經濟的生活條件ヲ向上
サセルト云フコトニナツテ居ルノデア
リマスガ、併シナガラ其ノ從屬ノ目的
トシテハ、或ハ福利施設ヲ行ヒ、若シ
クハ文化的施設ヲ行フ、又或ハ程度ノ
政治運動ヲ實際行フコトガ多數ノ例デ
アリマシテ、政治ニ關係スルコトヲ一
切勞働組合ニ禁止スルコトハ實情ニ適
シナイ、又ソレヲ或ル程度認メテモ皆
ハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
スカラ、勞働組合ガ從屬ノ政治運動
ヲナス場合ニ、其ノ範圍ニ用ヒントス
ル基金ヲ、總會ノ決議ヲ以テ政治資金
ニ流用スルコトハ、之ヲ認メタ譯デア
リマス、之ヲ禁止シタ所デ、本當ニ勞
働組合ノ總會ノ多數ヲ占メルヤウナ
ガ、政治資金ノ必要トスル場合ニハ、
他ノ方法ニ依ツテ之ヲ集メ得ルコトガ
實際ニハ多イト思ヒマス、隨テ今御話
ノヤウニ、或ル勞働組合ヲ、支持セン
トスル政黨ノ選舉費用ニ、其ノ基金ノ
一部ヲ總會ノ決議ヲ以テ寄附シタトシ
マシテモ、必ズシモ不適當トハ認メナ
イ、斯ウ云フ趣意デアリマス

○薩摩委員 ソレカラ第十五條「勞
働組合法」ニ違反シ安寧秩序ヲ紊リ
タルトキハ」云々ト書イテアリマスガ、
此ノ點ト云フ意味ハドウ云フ風ニ解
釋シテ居ラレマスカ
○青田國務大臣 既ト云フ言葉ハ、
一般社會觀念ニ依ツテ解釋スル外ハナ
イ、少クモ二回以上デナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フ程度ノ言葉デアリマシテ、
其ノ邊ハ必ズシモ一回ハドウダ、二回
ハドウダト云フ嚴格ナ意味デアリヒテ

居ラヌノデアリマス、度々ト云フ言葉
ト同ジデ、其ノ邊ノ所ハ其ノ當時ノ事
情ニ依リマシテ、本當ニ手薄ヒテ法令
ニ違反シタト云フタウナ場合ハサウ
云フ中ニ含メセナイ、謂ハハ度々、法令
ニ違反シ安寧秩序ヲ紊ルト云フコト
ハ、故意ニサウウツテ居ルト云フ場合
ガ多イト思ヒマス、度々ト云フノハ、
何回以上ヲ言フコト云フ風ニ嚴格ニ意
味デ書イタモノデハナイノデアリマス
○薩摩委員 此ノ點ト云フ言葉ヲ社
會通念的ニ考ヘルト厚生大臣ハ言ツテ
居ラレマスガ、サウシマス、安寧秩
序ヲ紊リタル行爲カ一回位アツタ時ハ
ソレハ見逃サレル譯デアリマスカ
○青田國務大臣 其ノ點ト云フノハ
「法令」ニ違反シ安寧秩序ヲ紊リタル
キ」ト云フ所ニ指シテアリマスカラ、
ソレハ二回ニ續ケテ解釋シ得ルコトト
思ヒマス

○薩摩委員 ソレデハ一回ハ法令ニ違
反シテモ宜イト云フコトニナルノデア
リマセウカ、今ノ厚生大臣ノ御答辯ヲ
其ノ儘受取リマス、一回ハ法令ニ違
反シテモ構ハヌ、ソレカラ又安寧秩序
ヲ紊ルト云フコトモ、所謂法令ニ違反
シタコトニナル……
○青田國務大臣 ソレハ斯ウ云フ譯デ
ス、安寧秩序ヲ紊ルタ個人ノ責任ト、
安寧秩序ヲ紊ル組合ノ責任ト云フモ
ノト、別ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、
相當慎重ナ手續ヲ執ラナケレバ、勞働
組合トシテノ解散ヲ命ジナイト云フノ
ガ、此ノ場合ノ規定デアリマシテ、勞
働組合ノ解散ヲ命ズルニハ、勞働委員
會ノ申立モ必要デアリス、其ノ理由ト
シテハ、度々、法令ニ違反シ安寧秩序
ヲ紊ル、斯ウ云フ條件ヲ必要トスル、
併シ其ノ安寧秩序ヲ紊ル場合ニ於ケ

ル事犯ニ依リマシテ、個人トシテ或ハ
責任ヲ執ラナケレバナラヌ場合ガアル
ト思ヒマス、ソレハ此ノ規定トハ又自
ラ別ニ責任ヲ生ジテ來ルノデアリマス
○薩摩委員 決シテ此ノ問題デ議論ラ
ルハサウト云フ意味デハアリマセヌ
ガ、此ノ法案ハ個人ノ法案デハナクテ、
勞働組合ノ法案ナデアアル、厚生大臣
ノ御答辯ヲ聽イテ居リマス、此處ニ
アル點ト云フ字一文字ノ爲ニ一回位法
令ニ違反シ、安寧秩序ヲ紊ルモ構ハ
ナイノダ、併シソレガ度々ニナツタ時
ニハ解散ヲ命ズル、斯ウ云フヤウナコ
トニナリマシテ、其ノ一回ノ安寧秩
序ヲ紊ルタル行爲ノ大小ト云フヤウ
ナ……コト小サナ問題ハ安寧秩序ヲ紊
シテ居ルト觀念シテアルノダ、大キイ
安寧秩序ヲ紊ルタ問題ガアツテモ一回
ハ宜イダラウ、此ノ次案シタラ承知シ
ナイゾト云フヤウナコトニナリマシ
テ、此ノ點ト云フ字タツタ一字ガ、
勞働組合ノ解散サレルカサレヌカト云
フ非常ニ重大ナル問題ニナリマス、
之ヲモウ少シクハツキリシテ觀ク
コトガ出來マセヌデウカ

○高橋政府委員 此ノ點ト云フ文字
ハ中々解釋ガ難カシイト存ジマス、要
スルニ此ノ第十五條ヲ設ケマシタ所以
ノモノカラ、一ツ御話ヲ申上ゲテ御説
解ヲ得タイト思ヒマス、御承知ノヤウ
ニ、治安警察法ガ最近撤廢サレマシ
テ、結社ハソレガ政治結社デアラウト、
其ノ他ノ結社デアラウト、結社ニ對シ
テハ如何ナル場合ニ於テモ其ノ解散ヲ
命ズルト云フコトハ、日本ノ現行ノ法
令ニ於テハナイ譯デアリマス、併シ本
法ガ兩院ヲ通過致シマシテ御可シ經
テ公布サレマス、勞働組合ノ解散
ノ事實ガ生レル譯デアリマス、隨ヒマ

シテ結社ノ解散ト云フコトハ原則トシ
テハ日本ニハアリマセヌガ、唯此ノ第
十五條デケガ例外トシテアルト云フコ
トデアリマス、隨ヒマシテ其ノ解散ヲ
命ジ得ル條件ハ嚴重ニスル必要ガア
ル、斯ウ云フ譯デ、其ノ條件ト致シマ
シテ、安寧秩序ヲ紊ルト云フコトガ第
一、其ノ次ニハ勞働委員會ノ申立ガア
ル時ト云フコトガ第二、第三ニハ地方長
官ニアラズシテ、裁判所ト云フ司法機
關ガアルト云フ場合、此ノ三ツノ條件
ニ依ツテ解散ガ出來ル、斯ウ云フ風ナ
嚴重ナ條件ヲ置イタノデアリマス、而
シテ第一ニ申上ゲマシタ安寧秩序ヲ紊
ルト云フコトハ一回デアリマス、其ノ
案ノ方法ハ、度々、法令ニ違反スルト云
フ、法律ニ依ツテ安寧秩序ヲ紊ルト云
フコトガ必要デ、斯ウ云フ譯デアリマ
ス、然ラバ安寧秩序ヲ紊ル場合ニハ、
法令違反シ安寧秩序ヲ紊レルカト
云フコトヲ想像シテ見タ譯デアリマス
ガ、安寧秩序ヲ紊ル場合ニハ、必ズ法
令違反ガナケレバ安寧秩序ヲ紊レナ
イ、斯ウ云フ譯デアリマス、ソコデ法
令ニ一違反シタ場合ハドウデアルカ
ト云フ風ナ議論ガアルノデアリマス
ガ、過去ノ例ヲ見テ申シマス、組合
ニ解散ヲ命ズルヤウナ場合ニハ、必ズ
二回以上度々、法令ニ違反スルト云フ事
實ガアツテ、初メテ安寧秩序ヲ紊レル
ト云フノガ大部分ノ例デアリマス、
デ、是デ度々ト云フ文字ヲ入レマシテ、
條件ヲ嚴重ニシタヤウナ次第デアリマ
ス

○薩摩委員 只今ノ御答辯ハ十分ニ納
得出來マセヌガ、議論ヲスルノデア
リマセヌカラ、是デ此ノ問題ハ止メマ
ス
最後ニ此ノ法案ガ實施サレル場合ニ

ハ、今後色々事情ニ依ツテ勞働爭議
ガ頻發スル、此ノ日本ノ當面セル重大
問題ヲ處理シテ行ク上ニ於テ、先程商
工大臣ガ仰シヤツタヤウニ、見返リ物
實ヲドンノ造ラナケレバナラナイト
云フ時ニ、勞働爭議ガ頻發シテ生産ノ
上ニ影響スルト云フヤウナコトガアリ
マシタ場合ニハ、其ノ責任ハ政府ニア
ルノデスカ、經營者ニアルノデスカ、
ソレトモ調停スルコトガ出來ナカツタ
調停委員ニアルノデスカ、ソレトモ勞
働組合ニアルノデアアルカ、其ノ點ヲ承
ツテ置キタイ

●青田國務大臣 將來日本ノ產業界ニ
ハ尙ホ勞働爭議ガ頻發スルコトヲ豫想
シナケレバナルマイ、勞働爭議ノ頻發
ニ伴ツテ生産力減少スルコトノ責任ハ
果シテ何人ガ負フベキカ、斯ウ云フ御
質問ノヤウデアリマス、其ノ問題ハ結
局個々ノ爭議ノ實情ヲ能ク調査シテ、
果シテ如何ナル原因カラ起ツタカト云
フコトニ依ツテ、責任ノ所在ヲ決メル
コトガ、事ノ真相ヲ最も明カニスルモ
ノデアツテ、爭議ガ起ツタカラ直グニ
生産力減退スルノハ誰ノ責任カト云フ
コトヲ抽象的ニ一率ニ決メルコトハ困
難ナ事情ガアリハシナイカ、併シナガ
ラ國家ノ安全ト民族ノ繁榮ニ對シテ責
任ヲ持ツモノガ政府デアルト云フコト
ナラバ、無論斯様ナ場合ニモ政府ニ幾
分ノ責任アリト云フコトハ一般ニ言ヒ
得ル議論デアルト思フ、其ノ場合ニ於
テモ果シテ政府ノミノ責任デアアルカ、
或ハ其ノ他ノ部門ニモ責任ノ負フベキ
モノガアルカト云フコトハ、爭議ノ原
因ニ依ツテ判斷スベキモノデアアル、斯
様ニ私ハ考ヘマス

第六類第六號 勞働組合法案委員會要錄 第三回 昭和二十年十二月十三日

ル法律上デハナイニ致シマシテモ、刑罰ト云フモノハ當然考ヘテレナケレバナラヌ、所謂今日此ノ敗戦ノ責任ガドコニアルカト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルト同義ニ、若シ生業力ガ減退シテ見返リ物資ノ出来ナイト云フヤウナ場合ニ、ソレヲ個々ニ調査シテドコニ責任ガアツタカト云フコトガハツキリサレタ場合ニ、其ノ責任ヲ負フ人々ガ刑罰ト云フ刑法ガナイカラ、ソレニ對シテドウ云フ責任ヲ取ルカト云フヤウナコトハ、政府トシテハドウ考ヘテ居ラレルカ、其ノ人々ガ社長ヲ辭職スルトカ、或ハ政府ガ責任ヲ帶ビテ辭職スルトカ、或ハ勞働組合ノ幹部ガ責任ヲ帶ビテ辭職スルトカ、自發的ニ其ノ人々ニ任シテ置カレマスカ、ソレトモ自發的ニ責任ヲ帶ブヤウナ處置ニ政府ガ出ラレマスカドウカ

○曾田國務大臣 常識デ考ヘレバ刑法其ノ他ノ法規ニ依ツテ責任ヲ定メルコトハ不法行為デナイ限り困難デアルト思フ、隨テ政府ハ道義上ノ責任、政治上前ノ責任、孰ルト云フコト以外ニ方法ハナイト思ハマス

○藤澤 員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○添田委員 員 小山君
○小山(亮)委員 厚生大臣ニ伺ヒマスガ、先達テ厚生大臣ハ、此ノ席ニ於テモ貴族院或ハ衆議院ノ豫算總會ニ於テモ、百數十萬ノ失業者、離職者ガ出ルト云フヤウナ御話デアリマシタ、其ノ中ニハ船員、海上ニ働イテ居ル勞務者ノ失業者モ算入サレテアリマスカドウカ伺ヒタイ

○曾田國務大臣 御答ヘ致シマス、先般貴族院ノ委員會等デ私ガ報告シマシタ數字ハ、大體復員者ノ數デアリマス、復員者ト云ヒマス、内地ニ於テハ

ハ軍隊、軍屬、ソレカラ各工場ノ廢止又ハ休止ニ依ツテ職ヲ離レタ者、海外カラ復員シ來ル軍人軍屬及海外ニ在留シタ者ニシテ日本内地ニ引揚ゲテ來ル者、ソレヲ概算シテ千三百二十四萬人ト言フヤウナデアリマスカラ、船員ノ職ヲ離レタ者ニ付テハ恐ラクハ含ンデ居ナカッタラウト思ヒマス

○小山(亮)委員 失業問題ハ實ニ重大問題ダト考ヘマスガ、此ノ問題ニ對スル對策ハ、或ハ「ダム」ヲ作ルトカ、ヤレ産業ヲ振興サシテソコニ使フトカ云フ御話シガゴザイマスガ、ソレデハ差當ツテノ今ノ生活ニ困ツテ居ル者ガアリマシタナラバ、ソレヲ救済スル方法ハナイト思ヒマスガ、何カ適當ナ機關ヲ現内閣ハオ作リニナル御積リデアリマスカ

○曾田國務大臣 小山君ノ御話ハ、朝野一般ニ憂慮シテ居ル所デアリマシタ、先般來政府デ案ヲ作リマシタ、實ハ明日ノ閣議ニ掛ケル程度ニ進行シテ居リマス、之ニ必要ナ豫算モ大藏當局ト打合セテ終リマシタ、マダ此處デ政府ノ決定案ヲ申上ゲル程度ニ至ツテ居リマセマスガ、閣議ノ決定デモ決マリマスレバ、政府ノ方針トシテ御披露スルコトガ出來ルト思ヒマス、精々政府トシテハ是等ノ人ニ新シイ救済ノ手ヲ伸ベナケレバナラスト痛切ニ感ジテ居ル譯デアリマス

○小山(亮)委員 サウシマス、今期議會ノ中ニ、サウ云フ失業對策ニ對スル何等カノ豫算ヲ計上シテ機關ヲ御作リニナル、斯ウ心得テ宜シウゴザイマスカ
○曾田國務大臣 豫算技術トシテハ新シク豫算ヲ請求シナクテモ、豫備費其ノ他ノ項目ニ依ツテ賄ヒ得ル計畫ニナ

ツテ居リマス
○小山(亮)委員 ソレニ付テ厚生大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスノハ、現在各官廳共ニ嚴密ニ、戰中非常ニ人手ガ潤山ニ必要ダツタ、ソレガ戰後ニナツテ人手ガ少ナル、ダカラ之ヲ減員サスルト云フコトハ、私モ其ノ事情ハ一應分リマス、併シ實際ニ鐵道ノ從業員デアルトカ、或ハ郵便ノ遞送夫デアルトカ云ツタヤウナ特殊ノ勞務關係ニ居ル者ノ手ハ、只今ノヤウニ諸種ノ交通ガ破壞サレ交通ガ非常ニ不便デアツテ、サウデナクテモ更ニ以上ノ人手ヲ要サナタレバナラヌ時ニ、之ヲ減少スルヨリモ寧ロ增加シナケレバナラヌト私ハ思ツテ居リマスガ、ソレヲ私ガ伺ヒマス所ニ依リマス、大體通信勞務者ニ於テ三割、鐵道勞務者ニ於テ三割減ヲヤルト云フヤウナ御方針ノヤウデアリマスガ、各官廳ガ皆負ケズ劣ラズ失業者ヲ救フ殊更ニ一生懸命掛ヘテ參リマス、到底生易シイ失業對策デハ、此ノ失業者ニ對シテ生活ノ保障ヲスルコトハ困難ダト私ハ思ヒマスガ、此ノ點政府ノヤツテオイザニナルコトニ、非常ニ矛盾ガアリハシナイカト思ヒマスガ、厚生大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○曾田國務大臣 今御話ノ點ハ、矛盾ト云ヘバ正ニ矛盾デアリマス、併シナガラ政府ハ財政ノ現狀ニ考ヘ、並ニ粒々辛苦ニナル金カラ租稅ヲ納メテ居ル國民諸君ノ立場ニ考ヘテ、行政費ハ出來得ル限り削減シテ行クコトノ必要ヲ感ジテ居ル、隨ツテ自分ノ子供自分デ家ノ外ニ抛リ出スヤウナ行政整理ノ任ニ當ルコトガ衷心苦痛デアルコトハ、小山君モ御諒承下サルコト思フガ、只今御述ベニナツタ通信事業、運輸事業等ニ三割ニ互ル現象ノ削減ヲ行フ

コトハ、何等カノ誤解デハナイカト思ヒマス、政府トシテハ官業ノ現業員諸君ニ、ソレ程多大ノ削減ヲスル考ヘハ持ツテ居ナイノデアリマス
○小山(亮)委員 唯數字ノ上ダケデ、豫算ノ面ダケデ御考ヘニナラナイデ、實際戰後ノ日本ノ各般ノ構成ドウスルカト云フ面カラ考ヘマス、或ル面ニハ寧ロ人ヲ減ササナケレバナラヌ面モアル、或ル面ニハ人ヲ減少シナケレバナラヌ面ガアル、斯ウ私ハ思ヒマス、ソコデ唯豫算ノ面カラ見テ、一率ニドレダケ減シバ宜イト云フヤリ方ハ古イ時代ノヤリ方デアツテ、今日ノ實情ニ即シナイト私ハ思ヒマス、隨テ官廳デアリマシテモ、仕事ヲシテ居ル其ノ仕事ノ性質ニ依ツテハ、寧ロ人ヲウシト殖ヤサナケレバナラヌ復興ノ事業等ガアリマス、或ル面ニハ大イニ減少シナケレバナラヌ面ガアルト思ヒマス、ソレヲ大藏省ノ方カラ割當ガアルト云フノデ、割當テテ徒ラニ減少シマス、例ヘバ今日デモ郵便ノ電信ハ中時時刻刻リニハ參リマセマスガ、人手ガ不足スレバ更ニ其ノ通信ガ遅レテ來ル、或ハ電報其ノ他ノ通信關係ノ復興モ今デサヘ中人人手ガ減少スレバモノヲ、更ニ是カラ人手ガ減少スレバ益々出來ナイコトニナル、斯ウ云フ結果ニナリマスノデ、現業關係ノ仕事、特殊ノ仕事ヲ持ツテ居リマスル面ニ於ケル所ノ減員ト云フモノニ對シテハ、是ハ特ニ政府當局ガ御考慮ナサル必要ガアルト思ヒマス、此ノ點ニ付今一應厚生大臣ノハツキリシタ御意見ヲ伺ヒタイ

○曾田國務大臣 今回ノ行政整理ノ方針トシマシテハ、基準ヲ滿洲事變前ノ官吏ノ數ト終戰當時ノ官吏ノ數ト比

較シタモノヲ取リマシタ、其ノ増加シタ分ニ付テ削減ヲ考ヘルト云フノガ第一ノ方針デアリマス、併シナガラ戰終了ニ付ツテ國家ガ必要トスル各種ノ事業ガ數々アリマス、サウ云フモノハ行政整理トハ限レテ、必要ナ人間ヲ新シイ部局ニ採用シテ宜シイト云フ方針デ進ンデ居リマスノデ、具體的ニ厚生省ノコトデ申セバ、厚生省全體トシテ從來ノ機構ニハ或ル程度ノ削減ヲ加ヘマス、併シナガラ軍病院ヲ陸軍軍力ヲ厚生省ノ手ニ移シタ爲ニ必要トスル約三百餘病院ノ爲ニ、新タニ醫療局ヲ設ケテ、鹽田博士ヲ其ノ長官ニ任シタノハ、ツイ一、二週間前ノコトデアリマス、尙ホ先程御答ヘシマシタ戰災ニ因ツテ困窮シテ居ル者、或ハ在外同胞ニシテ内地ニ引揚ゲテ來ル者、此ノ何百萬人ニ上ル人々ニ對シテ授養ノ手ヲ延ベルトハ、今日マデノ程度デハ十分デアル、此ノ上トモ行渡ツタ世話ヲシナケレバナラヌ、ソレガ爲ニハ必要ナ職員ヲ増員シナケレバナラヌコトハ當然ノコトデアリマスカラ、是等ノ新シキ職員ノ増員ニハ、大藏省並ニ内閣方面ニ於テモ、十分諒解ガ與ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ニハ支障ナク進行ガ出來ルト考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 離職者ガ千三百數萬人出ルト云フ推定デアリマスガ、私ハ今日ノ實情ハ不思議ナ現象デアツテ、失業シタカラト云ツテ、必ズシモ其ノ人ハ生活ニハ困シナイ實情ニアリマス、一例ヲ申シマス、寧ロ今日デハ安イ月給ヲ貰ツテ働イテ居ルガ爲ニ食ヘナイ人ガ多イ、失業スレバ、其ノ失業シタ人ハ何ワスルカト云ヘバ、直グニ餓死ニナル、餓死ニナツテ街中ニ

較シタモノヲ取リマシタ、其ノ増加シタ分ニ付テ削減ヲ考ヘルト云フノガ第一ノ方針デアリマス、併シナガラ戰終了ニ付ツテ國家ガ必要トスル各種ノ事業ガ數々アリマス、サウ云フモノハ行政整理トハ限レテ、必要ナ人間ヲ新シイ部局ニ採用シテ宜シイト云フ方針デ進ンデ居リマスノデ、具體的ニ厚生省ノコトデ申セバ、厚生省全體トシテ從來ノ機構ニハ或ル程度ノ削減ヲ加ヘマス、併シナガラ軍病院ヲ陸軍軍力ヲ厚生省ノ手ニ移シタ爲ニ必要トスル約三百餘病院ノ爲ニ、新タニ醫療局ヲ設ケテ、鹽田博士ヲ其ノ長官ニ任シタノハ、ツイ一、二週間前ノコトデアリマス、尙ホ先程御答ヘシマシタ戰災ニ因ツテ困窮シテ居ル者、或ハ在外同胞ニシテ内地ニ引揚ゲテ來ル者、此ノ何百萬人ニ上ル人々ニ對シテ授養ノ手ヲ延ベルトハ、今日マデノ程度デハ十分デアル、此ノ上トモ行渡ツタ世話ヲシナケレバナラヌ、ソレガ爲ニハ必要ナ職員ヲ増員シナケレバナラヌコトハ當然ノコトデアリマスカラ、是等ノ新シキ職員ノ増員ニハ、大藏省並ニ内閣方面ニ於テモ、十分諒解ガ與ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ニハ支障ナク進行ガ出來ルト考ヘテ居リマス

○曾田國務大臣 今回ノ行政整理ノ方針トシマシテハ、基準ヲ滿洲事變前ノ官吏ノ數ト終戰當時ノ官吏ノ數ト比

「リニツク」ヲ賣貨ヒ込シテ、諸ノ子ヲ洗フヤウニ混雜シテ居ル汽車ニ乗込シテ、開テ何カ買ツテ來ル、例ヘバ醬油カヲ一貫匁ハ國産醬油ヲ買ツテ來レバ二十圓賣レバ、南京豆デモ一圓リカ二圓リ持ツテ來レバ、何圓ト云フ金デ賣レバ、斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、役所ヲ休シテモ賣出シ行ツテ物ヲ買ツテ來テ、之ヲ賣ツタ方ガ儲カル、先般長野縣ニ於キマシテ、運輸大臣ガ居ラレマスカラ、一例デアリマスカラ御參考マデニ申上ゲマスガ、長野縣長野市ニ於テ林檎ノ賣出ガ薄山ニ行ハレタ時ニ、此ノ車內檢査ヲシマシタ所ガ、一ツノ満員ノ客車ノ中ニ百六十何人ガ「バス」ヲ持ツテ居ル人達デアアル、鐵道關係ノ從業員モアリマセウシ、或ハ軍需會社其ノ他ニ關係シテ居ツテ「バス」ヲ持ツテ居ツテ連中ガ、其ノ賣出ニハ相當來テ居ル、本當ニ金ヲ出シテ乘ツテ居ル者ハ、其ノ車ノ中ノ六割シカナカツタト云フヤウナ笑ヘナイ事實ガアリマス、ソコデ私共戰地邊リノ工場ノ様子ヲ聞イテ見マス、工場モ鐵道復舊シナケレバナラヌ、併シナガラ資材ノ關係等デ直チニ復興ハ難カシイガ、鐵道復舊スル、其ノ復興スル爲ニハ、熟練職工ハ是ハ確保シテ置カナケレバナラヌト云フコトカラ、鐵道シナイ、鐵道シナイガ、毎日來テ居ラレタ金ガ掛ツテシヤウガナイ、又毎日來テ遊ンデ居ルト職工ガドラテシマフ、ソコデ職工ニ一日交代デ休ムコトヲ許シタ、職工ハ安イ日給來ルヨリモ大喜ビデ休ンダ、休ンデ何ヲスルカト云フト、買出ニ行ク、閑ノ商賣ヲスル、今日ハ寧ろ買出日ニ勤イテ居ル者ガ苦痛デアリ、失業シテ居ル者ガ寧ろ生活ガ樂デ、金ヲウント持ツテ居

ル、斯ウ云フ現狀デアリマス、厚生大臣ハ失業對策ヲ御立ニナルト言フガ、私ハ今働イテ居ル人間ノ對テ御立テ戴キタイト考ヘマス、失業者ノ方ガ鹽カニ暮シテ居ルト云フノハ、今マデ實テナカツタ現象デアリマス、併シナガラ是ハ事實デアリマス、此ノ點ヲ御考ヘニナラナイト、サウデナクテモ仕事ニ來ル者ガ休ンデ、サウシテ買出ニバカリ行ツテ、意テ出テ來ナイト云フコトガ多い、ガカラ更ニ其ノ人員ヲドシ、鐵道切ツテ、殘ツテ居ル者ニ對スル所ノ待遇ノ根本的改善ヲヤラザル限り、是ハ結局能率ガ低下スルデカラウト私ハ思フ、其ノ結果日本中デ益々閑ノ買出其ノ他ガ多クナツテ、物價ガ昂騰シテ、國民ノ生活ガ皆苦シイコトニナルデラウト思ヒマス、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ御見解ハ如何デアリマスカ、御伺ヒ致シマス

○實田國務大臣 世相ハ今小山君カラ御話ニナツタ通りト思ヒマス、隨テ今日街ニ氾濫シテ居ルハ失業對策ヨリ意業ヲ立テテ居ルコトガ緊急カモ知レヌ、對策ヲ立テテ居ルコトガ緊急カモ知レヌ、給料デ生活シテ居ル多數ノ勤勉ナル國民ノ生活問題ハ此ノ點デハイヘナイト御説ダト思ヒマス、私モ全く同感デアリマス、政府ニ於テモソレ等ノ事情ガ分ラナイ譯デハアリマセヌ、今回行政整理ヲ發表スル際ニハ、今後官吏若シタハ公吏トシテ勤シ人々ニ對シテハ、相當待遇ヲ改善シテ行カウト云フデ、之ヲ同時ニ決定スル方針デアリマシテ、唯官吏ノ公吏ノ數ヲ減スト云フコトバカリデナク、殘ツテ國家社會ノ爲ニ勤シ人々ニ出來ルデ豫算ノ都合ヲシテ待遇ヲ改良シテ行ク、斯ウ云

フ方針デ今案ヲ作ツテ居リマス、ソレガ果シテ今日ノ物價騰貴ノ情勢ニ對應スルデケノモノデアラカドウカハ確信ハ出來マセヌケレドモ、國家トシテハ出來ルデケノコトヲ致シテ居ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 只今失業對策ガ關ノ買出ナドシテ居ナイト仰シヤイマシタガ、閑ノ買出ヲヤツテ一番積蓄ヲ極メタノハ朝鮮人、次ハ殘念デアルガ歸還兵、次ハ各工場カラ解職シタ工員ガ仕樣ガナイカラ閑ヲヤル、此ノ所謂失業對策ハ恐レナカラ兎付カラナイヤウニ、制限ヲ著テ居ル者ハソレヲ隱シナガラ街頭デヤツテ居ルヤウナ有様デアアル、公然トヤツテ居ルハ失業對策ハナイ、此處デ大臣ノ答辯ヲ求メマセヌガ、此ノ失業對策ハ今マデノ平和時代ノ失業對策デハナイ、戰後而モ財政ガ昏迷狀態ニナツタ場合ノ失業對策ハ、別個ノ考ヘ方ヲシナケレバナラナイト思フ、勿論實明ナ厚生大臣ハ、斯様カコトハ百モ御承知デアラウト思フ、此ノ點德ト御留意ヲ御願ヒシタイ、次ニ海上ニ於テ默々ト働イテ居ル海上労働者ノコトデアリマス、戰前ハ御承知ノ通り六百三十七、八萬トシ、船隻ヲ持ツテ居リマシタガ、今日デハ非常ニ減少シ修理ヲ要スル船ヲ含メテ約四百五十隻、七十八萬トシ、現在船員ノ失業ハ、大型船ノ乗組船員、是ハ高級ノ方デアリマスガ、其ノ約半數デ機械船ヲ入レト全體ノ三分ノ二位ニナルト思ヒマス、是ハ陸上ノ失業對策ト連ツテ、陸上ニ上ツテモ直ク何ノ仕事ヲヤラセルト云ツテモ一寸役ニ立タナイ、之ニ對スル適當ナ對策ヲ立テナケレバナリマセヌガ、只今厚生大臣ハ失業對策トシテ豫算ヲ計上シテ居ルト仰シヤイマシタガ、先程

御覽者ノ中ニ船員ハ入ツテ居ラヌト云フ御話デアリマシタガ、今回ノ豫算ノ中ニハ船員ハ入ツテ居ルカドウカ、御伺ヒ致シマス

○實田國務大臣 數字ハ各府縣廳カラ集マツタ者ヲ取ツテ一應發表シタノデアリマスカラ、入ツテ居ナイト明確ニ返答出來マセヌ、恐ラク入ツテ居ナカラウト思ツテ答辯致シマシタ、併シナガラ失業對策ト云フ以上ハ、入ツテ居ルト居ナイトニ拘ラズ、失業全般ニ及ブコトハ當然デアリマシテ、陸上ニ上ツテ居ル船員ガ職ヲ離レテ居ル以上、之ヲ除外スルコトハ勿論考ヘテ居リマセヌ

○小山(亮)委員 此ノ場合運輸大臣ニ御伺シタイ、船員ト云フ特殊ノ立場ニ居ル者ニ對シテ特別ノ失業對策ノ必要ガアルノデハナイカ、政府ガ此ノ戰爭ノ爲ニ徵用シタ船員ノ總數ハ十二萬七千三百名デアアル、中ニハ徵用ヲ受ケナイデ船ニ乘ツテ居ル者モアルカラ、實際ノ數字ハ是ヨリ多クナル、然ルニ戰爭期間中ニ敵ノ攻撃ニ因リ、或ハ危險海面ヲ突破スル爲ニ起ツタ事故ニ因リ、或ハ無理ヲシテ航海シタ爲ニ起ツタ遭難ニ因リ戰死若シタハ海没シタ總數ハ實ニ十一萬六千名ニ上ツテ居リマス、徵用船員十二萬五千三百人ニ對比スルト、實ニ九一%ノ死亡率デアリマス、此ノ戰爭ヲ通シテ凡ソ職業者ノ人達ガ國家ノ爲ニ相當ノ犠牲者ヲ出シマシタガ、船員ノ此ノ犠牲位深刻ニシテ率ノ多イモノハ外ニ當テナイノデアリマス、而モ船員ハ戰ガ終ツテカラモ、日本近海ノ海面ニ投下サレテ居ル多クノ遺體ト危險ヲ圖シテ、尙ホ默々トシテ航海ヲ續ケ、或ハ石炭ノ搬送、或ハ食糧ノ搬送、或ハ復員將兵ノ

搬送ノ爲ニ、長年月働カナケレバナラヌ實情デアリマス、終戰後今日マデ實ニ戰後ノ平和ナル海面ニ於テ、機出ニ觸レテ擊沈サレタ船舶ハ十五萬トシ「ラ」超エテ居リマス、斯様ナ狀況下ニ船員ハ尙ホ戰國狀態ニアルノデアリマス、是等船員ニ對シテハ、特別ナル御處置ト、特別ナル機關ヲ御設ケニナル必要ガアルト私ハ思フノデアリマスガ、運輸大臣ノ之ニ對スル御見解ヲ承リタイノデアリマス

○田中國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、船員ガ寸鐵ヲ帶ビシテ尙ホ戰後モ戰前ニ劣ラヌ危險ヲ航行シテ居レルコトニ對シテハ、小山君ノ仰シヤル通りデアリマシテ、ソレニ對シマシテ、勿論特別ノ考慮シテ其ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌモノト存ジテ居リマス

○小山(亮)委員 ソレニ付テ厚生大臣ニ伺ヒタイ、本法ノ適用ヲ受ケル船員、由來、船員ト云フノハ、船員派ニ依ツテ船ニ乘ツテ居ル間ハ船員デアアルガ、下船シタ其ノ日カラ船員デナイト云フコトカラ、船員法ノ適用ヲ受ケナイ、其ノ代リニ保護ヲ受ケナイト云フ狀況ナデデアリマスガ、此ノ場合本法ヲ適用シマスル船員ハ、ドウ云フモノヲ以テ労働者ト看做サレマスカ何ヒマス

○實田國務大臣 ヤハリ船員トシテ船ニ乘ツテ居ル限り、他ノ労働者ト同一ノ労働組合ヲ結成スルコトハ自由デアリマス

○小山(亮)委員 是ハ實例ヲ申サナケレバ分リマセヌガ、船員ハ船ニ乘船シ致シマス時ニハ雇入停止ノ契約ヲ致シマス、船長ト雇入契約ガ成立シマシテ船ニ乘ルノデアリマス、サウシテ下船シマス時ニハ雇入雇止契約ヲ解除

致シマシテ、船員ハ下船シテ來ル、サ
ウスルト船員デハナイノデス、乗ルマ
デハ船員デナクテ雇入ヲ受ケテ船員法
ニ述ベラレタ船員トナル、又下船ラシ
テ雇止ヲサレテ初メテ船員法ニ依ル船
員デナクナルノデス、ソシテ實ニ此ノ
法令ノ爲ニ非常ナ多ク悲劇ヲ生シ
居リマス、例ヘバ「ガダルカナル」ニ陸
兵ヲ輸送シテ行ツタ船ガ「ガダルカ
ナル」デ敵ノ爲ニ襲撃サレテ撃沈サレ
タ、撃沈サレテ船ガナクナツタ、ナク
ナツタ時ニ、雇入ヲシタ船ガナクナツ
タノデスカラ、法律上ノ船員デハナク
ナル、ソレガ救助サレテ「ラバウル」ナ
ラバ「ラバウル」ニ運レテ來ラレル、一
千、二千ト云フ船員ガ「ラバウル」ニ待機
シテ居ル、サウシテ新ナル船ニ乗セ
テ内地ニ輸送シテ來ル、其ノ途中デ撃
沈サレタ、其ノ時ニハ「軍及ビ海軍
ハ、是ハ船員デナイ、ガカラ軍屬デナ
イ、軍屬デナイカラ靖國神社ニ祀ルコ
トハ出來ヌト云フテ祀ラレテ居ラス、
斯ウ云フ實例ガアル、是ハ随分長イ間
陸軍ハ海軍ト折衝致シマシテ、或ル期
間カラ特別ナ取計ヲヒニ依ツテ靖國神
社ニ祀ルコト云フコトニナリマシタ
ガ、法令カラ言フトサウデナイ、デア
リマスカラ、本法ニ於テハ「勞働者ト
ハ職業ノ種類ヲ問ハズ賃金、料其ノ
他之ニ準ズル收入ニ依リ生活スル者ヲ
謂フ」ト云フコトニナツテ居リマス、
サウシマスト船員ガ準備ニナリマス、
準備ニナリマス、最初ノ一箇月カニ
箇月ハ本給ニ異レガ、ソレカラ引續
イテ長ク給金其ノ他ノ待遇者ハ給料ハ
半分ニナル、サウシテ何箇月カスルト
會社ニテヤント籍ガアツテ、會社ノ雇
人デアリナガラ、給料ハ一文受ケナ
イ、斯ウ云フハ勞働者トハ言ハレナ

イノデアリマスカ、郵船會社ナラバ郵
船會社ニ籍ガアツテ、又其ノ船ニ乗
ナケレバナラス、是ハドウ取扱ヒマス
カ

○青田國務大臣 此ノ勞働組合ノ組合
員ハ主トシテ勞働者ガ加入スルノデア
リマシテ、勞働者デナクモ組合員
ルコトハ妨ゲナイノデアリマス、例ヘ
バ我々ノ同僚ノ議員諸君ノ中ニモ、勞
働組合ニ入ツテ居ル方ガアリマス、併
シ其ノ方々ハ勞働者デハアリマセス、
ソレデモ入レルノデス、隨テ只今ノ小
山君ノ御指摘ノ場合ハ、賃金及ビ給料
ヲ現實ニハ受ケテ居リマセスガ、假令
現實ニ船ヲ下リテ船員タル身分ヲ船員
法ニ依ツテ失ツタ時ト雖モ、必ズシモ
組合ヲ脱退スル必要モナケレバ、ソレ
カラ除外サレルコトモナイ、是ニ書イ
テ居リマスノハ、勤勞ニ從事シテ居
タ者ガ給料ヲ受ケナクナツタラ直グ勞
働者デナクナルト云フヤウナ窮屈ナ解
釋デハナイノデアアツテ、其ノ過去ノ仕
事ノ經歷ヲ見テ、大體賃金若クハ給料
ニ依ツテ生活シテ來タ者ハ、一時之ヲ
離レテモ、ヤハリ勞働者タル身分ハ急
ニ變化ハナイモノト、社會通念デ考ヘ
ラレマス、社會通念ニ反シテ取扱ヒハ
決シテシナイ、私ハ斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○小山(亮)委員 此ノ勞働組合ガ出來
ルト云フコトニナリマス、我々ガ考
ヘルコトハ、組合側ト資本家側トノ折
衝ガ決裂ヲシマス場合、話ガ皆ク行カ
ナイ場合ニハ、勞働爭議ヲヤルト云フ
コトニナリマス、併シナガラ此ノ勞働
爭議ハ如何ナル時、如何ナル場所ニ於
テ行ツテモ差支ヘガナイト云フ風ニ解
釋シテモ宜シウゴザイマスカ

○青田國務大臣 此ノ法律ニハ勞働者
ノ關スル調停法ガ入ツテ居リマセ
ス、勞働爭議調停法ハ、現行ノモノハ
今日ノ事態ニ即應シナイノデ、遠カラ
ズ新シキ法律案ヲ起草シテ、來ルベキ
議會ニ御諮問シ仰ク筈デアリマスガ、
今御話ノヤウニ、船員等ノ如ク公共事
業ニ從事シテ居ル者ニ付テハ、多クハ
爭議調停法ニ特別ノ規定ガアリマス、
公共ノ安全ニ對シテ重大ナ責任ヲ持
テ居ルモノハ、爭議行為ニ對シテモ制
限ヲ受ケテ居ルノガ從來ノ例デアリマ
スカラ、今ノ御話ノヤウナ場合ハ、爭
議調停法ニ依ツテ相當ノ制限ヲ受ケル
コトニナル筈デアリマス

○小山(亮)委員 サウシマスト爭議調
停法ヲ本法ト同時ニ御出シニナラナケ
レバナナイモノト思ヒマスガ、御
用意ハオアリデアリマス

○青田國務大臣 只今勞務法制審議會
デ新シキ爭議調停法ヲ審議シテ居リマ
ス、併シナガラ大體ノ方針デハ立テ
テ居リマスカラ、若シ必要トアラバ其
ノ方針ヲ此處デ説明スルコトハ、少シ
モ意ニ介シナイ譯デアリマス

○小山(亮)委員 第四條ノ末項ニ「待
遇官吏及公吏其ノ他國又ハ公共團體ニ
使用セラルル者ニ關シテ本法ノ適用ニ
付命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ
得」トアリマスガ、「別段ノ規定」ト云フ
ノハドンナモノガアルノカ、其ノ外郭
ヲ御示シテ願ヒタイ

○青田國務大臣 此ノ點ハ本會議ニ於
キマシテモ、又此ノ委員會ニ於テモ、
既ニ質疑ガアリマシテ、一應ノ御話ヲ
シタノデアリマスガ、小山君ノ御質問
ニ對シテ御答ヘ致シマス、是ニ照ゲテ
アリマス官吏其ノ他公共團體ニ使用セ
ラル、者ハ、調停又ハ仲裁ニ付シ、調
停又ハ仲裁ガ成ラナクツタ場合ノ外ハ

學執行爲ワシテハナラス、斯ウ云フコ
トヲ決メタイト思ヒマス、第二ニ爭議
行為ヲナシ又ハナサントスル虞アル場
合ニハ、行政官廳ハ必要ニ應ジテ爭議
ノ中止命令其ノ他必要ナル命令ヲ發スル
コトガ出來ル、第三トシテ政治運動ニ
付テハ勞務委員會ノ決議ニ依ツテ行政
官廳ニ此ノ禁止又ハ制限ヲスルコトガ
出來ル、大體此ノ三ツノ點ヲ中心ニシ
テ組合法第四條ニ附隨スル命令ヲ出シ
タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 船員ノ中ノ船長ハ本
法ニ依ル所ノ勞働者ト取扱ハレルノデ
アリマスカ、何ヒマス

○青田國務大臣 廣イ意味ニ於テ、肉
體勞働デナクモ勞働者トシテ此ノ法
案ニ規定シテ居ルノデアリマスカラ、
船長ノ身分ハ勞働者ト言ヘバ勞働者ダ
ト思ヒマス、併シナガラ其ノ船長ガ使
用者ヲ代表シテ居ル立場ニアル場合ニ
ハ、使用者ノ代表者トシテ組合ニ入ル
コトガ困難ニナリマス、斯様ニ思ヒマ
ス

○小山(亮)委員 サウシマスト、苟ク
モ船長トシテ船ニ乗ツテ居ル以上、使
用者ヲ代表シナイ船長ハナイ譯ナンデ
スカラ、サウシマスト船長ハ絕對ニ勞
働組合ニハ入レナイ、今マデ勞働組合
員デアリマシテモ、船長ニナリマシタ
途端ニ組合カラ脱退スル、斯ウ云フコ
トニナルノデアリマスカ

○田中國務大臣 私人カラ申上ゲマス、
私ハ入レルコトニナルト解釋致シマス

○小山(亮)委員 此ノ船長ガ勞働組合
員デアルカナイカト云フコトハ、海上
ノ問題デハ極メテ重大ナコトデアリマ
ス、船長ハ商法ニ依ツテ船主ノ代理ト
シテ代理權ヲ行使スルコトガ出來ル廣
汎ナル權限ヲ與ヘラレテ居ルコトハ御

承知ノ通りデアリマス、隨テ賃金ノ問
題デアルトカ、食糧ノ問題デアルトカ
云フコトデ、船長對乗組員トノ間ニ紛
議ガ起ルノデアリマス、之ニ對シテ船
長ガ勞働組合ニ參加出來ルカ出來ナイ
カト云フコトハ、今日マデ非常ニ惱ミ
ニナツテ來タ問題デアリマスガ、只今
運輸大臣ノ御話カラ申シマス、入レ
ルト云フヤウニ仰シヤツタノデアリマ
スガ、第二條ノ第一項ヲ見マス、使
用者又ハ其ノ利益ヲ代表スト認ムベキ
者ノ參加ヲ許スモノハ此ノ限リニアラ
ズト云フコトニナツテ居リマス、サウ
シマスト、是ガ入レバ勞働組合デハナ
クナルノデスカ

○田中國務大臣 御答ヘ致シマス、是
ハ重役ダトカ何トカ云フヤウナ解釋ノ
ヤウニ思ツテ居リマスノデス

○小山(亮)委員 サウシマスト一ツノ
船デ「船」ト云フモノハ一ツノ社會、
一ツノ會社ト同ジヤウナモノデアアル、
而モソレガ一定ノ場所ニ居ラナイデ、
海ノ水ノアル所何處デモ行ク、其ノ
場合ニ船員對資本家トノ間ニ色々ナ勞
働條件其ノ他ノ問題ガ起ツタ場合ニ
ハ、船長モ勞働者ト一緒ニナツテ船主
ト交渉スルコトガ出來ル、斯ウ云フ
コトニ解釋シテ宜シイノデアリマスガ

○田中國務大臣 左様ニ解釋サレマス

○小山(亮)委員 サウシマスト、商法
上船長ハ船主ノ代表者デアアル、船主ノ
利益ヲ代表シ、船主ノ代理トシテノ權
限ヲ委託サレテ居リマスガ、其ノ場合
ハドウナルノデアリマスカ何ヒタイ

○田中國務大臣 御答ヘ申上ゲマス
解釋のニハ二重ノ性格ヲ持ツコトニナ
ル譯デアリマスガ、差支ヘナイノデア
リカト思フノデアリマス

○小山(亮)委員 若シ是ガサウデアアル

トスレバ、恐ラク船ハ動かナクナルノ
チヤナイカト斯ウ思フ、例ヘバ或ル外
國ノ港或ハ日本ヲ離レタ場所ニ居ッ
テ、サウシテ資本家ト色々交渉ラシ
ナケレバナラヌヤウナ問題ガ起ツタ場
合ニ、船長ガ一緒デアレバ、其ノ港デ船
中ガ一團ニナツテ船主ニ對抗サレタ場
合ニハ、船主ハ其ノ船ヲ動かスコトガ
出来ナイヤウナ状態ニナリヘシナイカ
ト思ヒマス、ソレガ爲ニ船長ニ對シテ
ハ、乗組員ノ賃金ヲ支拂フ場合トカ、
或ハ乗組員ノ食糧ヲ買入レル場合トカ、
サウ云フ凡ソ一切ノ場合ニ、船
ヲ擔保シテマデモ外國ノ銀行カラ、
或ハ其ノ土地ノ銀行カラ金ヲ借出シテ
來テ、乗組員ニ假ニ支拂フデケノ權限
スラ與ヘラレテ居ルノデアリマス、ソ
レニ依ツテ初メ現地ニ於テ解決ノ付
カナカッタモノヲ、一時費用ノ假拂ヒ
ヲシテ置イテ現地ニ於テ適當ノ解決ヲ
付ケテ、日本内地マデ歸ツテ來テ改メ
テ之ヲ裁判ナリ何ナリニ依ツテ解決ヲ
スルト云フ方法モアルノデアリマス
カ、若シ船長ガ船主ノ代理デナクシテ
勞働組合員デアツテ、全乗組員ト一
ニナツテ爭議ラシタ場合ニハ一體船ガ
動かカ動カナイカ、此ノ點ハ私ハ重大
ナ問題ダト思ヒマス、是ハ大臣ノ御解
釋ガ違ツテ居ルンデヤナイカト思ヒマ
スガ、御所見ハ如何デアリマスカ

○山崎説明員 一寸私カラ御説明申上
ゲマス、是ハ審議會ノ時ニモ非常ニ問
題ニナリマシテ、其ノ時ノ末弘委員ヤ
何カノ御意見デモ、大體從來ノ觀念カ
ラ船長ハ組合員ニ入ッテ居ル、此ノ規
定ノ精神モ主トシテ今仰シヤイマシタ
ヤウナ仕事ノ業務ノ關係ト云フヨリ
モ、資本家對勞働者ノ一ツノ經濟的關
係ヲ中心ニシタ問題デアルノデ、今小

山サシノ仰シヤイマシタヤウナ船ノ運
航ト云フコトニ、非常ニ重大ナ影響ヲ
持チマスガ、勞働爭議ガ待遇問題等デ
非常ニ尖鋭化シテ起ツタ時ニ、サウ云
フ障礙ヲ受ケルコトハ或ル程度已ムヲ
得ナイ、此ノ組合ガ認メラレタ以上
ハ、已ムヲ得ナクナルノデヤナイカト
云フ解釋デアリマス

○小山(亮)委員 其ノ點ハ説明員
ノ御説明ハ非常ニ曖昧ダト思フ、私ノ
考ヘカラ申シマス、只今運輸大臣ガ
言ハレマシタヤウニ、一個ノ個人ノ船
長トシテハ此ノ勞働組合員ニ入レル、
併シナガラ一度或ル一船ノ船長トシテ
ノ職權ヲ持ツテ臨シタ場合ニハ、是ハ
船主ノ代理デアツテ勞働組合員デハナ
イト解釋スベキガ至當ダト思フノデア
リマスガ、此ノ點ハ重大ナ問題デアリ
マスカラ、重ネテ御説明ヲ願ヒタイ、
私ノ申スコトガ違フナラ違フデ宜シ
イ、説明員ノ仰シヤルコトガ正シケレ
バソレデ宜シイ、私ガ只今考ヘテ居ル
ヤウニ、船長ト云フモノハ一ツノ職
アリマス、免狀ヲ與ヘラレタ職ヲ持ツ
テ居リマスカラ、其ノ職ヲ持ツテ居ル
者ガ勞働組合員ニ入ッテ自由デア
ルガ、一度或ル一定ノ限ラレタ船ニ、
一船ニ轉船スルカ分リマセヌガ、或ル
一定ノ船ニ乗ツテ其ノ職ヲ執ル場合ニ
ハ、是ハ商法ニ決メラレタル船主ノ代
理人トシテ取扱ハルベキモノデア
ツテ、勞働組合員トシテ取扱ハルベキ
モノデハナイト私ハ思フノデアリマス
ガ、重ネテ政府委員ノ御答辯ヲ煩ハシ
タイノデアリマス

○山崎説明員 是ハ法律ノ規定ガサウ
云フ點ニ出來テ居リマスガ、今後海員
ノ勞働組合運動ノ政策トシマシテ、船
長ヲ組合員ニ入レルガ宜イカ懸イカト

云フコトハ、政策問題トシテ今小山代
議士カラ御注意ガアリマシタヤ
ウニ、重大ナ問題ダト思ツテ居リマ
ス、隨ヒマシテ、是ハ今後サウ云フ人
ヲ入レルガ適當カトウカト云フコト
ハ、政府デケデ決定スルノデナクテ、
勞働委員會——色々諸機關或ハ委
員會等モゴザイマシテ、其ノ組合員
ニ入レル人ノ範圍ト云フモノヲ決定サ
レルヤウニ、此ノ法律案デモナツテ居
ルノデアリマシテ、船長ノ問題ニ付キ
マシテハ、政府ト致シマシテ十分研究
致シタイト思ヒマス

○小山(亮)委員 是ハ勞働組合法案ノ
中ニハ唯單ニ陸上勞働者ノミデナク、
廣ク海上勞働者モ當然入ッテ居ルコト
ダラウト思フ、殊ニ海國日本ト言ハ
レ位ナ日本ノ此ノ勞働法ノ中ニ船員ガ
入ッテ居ラナイ譯ハナイ、寧ろ船員組
合ハ極メテ重大ニ考ヘテ貰ヒタイ、ソ
コデ此ノ法案ヲ一旦出ス以上ハ、第三
條ノ勞働者ト云フ限界、是ハ船長ガ入
ルカ入ラヌカト云フコトハ、今マデモ
屢々議論サレテ重大ナコトナノデア
リマスカラ、之ヲハツキリ御決メナ
ナイデ、サウシテ此ノ法案ヲ容メト仰
シヤルコトハ、少シ無理デハナイカト
私ハ思フ、併シソレモ只今問題ガ茲ニ
起キマシテ、此ノ問題ニ付テハ急遽ニ
諸外國ノ例等ヲドウカ御考慮ニナ
ツテ、是ハ速カニドウカ御決メアル
コトヲ御決定ニナルコトガ、私ハ一番
宜イト考ヘル、ドウカ此ノ點ハ急速ニ
御研究アラソコトヲ希望致シマス

度マデ救済ノ手ハ差伸ベラレマシタケ
レドモ、獨リ船員ノミニ限ツテハ、實
ニ慘憺タル狀況ニアリマス、殊ニ戰爭
ガ突然トシテ終リマシタ爲ニ、終戰後
ノ第一、第二復員省關係ニ於テハ、書
類等ヲ燒イタリ色々致シマシタ爲ニ、
海没シタ、戰死シマシタ船員等ニ對ス
ル遺家族ノ扶助其ノ他ノ手續ガ、非常
ニ困難デアルヤウニ私ハ推察致シマ
ス、隨テ第一、第二復員省ニ飽クマ
デ、之ヲ處置セヨト言ツテ追究シマ
シテモ、可ナリ私ハ困難ナ點ガアルノ
デハナイカト考ヘマス、隨テ船員問題
ハ、飽クマデ海運總局等ガ本當ニ眞劍
ニナツテ此ノ問題ヲ取上ゲテヤラナ
クレバナラヌト思ヒマス、若シ第
一、第二復員省等ニ交渉致シマシテ、
書類ガ燒カレテ居ルトカ、或ハ中々其
ノ調査ガ今デハ出來ナクナツテ居ルト
云フ現狀、是ハ無理カラヌコト考ヘ
テ、御交渉ノ上、海運總局ノ方ガ此ノ
問題ヲ引受ケテ、運賃會デアルトカ
或ハ直接船主デアルトカ、船員ヲ能ク
知ツテ居ル者等ニ連絡ヲ執リマシテ調
査ヲ進メレバ、少シ早く出來ルコト
ト考ヘマス、寧ろ此ノ際運シテ第
一、第二復員省關係ノ、船員關係ノ一
切ノ書類ハ、海運總局デアルト云フ風
ニ御措置ヲオヤリニナル方ガ私ハ良イ
ト考ヘマスガ、運輸大臣ノ御所見ハ如
何デアリマスカ

○田中國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、
左様ナ第一、第二復員省ト連絡ガド
ウ云フ風ハ行ハレマス、恐ラク實際
問題トシテ今アナタガ仰シヤツタヤ
ウナコト出テ來ルト思ヒマス、是ハ十
分考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス
○小山(亮)委員 更ニ船員ノ子弟デア
リマスガ、船員ノ子弟ハ英國連リノ例

ヲ見マス、オ祖父サンガ船長デア
ツテ親ガ船長、又其ノ子供モ喜ンデ船
長、船ニ乗ルト云フノガ「イギリス」連
リノ例デアリマスガ、日本ハ海運ニ對
スル一般認識ガ低イ共ニ、社會的取
扱モ非常ニ低イシ待遇モ惡イ爲ニ、船
員ニナル者ガナイノデアリマス、先般
「ガダルカナル」ノ攻撃ノ際ニ陸兵ヲ輸
送シ、海兵ヲ輸送シテ參リマシタ一萬
「トン」程ノ輸送船ガ、約六十隻程被處
デ敵ノ爲ニヤラレマシテ、之ニ乗組ン
デ居リマシタ乗組員ガ、「ガダルカナ
ル」ノ或ル一角ニ生キテ居ツタノデア
リマス、所ガ「ガダルカナル」カラ愈々
陸海軍ノ將兵ガ引揚ゲロト云フ命令ガ
出マシタ時ニ、ソレマデニ食糧ガナク
ナツテ、蠅蠅ヲ取ツタリ、蛇ヲ取ツタ
リ、木ノ根ヲ嚼シタリシテ生活ヲシテ
居ツタサウデアリマスガ、愈々最後ニ
引揚ゲルト云フ時、軍人ハ先ニ乘レト
云フ命令ダツタ、軍人ハ後ニシロト云
フ命令ノ爲ニ、此ノ船員ハ不幸ニシテ
大部分ガ置イテ來ラレタノデアリマ
ス、此ノ爲ニ生殘ツテ參リマシタ者ガ
八百人中僅カ六名デアリマス、其ノ六
名ノ生殘ツテ來マシタ船員ガ東京ニ參
リマシテ、其ノ實際ノ狀況ヲ我々ニ話
シタノヲ聽キマシタ、其ノ時ニ或ル二
名ノ船長ガ榮業失調狀態ニナツテ倒
レテ居ツタ、サウシテ若イ元氣ナ者ハ
先ニ歸ツテ呉ルト言ヒナガラ、自分ノ故
鄉ニ歸ツタラ是デケハ言傳フシテ呉
レ、孫子ノ代マデモ忘レモ間違ツテモ
自分等ノ子孫ハ海員ニシナイヤウニシ
テ呉レ、私ハ船長ニナツテ長イ間船ニ
乗ツテ國ノ爲ニ前線ニ出タガ、是ガ最
後、自分ノヤリ方ガ間違ツテ居ツタト
云フコトヲ考ヘルカラ、孫子ノ代
マデ船員ニハシテ呉レルナト、ソレガ

○田中國務大臣 承知致シマシタ
○小山(亮)委員 更ニ運輸大臣ニ伺ヒ
マスガ、只今申シマシタ戰死シマシタ
船員ノ遺家族ハ非常ナ窮乏ニ落チテ居
リマス、現役軍人ノ遺家族等ハ或ル程

度マデ救済ノ手ハ差伸ベラレマシタケ
レドモ、獨リ船員ノミニ限ツテハ、實
ニ慘憺タル狀況ニアリマス、殊ニ戰爭
ガ突然トシテ終リマシタ爲ニ、終戰後
ノ第一、第二復員省關係ニ於テハ、書
類等ヲ燒イタリ色々致シマシタ爲ニ、
海没シタ、戰死シマシタ船員等ニ對ス
ル遺家族ノ扶助其ノ他ノ手續ガ、非常
ニ困難デアルヤウニ私ハ推察致シマ
ス、隨テ第一、第二復員省ニ飽クマ
デ、之ヲ處置セヨト言ツテ追究シマ
シテモ、可ナリ私ハ困難ナ點ガアルノ
デハナイカト考ヘマス、隨テ船員問題
ハ、飽クマデ海運總局等ガ本當ニ眞劍
ニナツテ此ノ問題ヲ取上ゲテヤラナ
クレバナラヌト思ヒマス、若シ第
一、第二復員省等ニ交渉致シマシテ、
書類ガ燒カレテ居ルトカ、或ハ中々其
ノ調査ガ今デハ出來ナクナツテ居ルト
云フ現狀、是ハ無理カラヌコト考ヘ
テ、御交渉ノ上、海運總局ノ方ガ此ノ
問題ヲ引受ケテ、運賃會デアルトカ
或ハ直接船主デアルトカ、船員ヲ能ク
知ツテ居ル者等ニ連絡ヲ執リマシテ調
査ヲ進メレバ、少シ早く出來ルコト
ト考ヘマス、寧ろ此ノ際運シテ第
一、第二復員省關係ノ、船員關係ノ一
切ノ書類ハ、海運總局デアルト云フ風
ニ御措置ヲオヤリニナル方ガ私ハ良イ
ト考ヘマスガ、運輸大臣ノ御所見ハ如
何デアリマスカ

○田中國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、
左様ナ第一、第二復員省ト連絡ガド
ウ云フ風ハ行ハレマス、恐ラク實際
問題トシテ今アナタガ仰シヤツタヤ
ウナコト出テ來ルト思ヒマス、是ハ十
分考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス
○小山(亮)委員 更ニ船員ノ子弟デア
リマスガ、船員ノ子弟ハ英國連リノ例

運官デアリマス、ソレデ此ノ状況ヲド
ウカ日本ニ歸リタラバ難ト雖トニ實
情ヲ話シテ呉レト云フノガ遺言デアリ
マス、八百人中六人人生機ツテ來タ船員
ガ今日日本ニ居リマシテ、此ノ海員組合
ニ入ツテ盛シ今海員ノ爲ニ動カウト
シテ居リマスガ、之ヲ見マシテモ如何
ニ日本ノ船員ト云フモノガ、戰爭中デ
モ氣ノ毒ナ立場ニアツタカ、只今御話
シマシタヤウニ、船員ガ海上ニ於テ敵
ノ爲ニ撃沈サレナガラ、是ガ自分ノ船
ニ乗ツテ居リナカッタ云フコトノ爲
ニ靖國神社ニ其ノ英靈ガ祀ラレナカッ
ノデアリマス、澤山斯ウ云フ例ガアリ
マス、今日海上ニ動イテ居ツタ者
ガ、ソレ程ノ苦痛ヲ嘗メナガラ、而モ
日本ニ居リマシタ所ノ其ノ家族ハドウ
カ、未ダニ終戦以來何等ノ手當モナ
イ、中ニハ海軍、陸軍ノ方ニ聞合セマ
シテモ、船員共ニ何處ニ行ツタカ分ラ
ナイト言ウテ返事スラ呉レナイシ、倅
給スラ呉レナイ、而モ阪神地方ニ大勢
住シテ居リマシタソレ等家族ガ、空爆
ノ爲ニ家ハ焼カレテ居ルノデアリマス
カラ、頼ルニ頼ル所ガナイ、親フルエ
親フル所ガナイ、非常ニ口デハ言ヘナ
トヤウナ家族ガ仕事ヲシナガラ生活ヲ
シテ居ル者ガアリマス、之ニ速カニ溫
イ手ヲ差伸ベテ、サウシテ是等ノ人々
エ後顧ノ憂ヒナカラシムルヤウニス
ルコトガ、新タニ船員ニ乘ラウト云フ人
人ニ對シテ、非常ニ感激ヲ與ヘルエト
エナルト思フ、ソレバカリデハアリマ
セヌ、生キテ居リサヘスレバ其ノ子供
ハ學校ニ行カレデアリマセウ、高等
學校ヲ大學ニ通ツテ居ル子供ヲ持ツテ
居ル所ノ船員、或ハ中等學校ニヤツテ
居ル所ノ船員父ガ死シデ收入ノ途
ガ杜絶エテ、而モ陸軍ノ海軍ノ方デ尙

ホ未ダニ遺族扶助其ノ他ノ手當ヲ一年
モ二年モニナラフテモ寄越サヌト云フ現
狀デアリマスノデ、學校ヲドシノ止
メテ居ルト云フ子弟ガアリマス、其ノ
子弟ヲドウシテ學校ノ學費ヲ續ケテヤ
ルカ、是ハ實ニ重大ナコトデアル、將
來ノ日本ノ海員ガ喜ンデ出テ來ルカ出
テ來ナイカト云フコトハ、懸ツテ是ニ
アルノデアリマス、モウ軍事費モナク
ナルノデアリマスカラ、其ノ金ハ成ベ
ク英教育ト云フヤウナ方面ニ廻シテ
ヤツテ、サウシテ現ニモ角ニモ海上ニ
於テ燈塔所ノ人々ガ、其ノ魂ガ安シ
ジテ眠レルヤウニ、一ツ特別ナル御處
置ヲ運轉大臣ニシテ戴キタイ、是ハ長
イ日時ヲ置イテハ駄目ナノデアリマス
カラ、急遽ニ而モ勇斷ヲ以テヤツテ戴
キタイト考ヘマスガ、御所見ハ如何デ
アリマセウカ

○田中國務大臣 御尤モ次第デゴザ
イマシテ、戰爭前ノ戰爭中ノ時代カラ
敗戦後ト云フ只今ノ時代ニナリマシテ
ハ、無論其ノ點ハ角度ヲ變ヘ十分考
ヘテ、而モ速カニヤラナケレバナラヌ
コトト國々僭ジマス

○小山(高)委員 モウ一點何ヒマス、
終戦後ト雖モ、尙海上ニハ澤山ノ機
關アルノデアリマス、終戦後此ノ機
關ニ觸レテ船ガ運轉ヲシテ居リマス
ガ、此ノ機關ニ依ル所ノ沈没船舶モ相
當ニ多イガ、之ニ依ツテ死亡シ或ハ傷
害ヲ受ケタル者ニ對シテハ、政府トシ
テハハ戰時中ト同様ニ御取扱フナサ
ルベキガ至當ト考ヘマスガ、御所見
ハ如何デアリマスカ

○田中國務大臣 御答ヘテ申上デマ
ス、是ハ勿論仰セノ通りニ計ラツテ居
ル積リデゴザイマス

○小山(高)委員 終リマシタ

○森田委員長 山崎君、總理大臣が見
エマシタカラ……

○山崎(常)委員 私ハ質問ノ要領ガ下
手デゴザイマスノデ、其ノ點ヲ御酌取
リナサイマシテ御答ヲ願ヒタイ、斯
様ニ考ヘマス、先ツ第一、妙ナコト
ヲ御伺ヒスルヤウデアリマスケレド
モ、總理大臣ニ御懸キシタイノハ、現
時局下ニ於キマス總理大臣ハ、此ノ君
ノ下此ノ國ヲ導リテ我レ往カン、斯ウ
云フ決意ヲ御持チデゴザイマセウカ、
如何デゴザイマスカ、私ハ先ツ此ノ點
ヲ御伺ヒシテ御尋ネス入リタイ、斯様
ニ考ヘマス

○陸田國務大臣 一寸其ノ御言葉ハハ
ツキリ私ハ今御懸キシナカッタノデア
リマスガ……

○山崎(常)委員 モウ一度申上デマ
ス、此ノ君ノ下、此ノ君ノ下、此ノ國
ヲ導リテ我レ往カン

○陸田國務大臣 其ノ通りデアリマス
○山崎(常)委員 然ラバ御懸キ致シマ
ス、私共日本國ニ生ワザクル國民ト致
シマシテ 天皇ニ歸依シナイ者ハ一人
モナイト、私ハ斯ウ考ヘル、併シナガ
ラ現今ノ世情ハ如何デゴザイマセウ、
都市或ハ農村、各方面デ 天皇ハナク
トモ宜イト云フ共益主義者ノ運動ガ盛
頭シテ居リマス、又私共ノ聞ク所ニ依
リマス、最近ハ神社ノ神官或ハオ寺
ノ僧侶、斯ウ云フヤウナ人達カ隣組ノ
會合或ハ社會問題ノ會合アリニ出席
ヲ致シマシテ、 天皇陛下ハナクトモ
宜イデヤナイカ、是ハ私長多イコトデ
ゴザイマスノデ、斯ウ云フ言葉ヲ使ヒ
マスケレドモ、ソレ以上ナ不賤ナ言葉
ヲ使ツテ、色々ナ會合ガ催サレテ居ル
ト云フコトモ聞キマス、洵ニ申譯ノナ
イ次第デナイカト云フコトヲ私共ハ考

ヘマス、斯ウ云フヤウナ運動、其ノ種ノ
運動ニ對シマシテ、總理大臣ハ斷乎タ
ル處置ヲ執ルト云フヤウナコトヲ願
申サレテ居ルヤウナ風デアリマスケレ
ドモ、其ノ實績ハ私共ハ認メラレマセ
ヌ、斯ウ云フヤウナ運動ガ今後續ケラ
レテ行ク上ニ於キマシテハ、如何ナル
狀態ニナルカト云フコトハ洵ニ申譯ノ
ナイ次第デヤナイカト考ヘマス、此ノ
點ニ付キマシテ、一應總理大臣ノ御覺
悟ヲ御伺ヒシタイト考ヘマス

○陸田國務大臣 御答ヘテ申上デマ
ス、(天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ
總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行
フ)ト云フ憲法第四條ノ規定、是ハ嚴
トシテ勅令スベカラザルモノダト私ハ
存ジテ居リマス、是ハ私ノ信念デアリ
マス、之ニ反對シテ天皇ガナクテモ宜
イ、天皇制ヲ否認スルト云フヤウナ意
見ハ、是ハ國々一部分ガ持ツテ居ルカ
モ知レマセヌ、持ツテ居ル者ガアルカ
モ知レマセヌケレドモ、決シテ日本國
民ノ總マツタ數ガ代表シタモノデハナ
イ、私ハ確信致シテ居リマス、如何
ナル言論ガアリマシテモ、國民ノ多數
ハ必ズ天皇ヲ奉戴シ奉ツテ、從來ノ如
ク、忠誠ノ心ヲ發揮スルト云フノガ、
私ハ國體ヲ尊重スアリ、是ハ動カスベ
カラザルモノト解釋致シテ居リマス

○山崎(常)委員 總理大臣ノ御領義ノ
程ハ、私共今ノ御言葉ニ依リマシテ、
又本會議ノ御言葉ニ依リマシテモ御察
シスルコトガ出來ル、出來マスケレド
モ、今モ申上デマシタヤウナ工合ニ、
左様ナ運動ガ行ハレテ居ルト云フコト
ハ、總理大臣ハ部下ノ方々カラ御懸キ
ノコトデアルト思ヒマス、私共モ各方
面デ之ヲ耳ニシテ居リマス、或ハ天皇
ニ對スル所ノビラマデ、ドウデモ宜イ

シト云フヤウナビラマデ都内各所ニ
貼ラレテ居ルコトモ御存ジデゴザイマ
セウ、或ハ農村、或ハ地方都市ニ至ル
マデ此ノ演説ガ行ハレ、此ノビラガ貼
ラレテ居ル現狀ヲ御存ジデアラウト思
ヒマス、私ノ御尋ネセントシマスルノ
ハ、是等ノ此ノ種ノ運動、此ノ種ノ行
動、運動ニ對シマシテ、如何ナル方針
ヲ御執リニナルカト云フコトナノデ
ス、其ノ御尋ネセントスル所ノ御意ハ
此處ニアリマス、私共ハ直接ニハ聽ク
御モゴザイマセヌ、聽ク方法モゴザイ
マセヌガ、新田ヲ通ジテ廣く見ル所ニ
依リマス、(アメリカハ)共産主義ハ
嫌ヒダ、斯ウ言フ、洵ニ申譯ナイコト
デゴザイマスガ、日本ハ天皇アツテ
天皇ノ權威ヲ殆ドナイ、内閣總理大臣
ツテナキガ如キ現在ノ狀態、其ノ日
其ノ日ノ食糧ノ問題ニ至ルマデ、内閣ニ
頼ラウトハシナイデ、(マツカーサー)ニ
言フ、(マツカーサー)ニ斷ヘル、言葉
ノ上ノミデナクシテ、上野ノ山カラ數
萬ノ旗ヲ立テテ、(マツカーサー)司令
部ニ數額ニ行クト云フヤウナ實情モ御
存ジノコトト思ヒマス、斷ツテ又申上
デマスルガ如クニ、左様ニ天皇廢止ノ
共産主義ノ運動ガ類キトシテ——數ハ
少イト雖モ類キトシテ行ハレテ居ル、
「アメリカハ」共産主義ハ嫌ヒダ、ト官
フケレドモ、(マツカーサー)ノ治下ニ
アル日本ノ國內ニ、サウ云フ運動ガ起
サレテ居ルト云フコトニ付キマシテ
ハ、私共ハ一向ニハ合點ガ行キマセ
ヌ、(ボツダム)宣言ニ依リマシテモ、
又廣く現レマス所ノ新聞ノ或ハ場合ノ
論調ニ依リマシテモ、日本ノ天皇制ハ
國民ノ總意ニ依ルト云フヤウナコトモ
言ハレテ居リマス、私ハ斯ウ云フヤウ
ナ問題ヲ此ノ儘ニ放置シテ置キマス時

御縁成テ願ヒタイノデアリマス
○米田藝員 折角大臣ノオイデテ願ツテ居ルノデアリマスカラ、一寸御質問致シマス、實ハ現在ニ於テ下級ノ俸給生活者ハ幾ラデ月々生活ガ出来ルト政府ハ御判斷ニナツテ居リマスカ、厚生大臣モイラツシヤルノデスカラ、ハツキリシタ數字ガ御答ヘ願ヒタイと思ヒマス、總理大臣ノ御老ヘガアレバ、今度官吏ノ増俸モアルト云フコトデアリマスカラ、民間ノ融資社事業獎勵モ之ニ倣フト思ヒマス

○農田國務大臣 先程他ノ委員ノ方カラモ生活費ノ問題ニ付テ質問ガアリマシ

日時ニ御答ヘシタノデアリマスガ、今日ノ情勢ハ御承知ノ通り公定價格、閣下價格、非常ニ差ガアリ變動ガアリマス、ソレガ又場所ニ依リ時ニ依ツテ常ニ變動シテ居ルノデアリマシテ、最低生活水準ニ於テ現在幾ラ掛ルカト云フコトハ、其ノ人ガ公定價格ニ依ツテ生活ヲシテ居ルカ、又閣下物ヲドウシテモ買ハナクレバナライカニ從ヒ、家庭ノ狀況、土地ノ狀況ニ應ジテ非常ニ變ルノデアリマシテ、若シ多少チモ事實ニ

三百圓トカ四百圓トカ云フヤウナ數字
ガハツキリ常識のニモ考ヘテレルダラ
ウト思ヒマス、勿論月ニ依ツテ違フデ
セウ、今「テンポ」ガ速イ爲ニ二箇月、
三ヶ月違フダラウト思ヒマスガ、ソレ
位ノ粗ヒハ分ツテ居ル筈ナンド、是ハ
國家ガ一ツノ大キナ示唆ヲ一般國民ニ
與ヘルモノデアリ、而モ年ノ瀬ヲ控ヘ
テノコトデスカラ、民主的ノ政治ダト
仰シヤルノダカラ、是非ハツキリ言ハ
レテ宜イヂヤナイデセウカ

ル、其ノ差額ハドレダケ足ラヌカ、ツレヲドウシテ食ツテ居ルカ、斯ウ云フコトガハツキリ分ツテ居ナカタラ、一日モ仕事ハ出来ヌ管ダト思フ、強ヒテ政府全體トシテノ意思決定トシテ飛ラヌデモ、國務大臣一個ノ御考ヘトシテ折角總理大臣モ御臨席ニナツテ居ルノデスカラ、御二方ノ御見解ヲ數字デ私ハ承リタイ

○舊田國務大臣 厚生省トシテ調ベタ數字ハアリマス、其ノ數字ヲ申上ゲル

マスハソレデ國體主義者ハ國家主義者
 ダト言ハレ、殊ニ極度ニ熱心ナ者程程
 端ナ國家主義者ダト云フノデ誤解ヲ受
 ケテ居ルノデアリマス、是ハ重大ナコ
 トデアリマスノデ、私ハ申上ケズニハ
 居ラレナイノデアリマス、私ハ國體
 スウ考ヘテ居ルノデス、國體ノ精神ト
 云フコトハ「イエス」ノ道、釋迦ノ心ト
 一ツノモノデアル、皇祖聖宗ガ親心ヨ
 御説キニナツタ御仁愛ノ精神デアル、
 釋迦ノ教ト云フモノハ結局慈悲ナン

ト思フ、寧ろ今日こそ國體ヲ明徴ニシ
國體ノ道ヲ明カニスル爲ニ、全國民共
總立チニナラナケレバナラス時タト甲
フ、私ハ國體ノ精神ヲ斯樣ニ考ヘテ
リマスガ、總理大臣ノ御所見ヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○幣原國務大臣 只今御述ベニナリ
シタ御意見ハ、私ハ深キ感興ヲ以テ領
識致シマシタ、日本國民方之ニ對シテ
如何ナル反對論ガアリ又如何ナル論議
ヲ致シテ居ルニ致シマシテモ、是ハ口

即シタ數字ヲ尋ゲヨウト思ヘバ、殆ッ
クハ日本國中ノ各地ニ亙ツテ大都市、
小都市、農村、海岸、山奥、ソレム、
運ツタ生活費ヲ基礎ニシテ計算ヲシナ
ケルバナラナイト思ヒマスノデ、直接
其ノ仕事ヲ扱ツテ居ル厚生省ニ於テ
モ、一定ノ標準ヲ示スコトニ非常ナ困
難ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、併シナ
ガラ労働者ニ付ギマシテハ、略ク礦山
労働者ト工場労働者トハ、ハツキリシ
タ生活ノ立場ガ分リマスノデ、礦山勞
働者ニハ坑内デ幾ラ、坑外デ幾ラ、工

ラバサル云フ實際ニ即シテ數字ヲ作り上ゲテ、ソレヲ基準ニシテ官吏公務員等ノ依給ヲ決メ知トガ科學的デアリマス、所カ御承知ノ通りニ配給其ノ他ノ公道價格ニ依ツテ生活ヲフル場合ト、ソレカラ閣ノ物ヲ已ムヲ得ズ買フ場合、其ノ閣ノ物ヲ買フ分甚、ソレ等ノ事情ヲ標準的ニ定メルコトガ非常ニ困難ナコトハ御分リ下サルト思、其ノ邊ノ事情カラ考ヘマシテ、今回行政整理ニ伴ツテ増給ヲシナケレバナラ

タト恩フノデスガ、大體工場ハ生活費ノ水準ヲ一應取上ゲマシテ、京濱地方ハ一箇月ニ百五十圓カサレテ七十四圓程度ニ支給サシテ居リマス、ソレハ大體現在ノ生活費ト視メ合セテ出シテ居ル、サウ云フ風ニ工場トカ礦山ハ比較的生活費ノ擧ムコトガ樂デアリマス、ソレデ先程申上ゲマシタヤウニ、工場ニ付テハ何程、礦山ニ付テハ何程ト決メテ居ル申シタノデスガ、其ノ他ノ職業ニ於ケル生活費ノ水準ハ千差萬別

盡キル、私ハ日本ノ國體精神ト云フモノハ大御様威徳トカ、或ハ大御心子トカ色々表現サレテ居リマスガ、親ノ子ヲ愛スル至情ヲ以テ人類ニ臨ム、「キリスト」ノ愛ト通ズルモノデアル、同ジダ或ハソレ以上ノモノダ、其ノ道ヲ皇祖尊宗ガ御説キニナツタ、歸迦言「キリスト」ハ一代デ死ンデシマツテ其ノ血筋ガ絶エタノデアリマスガ、日本ノ甘ノ道ヲ御説キニナツタ御先祖ノ御血筋ガ今日ニ至ルマデ尙ホ續イテイラツシ

以テヤツテ居ルト云フコトモ聞イテ居ル、私ハ此ノ際ハハリ國體ノ科學的研究ヲ政府ガ御考ヘニナツテ、國體ト云フモノヲ世界ニ能ク分ラセルヤウニ、聯合國ニ能ク分ルヤウニ、又日本人ニモハツキリト分ルヤウニスル爲ニ御努力ガアリタイト思フノデアリマス、又私ト致シマシテハ、此ノ國體ヲ護ル爲ニ一番大事ナコトハ、ヤハリ宮中ガ國體ノ精神ニ徹底シテ戴カレババイカスト思フ、日本ハ天皇中心デアアル、天皇絕對、天皇中心ト云フコトヲ來テ居ル、是ガ源デアアル、此ノ宮廷勢力ガ、或ハ天子様ノ周圍ガ若シ濁濁シテ居リマスナラバ、枝葉ノ事ヲ如何ニ致シマシテモ、是ハ清マラス、日本ノ新シイ發足ニ當リマシテ、第一番ニ肅清シテ改革シナケレバナラヌコトハ、宮中ノ民主化ダト云フコトダト思フ、宮廷勢力ノ中ノ腐敗シテ居ル所デハ、國體ノ精神ニ則ルヤウニ、大膽ナル改革ヲ入レルコトガ私ハ必要ダト思フノデアリマスガ、宮中ノ民主化ト云フコトニ付テ、肅清ト云フコトニ付テ總理大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○幣原國務大臣 宮廷内ノ改革ノコトニ付キマシテハ、私ハ此ノ際何モ申上ゲルコトハアリマセヌ、是ハ私トシテ左様ナコトヲ申上ゲルベキ立場デナイト考ヘマス、併シナガラ赤尾君ガ、其ノ御信念ヲ以テ國民ニ懸ラヘラレルト云フコトハ、何等私トシテ異議ガアルベキ譯ハアリマセヌ

○赤尾委員 私ハ天皇制ト申シマスカ、國體ト申シマスカ、國體ヲ護持セシガ爲ニ命ヲ懸ケテヤツテ居ルノデアリマス、又之ニ最モ矢銳ニ對峙シテ居リマスノハ、今日共產黨ノ勢力デアリマスガ、此ノ共產黨モ油斷ガナラヌ、

相當大キナ力デアルト思フ、昔ノ共產黨ト違フテ居ル、日本ハ弱體化サレテ、政府モナイモノト同ジヤウナ狀態ナンダ、軍隊モアリマセヌシ、重大ナ尙局ニ際會シテ居ル、其ノ國體ヲ護持スル立場カラ申スノデアリマスガ、今日ノ上ノ方ノ方々ノヤリ方ト云フモノハ、國體ノ精神ニ反シテ居ル、殊ニ宮廷ニ巢食ツテ居ラレル所ノ偉人達ハ、最モ甚シク國體精神ヲ蹂躪スルモノデアアル、ダカラ敗戦ヲシタ、ダカラ共產黨モ蔓延ツテ來タ、眞先ニ國體ヲ蹂躪スル者ハ宮廷ニ巢食ツテ居ル所ノ偉人達、此ノ人達ノ重大ナル反省ヲ促サナケレバナラヌト思フ、私ノ國體觀カラ申シマスルト、天子様ハ大御親様デアリ、臣民ハ子デアアル、隨テソレハオ導運様モ一切ノ衆生ハ我ガ子ナリト仰シヤツテ居ラレル、サシテ其ノ道ヲ徹底シテ行ツテ居ラレル、敗戦ノ結果大勢ノ失業者ガ出テ來タ、是等ノ饑鬼道ニ墮ツテ居ル、地獄ニ墮ツテ居ル、食フ物ガナイ、然ルニ皇室ノ財産ガ十五億七千萬圓アルト云フコトヲ此ノ間發表ニナツタ、之ヲ此ノ饑饉ニシテ置イテ宜イデアラウカ、導運ハ持テル一切ヲ投出シテ、衆生ヲ救フ爲ニ、出家得度ヲシ、裸ニナツテ仁愛ノ道ヲ説イテ居ル、ダカラ掌ヲ合セテ拜ムノデス、

「キリスト」ガ、衣一枚ニナツテ愛ノ思想ヲ説イタ、日本モ皇祖皇宗ノ御遺訓ニ從ツテ仁愛ノ道ヲ行ズル、國體ノ精神ヲ茲ニ徹底スルト云フコトニナラナケレバナラヌ、大勢ノ赤子ガ惱ンデ居ル時ニ、大御親様ノ所ニ財産ガ十六億近クアルト云フコトガ發表サレテ居ル、是ハ臣民カラ見マスルト何カワカシナ感ジガスル、デアリマスカラ

陛下ノ周圍ニ居ル重臣諸君ハ能ク御考

ヘ下サイマシテ、私ハ皇室ノ御財産ハ此ノ際國民ト申シマスカ、戰災者ト申シマスカ、饑饉レムベキ戰地獄ノ底ニ落込シテ居ル所ノ多數ヲ御濟度遊バサレル爲ニ、御開放ナサルノガ本當デハナイカ、サウ又御願ヒラシテ戴クヤウニ御取計ヲヒ願フノガ、君ニ大忠ヲ盡ス所以カト思フノデアリマス、天子様ハ斷ジテ皇室ノ御財産ヤ、或ハ濫ヤアノ番兵ニ依ツテ守ラレテ居ル譯デハナイ、天子様ハ我々國民ノ中ニ在ル、常ニ我々ノ魂ノ中ニ生キテオイデニナリマス、皇室ハ何モ財産ハ要ラヌト思フ、サウ云フ財産ニ依ツテ守ラレ、謙ニ依ツテ守ラレ、衛兵ニ依ツテ守ラレルト云フ考ヘ方ハ、ソレハ間違ツタ考ヘ方デアツテ、國體の考ヘ方デハナイ、

ダカラ此ノ問題ハ——殊ニ甚ダシキハ今日一世ノ非難ヲ俗ビテ、聯合國カラ解體命令ヲ受ケテ居ル所ノ利潤追求ノ營利會社ノ株主皇室ガ御持チニナツテ、配當ヲ御受け遊バサレテ居ルト云フコトハ、日本ノ國體ノ本場カラ考ヘテ大ナル矛盾デス、日本國土、國民全部 陛下ノ御物ト云フ建前ニナツテ居リマスノニ、其ノ中ニ小サナ垣ヲ結ウテ、會社ノ株主御持チニナツテ配當ヲ御受け遊バサレテ居ルヤウナ考ヘ方ト云フモノハ、此ノ際私ハ宮中ノ民主主義化ト申シマスカ、國體カラ、皇祖皇宗ノ御教ヘニ徹底スル爲ニ、サウ云フコトハ此ノ際止メテ方宜イ、營利會社ノ株主ナドハ此ノ際御持チニナルコトハ御止メニナツタ方宜イ、皇室財産ノ開放ナドト云フコトモ、私ハ進シテ御願ヒスルヤウナ御取計ヒ願ヒタイト思フノデアリマス、其ノコトガ國體ヲ守ルコトニナツテ行ク、天子様ト臣民トノ間ヲ本當ニ親子ノ情ニ、親愛ノ

情ニ結び付ケテ行クコトニシナイカト思フ、オ導運様ナラキツトサウシマス、「キリスト」ナラキツトサウスルト思フ、總理大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○幣原國務大臣 皇室財産ノ處理ノコトニ付キマシテ、赤尾君ノ御意見ハ私モ承リマシタ、赤尾君ノ御意見トシテハ承リマスガ、之ニ對スル私ノ意見ト云フコトニナリマスレバ、私ハ其ノ問題ニ關シテ論議スルト云フコトハ、私トシテ出來ナイコトハ能ク御諒承ラ願ヒタイト思ヒマス

○赤尾委員 今回ノ戰爭デモサウデス、我々國民ハ區々タル重臣ヤ東條サシノ命令ニ依ツテ動イタノデハナイ、我々ノ絕對信仰ノ中心デアリマス陛下ノ御名ニ依ツテ號令ガ出タノデアリマス、ダカラ生命モ財産モ捨テテ全國民ハ戰場ニ邁イタノデアリマス、隨テ此ノ戰爭ノ責任ト云フコトニ付テモ、私ハ今茲ニ然リニ自分ノ考ヘテ居リマスルコトヲ率直ニ申述ベルコトヲ控ヘマスガ、神ノ道ガアル、國體ノ精神ニ照シ、聖訓ニ照シテ、嗟僞リガアツテハ斷ジテナラヌ、何人ト雖モサウデナケレバナラヌ、ダカラ宗教的ニ道德的ニ是ハ考據ヲ致シマシテ、考ヘテ戴キマシテ、偉イ方々ニ、オ上ノ方々ニモ御考ヘヨ願ヒマシテ、善處セラレンコトヲ私ハ草莽ノ微臣ノ真心ト致シマシテ神念スル次第デアリマス、又新聞ナド見マシテモ、長クモ 陛下ノ御退位ナドト云フコトガチヨイ、出マシ、外國ナドデモ色々サウ云フ點ガ論議サレテ居ルヤウデアリマスガ、國體ヲ護ルト云フコト、天皇制ヲ擁護シテ居ルコトトサウ云フコトハ別ノ問題デアリマスルカラ、人間ハ退ク

ベキ時ハ退カケレバナラヌ、退クコトガ守ルコトニナリ、退クコトガ勝ツコトニナリ、ワ國體ノ大義ヲ明カニスルコトニモ相成ルト思フノデアリマス、ダカラ宮中ノ側近ノ偉人達カ、目覺メテ、悔ヒ改メテ禮成ヒワシテ出直シテ戴クト同時ニ、私ハオ上ニモ眞理ニ基イテ、此ノ難局ヲ突破スル爲ニ宜シク御取計ヲヒヨ御願ヒシタイト思フノデアリマス、我々ト致シマシテハ陛下ニ申上ゲル途ガアリマセヌ、嘉ガレテ居ル、我々ハ共產主義ト戰ツテ、居ル、何時殺サレルカモ知レヌ、サウシテ 天皇陛下ヲ護ツテ居ル、其ノ護ツテ居ル我々ガ 天子様ニ手紙ヲ差上ゲルコトモ、勿論會フコトモ出來ヌ、意見ヲ申述ベルコトモ出來ヌ、陛下ニ本當ノコトヲ申述ベヨウト思フテマシマツテ、決シテ通ジナイ、途ハ非常ニ狭イ、コンナ不自然ナ話ハナイ、天子様ハ大御親ダト思フテ居ル、我々ハ心カラ子ガ親ニ意見ヲ申述ベル途ヲ與ヘラレテ居ナイ、而モ國體ガ危存亡ノ秋ニ於テ尙ホ然リ、ダカラ私ハ今日斯ウ云フコトヲ申上ゲル積リデハナカツタノダガ總理大臣ノ御見テ、又前ノ委員ガ國體ノコトヲ御話ニナリマシタノデ、ツイ申上ゲズニ居レヌ氣持ユナツテ申上ゲルノデアリマスガ、私ト致シマシテハ斯ウ云フ機會デ是ダケノ話モ實ハシタナイノダ、併シサウシナケレバ通ズル途ガナイノデス、何トモ彼トモ仕様ガナイ、斯ウ云フ點ヲ一應御考慮願ヒマシテ、我々ノ氣持ガ天子様ニ通ズルコトノ出來ルヤウニ途ヲ御開キ願ヒタイ、至急願ヒタイ、明日ニデモ私ガ天子様ニ御目ニ掛ルコトノ出來ルヤウニ途ヲ御計ラヒテ願ヒタ

イト思フ、何ト云フコトデスカ、外國ノ新聞記者ニ御會ヒ下サツテ、生命ヲ賭ケテ日本ノ國家主義ノ爲メ、日本國體ヲ擁護スル爲ニ、天皇制ヲ護持スル爲ニ戰ツテ居ル我々ハ近付クコトモ出來ナイ、手紙ヲ差上グルコトモ、御目ニ掛ルコトモ出來ナイ、悲シイコトデハアリマセヌカ、サウシテ此處デ言ウテ宜シイカ、惡イカ知ラント思フヤウナコトヲ言ハザルヲ得ナイノデス、ソレ程ハ大軍大ナ秋デス、甘ク考ヘテ居ツテハイケマセヌデス、戰爭ダツテサウデセウ、誰ニ敗ケルト思フテヤツタモハナイソレガ敗ケタ、「ロシヤ」ガ出來タコトダツテ皆歸サレテ居ル、ダカラ一度共產黨ノ問題ニナレバ、私ハ總理大臣ノ演說中デアラウト、外務大臣ノ演說中デアラウト、馬鹿、貴様達ハ歸サレテ居ルノダト言ツテ居ツタ、其ノ通り出タダヤアリマセヌカ、出ルカ出ヌカト云フコトヲ政府ノ人モ、軍ノ人モ、外務省ノ人モ誰モ言ツテ居ラヌ、ソレト同ジヤウニ國體ハ是ハ中々危險ナ所ニ來テ居ル、ダカラ眞劍ニ考ヘテ、小サナ忠義ノ問題デナク、大忠ニ行カナケレバナラス時ガ來テ居ルト思フノデアリマス、此ノ邊モ總理大臣能ク御承知下サイマシテ、私ガ申上ゲルマデモナクドウカ御着處ヲ御願ヒシタイ、殊ニ我々臣民ト 陛下トノ間ニ途ヲ開イテ戴キタイ、モット何トカ親シク御言葉ヲ戴ケタリ、或ハ我々ガ考ヘテ居リマスルコトヲバ申述ベルヤウナ機會ヲモ與ヘテ戴ケルト云ツタヤウナ途ヲ一ツ御開キ下サルヤウニ、總理大臣ノ御努力ヲ願ヒタイト思フノデスガ、如何デセウカ

○幣原國務大臣 只今申シマシタ如ク、ソレハ赤尾君ノ御意見トシテ私ハ

承ツテ置キマス

○赤尾委員 ソレデハ勞働組合法案ノコトニ關聯シテ御尋ね戴シマスガ、此ノ法案ヲ見マスルト、唯組合ト云フ容レ物ヲ作ルダケデ、之ニ日本の性格——私カラ申シマスルト、國體主義的ナ性格ガチツトモ出テ居ナイ、是ナラ共產黨ノ連中ガ之ヲ踏臺ニシテ組合ヲ作ラウト、無政府主義者ガ作ラウト宜イノデ、亂雜ナコトニナツテシマフ、「ソヴィエト」ノ勞働組合ハ赤色勞働組合ト云ハレテ居ル、共產主義ノ指導原理ノ下ニ統一サレテ勞働組合ガ結成サレテ居ル、「ドイツ」ハ亡ビマシタケレドモ、「ナチス」ノ勞働組合ハ「ナチス」ノ指導精神デ統一サレテ居ツタ、然ルニ日本ノ國體ノ下ニ勞働組合ガ出來ルガナイ、佛造ツテ魂ガ入レテナイ、無責任極マル、而モ思想皆迷ノ時代ニ政府ハ一體考ヘガナイノカ、馬鹿ナノカ、無精神ナノカト云フコトニナル、何ト云フ無責任ナコトカ、勝手ニ勞働組合デケ作ツテ勝手ニ暴レ放題暴レラヌト思フ、何トカ國體ヲ護持シ、日本ノ良イ所ヲ世界ニ發揚スル、其ノコトニ寄與スルコトガ勞働者ノ幸福ノ根源ニモナリマスノデ、勞働組合法案ノ中ニ日本の性格——日本の性格ト申シマス、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、最初申シマシタヤウナ國體觀ニ基ク何カ特殊性ヲ「ソヴィエト」ノ勞働組合ナドヲ見マシテモ、其ノコトハ相當ハツキリシテ居リマス、サウ云フヤウナ要素ヲバ少シ含メテ戴キタイ、斯ウ實ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ今後民主主義ノ運動ト申シマスルト、此ノ儘ノ所デハ社會主義ヲ共產主義デケガ民

主主義ノ運動ノヤウナ顔ヲシテ威張ツテ居ツタ、國家主義ナシカト云フヤウナモノハ九デ問題ニナラヌ、非常ナ誤解ヲサレテ居ル、何ヲ生意氣ヲコトヲ言ツテ居ルト私共ハ思ツテ居マス、日本ノ國家主義——此ノコトニ付テモ總理大臣ニ伺ヒタイ、聯合國デハ極端ナル國家主義者ヲ指スルト云フヤウナコトヲ言フテ居リマスガ、一體極端ナル國家主義トハドウ云フコトカ、私ハ日本ノ國家主義ハ何處ノ國ニモアル國家主義トハ違フ、ソレハ日本ノ國家主義ニモ色々アリマセウガ、純粹ナ日本ノ國家主義ハ日本ノ國體主義ナシテ、日本ノ皇道精神主義ナシテ、此ノ皇道精神ヲ護持スル爲ニ熱心ナル者ガ、極端ナル國家主義者ト云フテ割セラレコトニナツタラ、日本ノ國體ハ毀滅シテシマフ、ダカラ聯合國ノ言フ極端ナル國家主義ト云フコトハ一體ドウ云フコトナノカ、私ニハ實ハ能ク分ラヌ、ソレデ下手ヲシマスと我々ガ其ノ極端ナル國家主義者ダト云フヤウニ何時モ仲間ニ入レラレシマフ、飛ンデモナイ話デ、忠義ヲ盡ス者程極端ナル國家主義者トシテ首ニナルト云フヤウナコトデハ、ソレハ大變ナコトニ相成ツテ來ルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、極端ナル國家主義ト云フコトニ付テ、總理大臣ハドウ御考ヘニナツテ居ラシヤイマスカ

○幣原國務大臣 サウ云フ問題ニ付キマシテ、學理的ノ科學的ノ解釋ヲ與ヘルト云フコトハ、中々困難ナコトデアラウト思ヒマス、唯常識的ニ考ヘマシテ、極端ナル國家主義ト云フノハ「ファッショ」デアルトカ、「ナチ」トカ云フヤウナモノヲ頭ニ置イテ舊イテ規定デアラウト私ハ思ツテ解釋シテ居リマス

○赤尾委員 所ガ聯合國ハ日本ノ國情ヲ能ク知ラナイデ、逮捕命令ガ最初來マシタ時ニモ、死シマツテ居ナイ中野正剛サンヤ、内田良平サンニ逮捕命令ガ來タ、是レ日本ノ國情ハ知ラナイ、又一方爲ニセントスル政治謀略ガアリマシテ、中傷ハル奴ガ澤山アル、ソシテ眞ニ日本ノ國家ノ爲ニナル、日本ノ國體ヲ護持スル、此ノ日本ノ精華ト云ハレベキ要素ヲ持ツヤウナ人々ヲモ、極端ナル國家主義デ、「ファッショ」ダト惡意傳シ中傷シテ、之ヲ聯合國ノ手ニ依ツテ始メシヨウト云フヤウナ傾向モ見受ケラレルノデアリマスガ、政府ハ日本ノ國家主義運動トカ、或ハ國家主義ニ付テ色々アル、併シ本當ノ純正ナル日本ノ國家主義ト云フモノハ斯ウ云フモノデアツテ、聯合國ガ誤解シテ居ルヤウナ軍國主義ヤ、帝國主義ヤ、侵略主義デハナイ、道義主義デ、宗教的ナ深サヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、日本ノ國體ヲ能ク御説キニナツテ、日本ノ純眞ナル、眞面目ナル國家主義ヲバ守ツテ行クト云フ御態度ヲ一ツ御執リ願ヒタイ、サウデナイト聯合國ニ誤解ヲサレテ行ツテシマフ、是ハ相當大事ナコトダト思フノデスガ、總理大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○幣原國務大臣 是モ私先刻度々申シマシタ如ク、赤尾君ノ私ニ對スル御希望デアラウト思フノデアリマスガ、ソレハ御意見トシテ承ツテ置クト申シスカ、私ハ外ニ御答ヘ申スコトハナイノデアリマス

○赤尾委員 ソレデハ總理大臣ニ御尋ねスルコトハ是デ止メマシテ、厚生大臣ニ一寸御伺ヒシマス、勞働者ノ指導方針ニ付テ何カ御計畫ガアツテモ宜

インヂヤナイカ、勞働組合ヲ作リ、今後ノ勞働者ヲ導イテ行ク上ニ於テ、其ノ邊ハ放ツテ置イテ宜イモノカ、或ハ何カ日本の民主主義ヲ確立スルカ、大成スル指導方針ト云フヤウナモノヲ、ハツキリシナイイマデモ何トカ御定メニナツテ、御努力ヲナサルト云フ風ニナサルノガ宜インヂヤナイカ、唯放ツテ置イタシテハ餘リ無責任デヤナイカト思フノデスガ、其ノ邊何カ御考ヘガナイデセウカ

○青田國務大臣 現狀ニ照シテ見テ、赤尾君ガサウ云フ心配ヲ感ジラレルコトハ能ク理解ガ出來マス、併シナガラ政府ノ方針トシテ勞働階級ヲ指導スルト云フ行キ方ガ、果シテアノ人達ノ氣持ニソグフヤリ方デアルカドウカ、殊ニ從來ノ政府並ニ官僚ニ對スル反感ガ相當強イ際ニ、又シテモ役所ガ旗ヲ振ツテ右向ケ左向ケト言フノガ、果シテ效果アル教育方針デアルカト云フコトモ篤ク考ヘナケレバナラヌト思フ、サウ云フ問題ハ寧ろ社會教育トカ、學校教育トカ、或ハ勞働組合内ニ出來上ル修養團體トカニ中心ヲ置イテ切磋琢磨サセルコトノ方が、近代ノ傾向カラ言ツテ效果ガ舉ルノデアナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○赤尾委員 ソレデヤ濟ミマシタ

○添田委員長 逢澤君

○逢澤委員 大分時間ガ過クナリマシタノデ、私ハ簡單ニ御尋ね戴シマス、失業對策ニ付キマシテ先程厚生大臣カラ抽象的ナ御答ヘガアリマシタノデ、大體私ハソレデ諒承スルノデアリマスガ、其ノ對策ノ根本方針ニ付テモウ少シク詳細ニ承リタイト思フノデアリマス、ソレハ「ボツダム」宣言ヲ忠實ニ履行スルト云フコトニナリマス、總テ

ノ國民ノ仕事ノ分野ト云フモノガ國內ニ限ラレシマフ、ソレニ加ヘマシテ、在外ノ邦人、在外ノ復員軍人ナドガ歸ツテ參リマスカラ、ソレ等ニ對スル食糧關係ノモノ、即チ農村ニ對スル人口ノ配置ヲ如何ニスルカ、更ニ國內産業、生産方面ノ分野ヲ如何ニスルカト云フコトデ、大體其ノ見透シガ厚生省ニハアルト思フ、其ノ見透シガアリマセヌト、失業對策ヲアルト云ツテ見マシテモ、是ハ極メテ抽象的ニナツテ來ルト思ヒマス、若シサウシタ大體ノ日本ノ人口ノ配置ト云フモノハドウ云フヤウナ方法ニ依ツテ今後ヤルカ、斯ウ云フヤウナコトニ付テ何カ數字ヲ擧ゲタモノガアリマシタラ、一ツ御教ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○青田國務大臣 只今ノ御質問ハ誰シモ正確ニ答ヘタイト思ツテ居ル點デアリマシテ、而モ之ヲ今日直グニ具體的ニ案ヲ立テルコトニ於テ困難ヲ感ジテ居ル點デアルト思ヒマス、失業對策ト人口政策、此ノ二ツハ格ニ合ツタ問題デアリマス、隨テ人口政策ハ今後一層日本ノ將來ノ歩ムベキ道ト見合セテ、シツカリシタモノヲ立テナクテハナラヌト思ヒマス、其ノ點ニ付テハ既ニ調査ヲ始メテ居リマス、御承知ノ通り從來ノ人口問題研究所ト云フノハ、戰時ノ要請ニ應ジテ、産メヨ殖ヤセノ一本デヤツテ來タ、然ルニ終戰ト同時ニ、從來ノ行キ方デハ問題ノ解決方付カナイト云フノデ、更ニ再檢討ヲシナケレバナラナイ、隨テ今後ノ人口政策ハドウ云フ途デ行カナクチャナラヌカ、折角今研究ヲ始メテ居リマス、ソレニ付ツテ必要ナノハ、我が國全體ノ國土計畫、産業ヲ如何ニ再編成スベキカ、農村人口ヲドウスベキカト云ツタヤウナ廣

イ問題デアリマス、一面又今御話ノ失業問題ガ、至急解決シナケレバナラヌ重要ナ案件ニナツテ居リマス、私ト致シマシテハ、主トシテ失業對策ニ付テス、御答ヘテ致シタイト思フノデスガ、此ノ問題ハ本會議ニ於テモ既ニ論ジラレ、又其ノ他ノ委員會ニ於テモ論ジラレタコトデアリマスカラ、餘リ詳シク御答ヘテスルコトハ避ケタイト思ヒマサガ、第一ニハ目標ハドウシテモ完全履修、總テノ人ニ職業ヲ與ヘルコトガ最モ完全ナ失業對策デアルコトハ申スマデモアリマセヌ、併シナガラ若シ今後ノ失業ガ數百萬ノ多キニ上ル如キ場合ニ、果シテ完全履修ト云フソレデケノ職ガ與ヘラレルカ、サウ云フ場合ニハドウ始メシテ行クカ、或ル部分ハ失業保險モ考ヘラレマセウ、又或ル場合ニハ失業手当一時救済スルコトモ考ヘラレマセウ、併シナガラ是ハ專ラ日本ノ國力、經濟力ニ對應スル程度ニシカ實行出來ヌデアリマス、トハ言ヘ職ニアブレテ衣食ニ窮スルモノヲウツチヤツテ置ク譯ニハ行キマセヌ、ソコデ貧窮階級ニ向ツテ救護事業ヲ行ヒ、之ニ衣食ニ必要ナル物資ヲ配分スルトカ、或ハ住宅ノ一定ノ場所ニ收容スルトカ云フ救済制度ヲ一現狀ノ儘デハ極メテ不完全デアリマスカラ、出來ルデケ強化擴充シテ行カナケレバナラヌ、之ニ付テハ先程小山君ノ御質問ニ對シテモ答ヘマシタ通り、最近ニ案ヲ立テマシテ、恐ラク明日ノ閣議デ一應ノ決定ヲ致スコトニナルト思ヒマサガ、相當ノ金額ヲ以テ是等ノ洵ニ氣ノ毒ナ惠メレナイ人々ニ、出來ルデケノ救護ヲ與ヘテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○逋澤委員 厚生大臣ノ御考ヘニナツ

テ居リマスコトハ洵ニ結構デアリマス、併シ只今御答辯ニナリマシタ通りデアルト致シマスレバ、極メテ御考ヘ方ガ消極的デアルト思フノデアリマデス、私ハ此ノ大國難ニ處シテ人口問題ヲ解決シ、サウシテ非常ニ溢レテ參リマシ失業ガ處理シテ行キマスニハ、消極的方面ト更ニ積極的ニ、是等ノ人々ニ今後如何ナル仕事ヲ與ヘルカ、如何ナル技術ヲ施シテ再教育ヲシテ、如何ナル分野ニ之ヲ配置スルカ、斯ウシタ積極的ノ御考ヘ方ヲ私ハ非常ニ要望スル者デアリノデアリマス、例ヘテ申シマス、今後員ノ方々ニ致シマシテモ、一ツノ技能ヲ持ツテ居ナイ、技術ヲ持ツテ居ナイ、若シ技術ガアリトスレバ受入態勢ハ幾ラデモアル、併シナガラ遺憾ナガラ技術ガナイ、技能ガナイ故ニ失業スルノダ、斯ウ云フ人々ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ特ニ厚生大臣ハ一番御承知ノコトデアラウト思ヒマス、若シ斯様ナ人々ガ技能ガアル、例ヘテ申シマスレバ大工ダトカ、或ハ左官ダトカ云フ技能ガアルト致シマスレバ、此ノ程度ノ實行ヲスルコトハ簡單ニ出來ル、而モ失業スルコトナシニ、片方ニハ復興モ出來、片方ニハ直チニ其ノ技能ガ生キテ來ルト思ヒマス、併シナガラ遺憾ナガラサウシタ技能ヲ持タヌ、技術ヲ持タヌカラ、サウシタ失業群ニ陥ルコトニナルト思フ、此ノ故ニ私ハ一面消極的ニ救済ヲスルト同時ニ、大キナサウシタ積極的ナ方面ニ投ゼラレル金ガアレバ、積極的ニ半バツ割イテ技能ノ再教育ヲ施ス、斯ウ云フヤウナ方面ニ對シテ施設ヲアルト云フ御考ヘ方ガアルカ、今サウ云フヤウナ準備ヲ進メテ居ラレルコトガ若シモアリマスレバ

承リタイト思ヒマス

○青田國務大臣 只今ノ御意見ハ至極御尤モデアリマシテ、其ノ通りデアリマス、御承知ノ通り復員者ノ數ハ相當數ニ上リマスカラ、陸海軍ニ於キマシテモ軍人補導會ト云フモノヲ作シテ、相當大規模ノ職業教育ヲスル計畫ヲ持ツテ居リマシタガ、不幸ニシテ此ノ補導會ハ事業ヲ始メルニ至ラズシテ、進駐軍ノ命令ニ依ツテ解散サレマシタ、併シナガラ單ニ復員軍人バカリデハナシ、街ニ溢レテ居ル失業者ニ於テモ、職業教育ヲ施スベキ必要ノアル人ハ相當多數ニ上ツテ居リマス關係上、是等ノ事業ヲ擧ゲテ厚生省ノ手ニ移スコトニ致シマシテ、マダ確定ハ致シテ居リマセヌガ、却テ御覽キニナル位ノ經費ヲ以テ職業教育ヲ始メルコトニ今案ヲ立テテ居リマス、一例ヲ申セバ全國デ要求サレテ居ル大工ノ數ハ約二十萬ダト云フコトデアリマス、二十萬ノ大工ヲ養成スルト致シマシテモ、第一之ヲ收容スル場所、之ニ充ガフ木材、大工ノ教師匠サン、大工道具、之ヲ揃ヘテ掛ラナケレバ計畫ハ實現出來ナイノデアリマスカラ、現在ノ問題トシテドノ位教師匠サンガアルカ、ドノ位大工道具ガアルカト云フコトモ、只今調査中デアリマス、農業部面ニ於テモ、農業教育與ヘルニハヤリ施設ガナケレバ之ヲ收容スルコトモ出來マセヌ、水産方面亦然リ、各方面ノ工場モ同様デアリマス、一々ニ當ツテ此ノ工場ニ於テハドノ位ノ徒弟ヲ世話シテ具體ニカト云フコトモ、當ツテ見ナケレバ具體案ハ立タナイノデアリマス、サウ云フコトヲ目下熱心ニ交渉サセテ居リマス、速カラズ具體的ノ案ガ實行出來ルト思ヒマスガ、是ハ差當ツテ新ナナル豫算

ヲ必要トシナイノデアリマス、ソレニ必要ナ金ハ既ニ準備シテアリマスカラ、新規ニ議會ノ協賛ヲ經ル必要ハアリマセヌガ、御話ノ通り計畫ヲ相當大規模ニ立テテ居ル所デアリマス、恐ラク年内ニハ其ノ計畫ノ全貌ヲ發表スルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○逋澤委員 洵ニ劃切ナル計畫ガアルコトヲ聽キマシテ、非常ニ喜ビトスル者デアリマス、是ハ一寸簡單ニ御尋不致シマス、新聞デ拜承シタコトデハツキリシタコトハ分ラヌノデアリマサガ、從來ノ補助政策ハ之ヲ一應打切ツテシマフノダ、「マツカーサー」司令部ハサウ云フヤウナ指令ヲヤツテ居ルノダ、斯ウ云フコトヲ傳ヘテ居リマスガ、是ハ無論一律ニ補助政策ヲ打切ルト云フコトハナイト思ヒマスガ、從來厚生省ガヤツテ居リマシタ補助政策ノ中デ、打切ラレルトスレバドウ云フヤウナモノガ打切ラレマスカラ、分リマスレバ簡單ニ承リタイト思ヒマス

○青田國務大臣 既ニ御承知ノ通り政府ノ補助ト云フモノハ、各方面ニ互ツテ非常ナ煩雜ナモノデアリマス、小サナ村役場デモ補助費ノ數ガ何十ト來ル、而モ其ノ補助費タルヤ小サイモノハ三圓五十錢、十五圓ト云ツタヤウナ補助費ガ數々參ツテ、是ノ整理ヲスルノデケデモ煩ニ堪ヘナイ實情ハ、恐ラク御承知ノコトト思ヒマス、厚生省ノ管轄内ニ於テモ各方面ニ補助ガ出テ居ガ、其ノ中サドウシテモ將來維持シテ行カナクテハナラヌ補助モアリ、モノニ依ツテハ一層増加シナケレバナラヌモノモアリマスガ、併シ今日ノ國情ニ顧ミテ、出來ルデケ是等ノ補助ヲ整理シテ、煩瑣ナ手續ガナク實效ノ舉ルヤ

ウナモノニ集中シタイト考ヘテ居リマス、若シ必要トアラバソレ等ノモノヲ後日此ノ委員會ノ閉會後ニデモ、御手許ニ差出スコトニ致シマス

○達澤委員 終戦後民主政治ヲ實行スル上ニ於キマシテ、厚生省關係ノ凡ユル勞務統制規定ヲ撤廢セラレト云フコトハ、是ハ洵ニ當然ノコトデアリト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ勞働規定ヲ取外ス爲ニ、現下ノ非常ナ難局ニ際シマシテ無理ガ起ツテ來テ居ル、ソレガ爲ニ國務ノ遂行ガ出來ナイ、國內情勢ガ非常ニ不安ニ陥ツテ居ル、斯ウ云フヤウナコトガアルト思フノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ聞ク所ニ依リマスルト、是ハ「マツカール」司令部カラノ色々ノ指令ニ依ツテヤツテ居ルモノデカラ、遺憾ナガラ斯クモシナケレバナラヌノダ、實ハ是ハ困ルノダ、斯ウ云フヤウナ話モ聞クノデアリマス、私共ガ議會人トシテ見テ居リマシテモ、サウ云フコトガ段々見エルノデアリマス、ソレハ交通ノ問題ニシマシテモ、先程色々論議セラレマシタ石炭ノ事情ニシマシテモ、數ヘテ來マスレバ幾多ノ數ガアリマス、又只今復興院カラ見エテ居リマス松村サシモ御承知デアリマセウガ、是ハ復興院ノ關係モアリマスガ、假設住宅ノ問題モアリマス、是等モノツニハ技術ガ足ラヌト云ヒマスガ、其ノ根本ヲ習ヒマスト材木ガ足りナイ、木材ガ足りナイ、ナゼ足りナイカト云フト輸送力ガナイ、輸送力ハドウシテナイカト云フト人ガナイ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ原因ハ多クガ人ノ問題ニ禍ヒサレテ來テ居ルト思ヒマス、是ハ凡ユル統制ヲ一遍ニ外シテシマツタ、斯ウ云フヤウナ所カラサウ云フコトガ起ツテ來

ルト思フノデスガ、之ニ對シテ厚生省ハ、「マツカール」司令部ノ要求ニ依レバ何事モ默々トシテ其ノ儘態ジテ居ル、或ハ之ニ對シテハ斯クノノ事情デアル、日本ノ勞務階級ガ斯ウ云フヤウナ性格ヲ持ツテ居ルノデカラ、之ニ對シテモ斯クヤラナケレバイカナイト云フ事情ヲ能ク話サレマシタ結果、斯ウ云フコトニナツテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、私ハ非常ニ不安ヲ持ツテ居ルノデアリマス、若シ此ノ事情ヲ話シテモ尙且ツ「マツカール」司令部ガ之ヲヤラナケレバイカヌト云フヤウニ仰セラレルノデアリマスルカ、此ノ點ニ付キマシテ一應御伺ヒ致シテ見タイト思ヒマス

○高橋政府委員 勞務統制ノ改廢其ノ他ヤル場合ニ、「マツカール」司令部トノ關係交渉ノ點ノ御質問デアリマスガ、或ル指令ノ出ントスル場合、或ハ出タ場合、日本國ノ事情ヲ知ラザルガ故ニ斯様ナ指令ガ出ントスルノデハナイカト云フ風ニ思ハレタ場合ニ於キマシテハ、或ハ終戦連絡事務局ヲ通ジ、或ハ厚生省直接係リノ方ニ參リマシテ、巨細ニ力ヲ極メテ話合ヒラシテ居リマス、サウシテ能ク事情ヲ話シタ結果、向フガ諒解シテサウシテ直スト云フ風ナコトト、色々ノ事情ヲ話シタ結果、最後ニ意見ガ分ツテ向フノ命ニ從フト云フコトモアリマス、何レニシテモ厚生省勞務關係ノ法規ヲ動カス場合ニ於テハ、力ヲ極メテ事情ノ説明ニ當ツテ居ルト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○達澤委員 前同勞務報國會ヲ解散シ、更ニソレニ續イテ勞務協會ト云フモノヲ作ラレタノデアリマスガ、其ノ勞務協會モ一昨日本議會ニ於ケル大臣

ノ説明ヲ聴キマス、是モ近ク解散スルガ、サウ云フヤウニヤツテ尙且ツ先聖御導ニ致シマシタヤウニ國內ノ諸事情、諸般ノ勞務狀態ガウマク行クヤウナ見透シデアリマスルカ、其ノ見透シニ付テ一應御導ニ致シテ見タイト思ヒマス

○青田國務大臣 今日勞務ヲ得ルコトノ困難ナノハ、必ズシモ勞務供出ノ組織ノ問題ガ主トナツテ居ルモノデハナハ、主タル問題ハヤハリ食糧、其ノ他ノ資材、サウ云フコトガ原因ヲナシテ居ルノデアリマス、勞務協會ヲ解散シテ、之ニ代フルニ主トシテ日僱勞務者ノ職業斡旋ニ當ルベキ機關ヲ全國各地ニ設ケマシテ、從來ノ勞務協會ノ支部ニ代ルヤウナモノヲ置キ、其ノ他必要ナル箇所ニ機關ヲ設ケタイ、斯ウ云フ考ヘ方ガ現在進行中デアリマス、尙ホ勞務協會ニ付キマシテハ色々考ヘマシタ結果、之ヲ解散スルコトニ決定致シタノデアリマス

○達澤委員 進駐軍ニ對スル勞務ノ供給ナドニ付キマシテモ、各府縣トモ相當困難ヲ感ジテ居ルト思フ、是ハ其ノ自由ナノ其ノ儘ニシテ置キマス、先程モ斷片的ナ話ガアツタヤウデアリマスガ、巷ニアル勞働ニ堪ヘナイヤウナ頭ヲ擱ヘテ、詰リ頭數ダケ擱ヘテ行クモノデカラ能率ガ上ラヌ、隨テ進駐軍ノ方々カラ見ルト、日本ノ勞働者ハサツバリ詰ラヌデヤナイカ、何モ仕事ニハナラヌデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ非難ヲ受ケル場合ガ多ク、ソレハ何故サウナルカト云ヒマス、結局適當ナ人材ヲ其處ニ供給シナイ、適材ヲ出サナイカラサウ云フヤウナ結果ニナル、ソレデ日本全體ノ自由勞務者ノ信頼ヲ

落ス斯ウ云フヤウニナル處ガ非常ニ多イト思フ、ソレハ結局何カ適當ナ機關ヲ通ジテ出ス所ニ、サウシタコトガ満足ニ行クヤウナ供出方法ガ出來ルト思フノデアリマス、之ヲ自由ニ致シマスルト、其處ニ誰デモ引ツ張ツテ來ル、頭數サヘ擱ヘバ宜イト云フヤウナ處ガアルト思フノデアリマスガ、今後聯合軍ニ對シテ我が國ノ勞務界ノ信用ヲ維持シテ行ク上ニ付キマシテモ、何カノ機關、相當信頼シ得ル所ノ機關ヲ通ジテ出シマセト、益々其ノ傾向ガ私ハ多クナルコトヲ恐慮スル者デアリマスルガ、之ニ對シテ何カ御考ヘガアリマシタラ拜承致シタイト思ヒマス

○青田國務大臣 只今ノ御質問ハ、主トシテ日僱勞務者ノコトデアラウト思ヒマス、其ノ點ハ御話ノ通りニ勞務者ノ素質ヲ良クスルコト、又良キ勞務者ヲ集メルコト、何レモ極メテ重要ナ問題デアリマス、心配致シテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り今日ハ過渡期デアリマシテ、從來ノ強權ナヤリ方カラ、出來ルダケ自發的ノ勤勞意欲ヲ昂揚シテ能率ヲ上げテ行カウト云フ時代ニ移ル最中デアリマシテ、豫期ノ如キ成績ヲ擧ゲルコトガ出來ナイ部門ガ相當アツタト思ヒマス、併シ今御話ノ御意見ハ私共能ク諒解致シテ居リマス、新シク勞務協會ニ代ツテ出來ル日僱勞働者ノ勤勞意欲ニ付キマシテハ、經驗ノアル有能ナ人間ヲ之ニ配置シテ、必要ナ勞務供給ニ萬全ノ策ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○達澤委員 過渡期ノ便法トシマシテ、適當ナ、我が國勞働界ノ信用ヲ維持スルニ足ル供出ノ出來ルヤウナ方法ヲ講ジテオヤリニナルコトガ、國家ノ

爲ニ非常ニ必要デト思ヒマスカラ、サウ云フヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○松村政府委員 假設住宅三十萬戸ノ計畫ヲ致シタノデアリマスガ、是ハ山元其ノ他材所等ニ於キマシテ大量のニ製材ヲシテ、ソレヲ簡易ニ組立アルト云フ方式デ、大量生産ノ方法ヲ執ツテヤラウト云フコトデヤツタノデアリマス、所ガ終戦後ノ各種ノ事情カラ木材ノ供出モ非常ニ惡クナリ、又食糧事情等ノ爲ニ勞務ノ方ガ中々皆ク參リマセヌ、又製材所等ガ方ヘバ東京都ニ於キマシテハ殆ド焼ケテシマツタト云フヤウナ狀況デアリマシテ、製材ノ能力ニモ意ノ如ク行カナイモノガ多クツタノデアリマス、又此ノ三十萬戸ノ計畫ハ、住宅營團其ノ他府縣市町村等ニ於テモ之ヲ行フコトニ相成ツテ居ツタノデアリマスルガ、是等ノ機關ガ山元或ハ簡易住宅ノ材料ヲ切込ニマル場所トノ連絡ガ惡カツタト云フコトモアリマス、又或ハ山元ニハ澤山製材シタ、而モ切込組立住宅ガ出來タケレドモ、鐵道輸送ガ皆ク行カナイ、或ハ船舶ノ輸送ガ皆ク參リマセヌ爲ニ積ンデ

爲ニ非常ニ必要デト思ヒマスカラ、サウ云フヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○松村政府委員 假設住宅三十萬戸ノ計畫ヲ致シタノデアリマスガ、是ハ山元其ノ他材所等ニ於キマシテ大量のニ製材ヲシテ、ソレヲ簡易ニ組立アルト云フ方式デ、大量生産ノ方法ヲ執ツテヤラウト云フコトデヤツタノデアリマス、所ガ終戦後ノ各種ノ事情カラ木材ノ供出モ非常ニ惡クナリ、又食糧事情等ノ爲ニ勞務ノ方ガ中々皆ク參リマセヌ、又製材所等ガ方ヘバ東京都ニ於キマシテハ殆ド焼ケテシマツタト云フヤウナ狀況デアリマシテ、製材ノ能力ニモ意ノ如ク行カナイモノガ多クツタノデアリマス、又此ノ三十萬戸ノ計畫ハ、住宅營團其ノ他府縣市町村等ニ於テモ之ヲ行フコトニ相成ツテ居ツタノデアリマスルガ、是等ノ機關ガ山元或ハ簡易住宅ノ材料ヲ切込ニマル場所トノ連絡ガ惡カツタト云フコトモアリマス、又或ハ山元ニハ澤山製材シタ、而モ切込組立住宅ガ出來タケレドモ、鐵道輸送ガ皆ク行カナイ、或ハ船舶ノ輸送ガ皆ク參リマセヌ爲ニ積ンデ

爲ニ非常ニ必要デト思ヒマスカラ、サウ云フヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス

爲ニ非常ニ必要デト思ヒマスカラ、サウ云フヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス

仕舞ツテアルト云フヤウナモノモゴザ
イマス、只今デモ北海道等ニ於キマシ
テハ、相當ノ切込ミヲシテ組立住宅ガ
アルノデアリマスルガ、船舶等ノ關係
デ之ヲ東京ニ持ツテ來ルコトガ困難ダ
ト云フコトノ爲メ、空シクマダ工場ニ
アルト云フヤウナ狀況ノモノモゴザイ
マシテ、輸送ノ方意ノ如ク行カナカッタ
ト云フ點モ其ノ原因デゴザイマスガ、
サウ云フ事情ノ爲ニ遅レマシタコトハ
甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、是ハ終戰
後ノ非常ノ混亂シタ事情ガ最も重要ナ
理由デアアルト思ヒマスガ、尙ホ其ノ際
三十萬戸ノ計畫ガ相當周密ニ出來テ居
レバ、或ハ其ノ點モ少カッタカト思
ヒマスケレドモ、非常ニ急イデ作リマ
シタ事情ノ爲メ、ソレ等ノ終戰後ノ事
實等ヲ十分考慮ニ入レテナカッタ點等
モアツタラウト思ヒマスガ、サウ云フ
各種ノ事情ノ爲ニ非常ニ遅レマシタコ
トハ甚ダ遺憾デアリマス、併シ其ノ後
漸次體制ヲ整備シテ參リ、又住宅營團、
各市町村共ニ非常ノ努力ヲ致シテ居リ
マスカラ、年末マデニハ相當成績ヲ擧
ゲルシ、尙ホ小林總裁ガ申サレマシタ
通り、半分位ハ三月頃マデニハ是非ヤ
リタイ、ヤレルダラウト云フ見透シモ
アルノデゴザイマス、此ノ點ハ甚ダ遺
憾ニ思ツテ居リマスガ、全力ヲ盡シテ
努力致シテ居ル次第デゴザイマス

困ツタト云フヤウナ御話モアツタノデ
アリマスガ、實ハ材料ハ力ヲ入レバ
ナイコトハナイ、東京ニモ相當手持
ガアル、新聞ニモ進駐軍ノ方デ指摘シ
タモノダケデモ數十萬石ノモノガ河岸
ニアル、云フモノモ使ヘバ使ヘル、
ソレハ魂ヲ入レテヤレバヤレナイコト
ハナイト思フノデス、ソコデ私ハ過去
ノコトハ言ツテモ仕方ガナイノデアリ
マスルガ、此ノ際アノ氣ノ毒ナ戰災者
ノ爲メ、一日モ早クヤツテ上ガネバイ
ケナイト云フコトニ付キマシテ、一
言申上ゲテ置キタイト思フノデアリマ
スルガ、ソレハ規則ヅクメデナシニ、
モウ少シ魂ノ入リ血ノ通ツタヤリ方ヲ
ヤツテ戰災者ノ氣ノ毒ヲ思フ氣持ガアリマシ
タナラバ、又戰災ニ遭ツテ居ナイ者モ
其ノ氣持ガアルノデアリマスカラ、戰
災ニ遭ツテ居ナイ人ノ其ノ氣持ヲ手繰
リ出シテ、氣ノ毒ナ者ノ越冬準備ノ爲
ニヤツテ賈ハウチヤナイカ、此ノ氣持
ガ出テ來レバ、ソレハ私ハ出來ナイコト
ハナイト思フ、是ハ私ノ縣ノコトヲ申
上ゲテ甚ダ失禮デアリマスガ、岡山縣
デハ此ノ戰災住宅ノ施行ニ付キマシ
テ、一ツ氣ノ毒ナ人ノ爲ニ一肌脱ガウ
デヤナイカト云フコトヲ、御承知デア
リマセウガ安穩知事カラ話ガアリマシ
テ、サウシテ建築業者ノ方ニモ、此ノ
コトニハ一ツ等利ヲ無視シテ戰災者ノ
爲ニヤツテ賈ハウチヤナイカ、斯ウ云
フ話ガアツタ、其ノ結果モウ既ニ二千
百戸ト云フモノヲ業者關係ニヤラシタ
ノデアリマスルガ、業者關係デバ二千
五百圓ト云フ低廉ノ價格デアアル、住宅
營團デヤツテ居ルノハ三千五百圓デア
ルガ、ソレヨリモ遙カニ良イモノヲ二
千五百圓デ供給シヨウ、ソレニハ千人

カラノ人間ガ居リマスケレドモ公定賃
金十二圓五十錢、普通ノ場合ハ三十圓
モ四十圓モ五十圓モ取ツテ居ルガ、ソ
レヲ十二圓五十錢デ働カスラ、隨テ二
千五百圓ト云フ非常ニ安イモノデ出來
上ツテ居ル、斯ウ云フコトデ出來テ居
ル例モアル、ソレハ結局其ノ關係ノ方
ガ力ヲ入レ魂ヲ入レテ、戰災者ノ爲ニ
一ツ皆ノ協力ニ依ツテヤツテ呉レヌ
カ、斯ウ言フ所ニ皆ノ話ニ血ガ通ヒ、
ソコニ氣持ガ動イテ、ソレダケノ結果
ヲ得テ居ルノデアリマス、ダカラ私ハ
全國ノ斯ウシタ關係業者、特ニ此ノ土
建ノ關係ノ業者ハ、從來カラ仁俠ヲ以
テ任ジテ居ル者デアリマスカラ、ソレ
ニ一片ノ指令デナシニ、是ハ本當ニ諸
君ノ力デ出來ルノダカラ是非ヤツテ吳
レト云フ、一般ノ業者ノ血ノ動カヤウ
ナコトヲドウシテ時ノ關係ノ方ガキヲ
ナンダカト私ハ思フ、若シソレヲ言ツ
テヤラナンダラ是ハ業者ノ恥ナンデア
リマス、其ノ一遍ノ相談ガナイト云フ
コトハ、私ハ政府ノ方ニ於テモ其ノ熱
意ガ缺ケテ居ルノデヤナイカト云フコ
トヲ遺憾シテ居ルノデアリマス、私ハ
今カラデモ遅クバナイト思ヒマスガ、
長イ間ノ諸君ノ仁俠ダ、此ノ戰災住宅
ダケハ此ノ仁俠ニ懸ヘテ一日モ早クヤ
ラナケレバイカス、越冬ノ爲ニヤルノ
ダカラヤツテ呉レ、ト云フコトヲ關係
ノ者ニ話シテ戰災者ノ方ニ付テハ、必ズ
私ハ解決スルダラウト思フ、其ノ話ガ
ナイト云フコトハ、ドウモオ座ナリエ
ナツテ居ルノデハナイカト云フコトヲ
私ハ心配シテ居ルノデアリマス、特ニ
小林國務大臣ハ其ノ道ノ權威デアリマ
ス、サウシタ方面ニ付テ非常ニ理解モ
アリ、業者モ亦信頼スル人ナンデアリ
マスカラ、サウ云フコトヲ是非此ノ際

ヤツテ戰災者ノ方ニ付テハ、必ズ
私ハ解決スルダラウト思フ、其ノ話ガ
ナイト云フコトハ、ドウモオ座ナリエ
ナツテ居ルノデハナイカト云フコトヲ
私ハ心配シテ居ルノデアリマス、特ニ
小林國務大臣ハ其ノ道ノ權威デアリマ
ス、サウシタ方面ニ付テ非常ニ理解モ
アリ、業者モ亦信頼スル人ナンデアリ
マスカラ、サウ云フコトヲ是非此ノ際
ヤツテ戰災者ノ方ニ付テハ、必ズ
私ハ解決スルダラウト思フ、其ノ話ガ
ナイト云フコトハ、ドウモオ座ナリエ
ナツテ居ルノデハナイカト云フコトヲ
私ハ心配シテ居ルノデアリマス、特ニ
小林國務大臣ハ其ノ道ノ權威デアリマ
ス、サウシタ方面ニ付テ非常ニ理解モ
アリ、業者モ亦信頼スル人ナンデアリ
マスカラ、サウ云フコトヲ是非此ノ際
ヤツテ戰災者ノ方ニ付テハ、必ズ
私ハ解決スルダラウト思フ、其ノ話ガ
ナイト云フコトハ、ドウモオ座ナリエ
ナツテ居ルノデハナイカト云フコトヲ
私ハ心配シテ居ルノデアリマス、特ニ
小林國務大臣ハ其ノ道ノ權威デアリマ
ス、サウシタ方面ニ付テ非常ニ理解モ
アリ、業者モ亦信頼スル人ナンデアリ
マスカラ、サウ云フコトヲ是非此ノ際

何故ニ此ノ際荷揚ノ能率ヲ上ゲナケレ
バナラヌカト云フ事情ヲ、出來ルダケ
是等ノ人々ニ知ラシメテ、サウシテ此
ノ事實ヲ前ニシテ奮起セザルヲ得ナイ
ヤウナ氣持ニナツテ賈ハウ、斯ウ云フ
コトヲ致シテ居リマス、其ノ他ハ一般
ノ教育トカ、社會教育ニ係ル外ニハ一
寸方法ハナカラウ、斯様ニ考ヘテ居ル
譯デアリマス

○達澤委員 色々御考ヘテ下サルコト
ヲ感謝スルノデアリマスガ、只今厚生
大臣カラノ御話ガアリマシタヤウニ、
勤勞意欲ヲ昂揚スルニハ、ヤハリ精神
的ノ方面ト物質的ノ方面トガアルノデ
アリマセウガ、特ニ屋外勞務者ニ關係
致シマシテハ、アノ安イ公定賃金デ、
而モ隨デ賈ヘバ非常ニ高イ食糧ニ依ツ
テ生活シナケレバナラヌ、斯ウ云フ者
ニ對シマシテハ出來ルダケ物資ノ配給
ヲ適切ニヤツテヤルト云フコトガ一番
必要ダラウト思ヒマス、農ニ厚生大臣
ハ工場方面ノ生活費ニ付テハ、大體百
五、六十圓ト云フヤウナ御話ガアツタ
ノデアリマスガ、是ハ全ク其ノ通りナ
ンデ、推定ガシ易イノデアリマス、其
ノ理由ハ、比較的生活必需品ト云フヤ
ウナモノハ、基礎ノ確實ナ工場方面デ
ハ金ノ外ニ物ヲ呉レテヤルト云フ途ガ
アリマス、ソコデ生活費モ大體安定ス
ルコトガ出來ルト思ヒマス、豫測スル
コトガ出來ルト思ヒマス、ソレガ物ニ
對スル公定價格ト閣價格トノ差ノ甚シ
イ所程、其ノ生活費ノ推定ハ困難デア
ル、是ハ申上ゲルマデモナイノデアリ
マス、物ヲ配給シナイ方面ニ於キマシ
テハ、推定ハ無論出來ナイコトニナツ
テ來ル、ソコデ私ハ本論ニ戻ルノデ
アリマスガ、此ノ氣ノ毒ナ生活ヲヤツ
テ居ル連中ニ對シテハ、努メテ物ニシ

テ之ヲ配給シテヤル、斯ウ云フコトガ
一番能率ヲ上ゲル上ニ於テ必要デアラウ
ト思ヒマス、無論勤勞意欲ヲ昂揚スル
上ニ付キマシテハ、政府ノ思ヒヤリ、
其ノ事業家ノ思ヒヤリト云フコトガ、
ハツキリ關係者ニ認識ガ出來ルト思フ
ノデス、是ハ中々難カシイコトデアリ
マスケレドモ、併シナガラ勤勞意欲ヲ
昂揚シテ行カウトスルノニハ、サウ云
フヤウナ所ニモ氣持ヲ費サレマシテ、
施策スル所ニ勤勞意欲ハ非常ニ昂揚シ
テ來ル、又政府ノ親心ト云フモノガ其
處ニ反映シテ來ルト思フデアリマ
ス、ドウカ此ノ點ハ商工省、或ハ農林
省ノ方トモ關係ノアルコトデアリマス
ルカラ、是等ノ方面トモ御協議ノ上然
ルベク御配慮ヲ願ヒタイト思フデア
リマス、之ニ對シマシテ何カ厚生大臣
ノ御考ヘガアリマスレバ一ツ拜承致シ
タイト思ヒマス

○青田國務大臣 從來トモ商工省、農
林省ニ對シテハ勞務關係ニ關スル限
リ、極力其ノ立場ヲ説明シテ、色々御
配慮ヲ願ツテ居ルデアリマス、加配
米ノ問題ニシマシテモ、或ハ地下足袋、
作業衣等ノ問題ニ付アモ、出來ルダケ
ム努力ハ致シテ居リマス、尙ホ今後引
續イテ十分手配ヲ致シタイト考ヘテ居
リマス

○達澤委員 最後ニ一言御尋ネシタイノ
デアリマス、賃金統制令ノコトハドウ云
フヤウニナルノデアリマセウカ、今回企
畫サレ居リマス所ノ官公吏ニ對スル年
末ノ手當トカ云フヤウナコトガ論議サレ
テ居ル時デアリマスルガ、勞務者ニ對ス
ル賃金統制令ニ付キマシテハ格段リ考ヘ
方ガアリマスカ、如何デアリマセウカ
○高橋政府委員 賃金統制令ハ、大分
戰後ノ事情ニ適シマセヌノデ、段々改

正シテ參リタイト思ヒ
本會議ニ於テ大蔵大臣
アリマシタガ、官公吏、並ニ會社經理統
制令ノ關係ノ職員、ソレカラ勞務者關
係ニ付キマシテ、年末ニ相當ノ手當ヲ
支給スルト云フコトデ、聯合軍司令部
ノ方ト話合中デアアルデアリマス
○達澤委員 私ノ質問ハ是ヲ終リマス
○添田委員長 質問ハ之ヲ以テ終了致
シマシタ、明日ハ午前十時ニ豫算委員
室ニ於テ開會致シマス
午後七時二十四分散會

昭和二十一年一月二十八日印刷

昭和二十一年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局